

市町における人権研修実施状況に関するアンケート

【 報 告 書 】

平成25年3月

公益財団法人 兵庫県人権啓発協会

はじめに

現在、私たちの日常生活における人権課題は、いじめや虐待、外国人や同和問題に関する差別事案などに加えて、インターネットによる人権侵害や東日本大震災における風評被害など多様化、深刻化しています。また、「無縁社会」や「孤立死」などの状況から、人と人とのつながりや絆が希薄になっている、という指摘もあります。

これらの多岐にわたる人権課題に適切に対応していくためには、私たち一人ひとりが様々な人権課題に対する正しい理解を一層深めるとともに、課題解決につながる実践力を身につけていくことが必要であり、人権研修のさらなる充実が望まれます。

兵庫県では、平成13年3月に策定された「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」において、家庭や学校、地域、職場など、あらゆる場での教育及び啓発の推進が示されています。また、平成16年度から「人権文化をすすめる県民運動」を各市町と一体となって展開し、人権尊重の理念があらゆる場において生活文化として定着している「人権文化」が、広く県民に定着するよう啓発活動を進めているところです。

公益財団法人兵庫県人権啓発協会では、平成14年度に人権研修ハンドブックを作成し、理論に加え研修に関する具体的な事例を紹介し、各市町における人権研修に役立つ情報の提供を行ってきました。また、各種の人権学習会での教材となる人権啓発ビデオを毎年制作しており、その効果的な活用を図るため活用ガイドを作成するとともに、具体的な学習方法等に関する研修会を実施しています。

ハンドブックの作成から約10年が経過し人権を取り巻く状況も変化中、各市町の人権啓発担当者を対象とした研修会等の場において、各人権課題に関する学習内容や学習会の具体的な進め方など、地域学習会の在り方についての悩みや課題が出てきています。

そこで、各市町で実施されている人権研修において、現在の課題となっていることは何か、また、それらの課題にどのように対処しているか等について、現場の実際の声を知ることが必要であると考え、全市町へのアンケート調査を実施することとしました。

アンケートで得られた情報を整理し、報告書としてとりまとめましたので、ご活用いただくことにより、各市町の人権研修の充実に役立つことを願っています。

平成25年3月

公益財団法人兵庫県人権啓発協会

目次

1	調査及び分析方法	1
2	調査結果	
(1)	回答状況	2
	ア 研修会の件数	
	イ 研修内容及びテーマ	
(2)	平成23年度市町人権研修実施状況	3
(3)	平成24年度市町人権研修実施状況及び計画	12
(4)	研修に関する課題や工夫について	
	ア 研修についての課題	18
	イ 改善できた課題及び工夫	19
	ウ その他の留意点及び工夫	20
(5)	その他の研修会における工夫等について	21
(6)	人権研修に関する受講が可能な施設等について	22
(7)	研修で使用するアンケート用紙等	23
	ア 平成23年度の評価方法	
	イ 平成24年度の評価方法	
	ウ 具体的な内容	
(8)	平成23年度講師情報	24
3	今後に向けて	29

1 調査及び分析方法

(1) 目的

家庭や地域社会などにおける人権研修の重要性が高まっており、各市町においても効果的な研修を進めていくことが課題となっています。

そこで、各市町の人権研修の実施状況や課題などを把握するとともに、工夫した点や成功例などに関する情報を共有することにより各市町で実施される研修の充実に資するため、アンケート調査を実施します。

(2) 対象 兵庫県内の各市町における人権啓発担当部署

(3) 実施時期 平成24年10月

(4) 様式 (全3部)

- ア 平成23年度市町人権研修実施状況
(研修会名、回数、日時、会場、目的・内容、対象、テーマ、講師、参加者数、評価方法、工夫)
- イ 平成24年度市町人権研修実施状況及び計画
(上記平成23年度分と同項目)
- ウ 研修に関する課題や工夫、研修施設等について
(研修についての課題、改善できた課題及び工夫、その他の留意点及び工夫、その他の研修会における工夫等、人権研修に関する受講が可能な施設等)

(5) 提出

- ア 上記様式 (各1部)
- イ 研修で使用するアンケート用紙等、評価に関する資料 (提出可能である場合、1部)

(6) 方法

アンケート用紙を、平成24年10月上旬に各市町の人権啓発担当部署に、調査依頼状とともに電子メールで送付し、平成24年10月31日(水)を目途に、電子メールにより返信いただく形で回収しました。

(7) その他(留意事項)

- ア 本調査における人権研修とは、各市町が地域の住民を対象に人権意識の高揚を図るため、会場に集めて実施する学習会や講演会、講座やセミナー等(いわゆる住民研修会や住民学習会)とします。
 - ①(目的) 人権の現状や課題を正しく理解することや、日常生活の中で人権を尊重することが自然に態度や行動に結びつく人権文化を進めることなどを主な目的として行う研修とします。
 - ②(対象) 特定の地域に限らず広範な地域における、不特定多数の住民を対象とした研修に加え、住民研修を企画・運営するリーダー等を対象とした研修も含まれます。
(市町職員や企業関係者を対象とする研修は含みません。)
 - ③(内容) 人権啓発フェスティバルや人権週間のつどいなど、パネル展示やコンサート等イベントとして総合的に実施される事業については、その中で住民などへの研修会等が含まれている場合は、その部分も含まれます。
 - ④(形態) 市町が直接実施する研修のほか、団体等への委託、補助等により実施する研修を含みます。
- イ 各地域の住民や、住民研修のリーダーを対象とした人権研修会について、その目的や内容、評価方法や工夫等を具体的に記入いただくよう依頼しました。
- ウ 本調査は、上記の目的以外では使用しないこと、また、調査のまとめは本年度末を目途に各市町宛に送付する予定であることを伝え、調査への協力をお願いしました。

(8) 分析方法

ア 回答状況

各市町の回答について、研修会の件数及び全回数を、年度別(平成23年度、平成24年度)に整理しました。特に平成24年度については、各研修会名における前年度分との相違を確認し、研修会名等に変更があった場合に限り、その内容を備考欄に示しています。

また、「平成23年度市町人権研修実施状況」及び「平成24年度市町人権研修実施状況及び計画」における研修内容(K:講義、V:ビデオ上映等)及びテーマ(A:女性、B:子ども等)について、各記号の数を集計し年度別に示しました。

イ 平成23年度市町人権研修実施状況

各市町の回答をもとに、研修内容や対象、工夫などの点において、特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し整理しました。また、各研修会の注目すべき点を赤字にしています。

ウ 平成24年度市町人権研修実施状況及び計画

上記と同様、特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。

エ 研修についての課題

各市町の回答内容を、「参加者の固定」「内容のマンネリ化」などのキーワードに整理した後、それらを「参加者」「研修企画」「研修内容」等の大項目ごとに分類しました。
また、分類表の最後に、全体をとおして簡単にまとめたものを【要点】として示しています。

オ 改善できた課題及び工夫

各市町の回答内容をキーワードに整理した後、大項目ごとに分類し、【要点】としてまとめています。

カ その他の留意点及び工夫

各市町の回答を同類の内容ごとに整理し、【要点】としてまとめています。

キ その他の研修会における工夫等

各市町の回答内容を、「企業関係者」「市町職員」「その他」に分類・整理し、【要点】としてまとめています。

ク 人権研修に関する受講が可能な施設等

各市町の回答内容に従い記載しました。

ケ 研修で使用するアンケート用紙等

各市町の回答をもとに、評価方法を年度別(平成23年度、平成24年度)に分類・整理し、【要点】としてまとめています。
また、提出されたアンケート用紙の具体的な内容を分類・整理し、【要点】としてまとめています。

コ 平成23年度講師情報

各市町の回答をもとに、平成23年度の講師を人権課題別にまとめています。

2 調査結果

(1) 回答状況

ア 研修会の件数 (※H24の回数は、平成24年10月末現在の報告です。)

市町名	H23		H24		H24とH23との研修会名の比較		
	研修会 件数	全回数	研修会 件数	全回数	研修会名 同様	研修会名 変更	備考(変更内容)
神戸市	8	45	8	53	8	0	
姫路市	4	1352	4	13	4	0	
尼崎市	2	19	2	19	2	0	
明石市	2	6	3	7	2	1	「人権フェスティバル」追加
西宮市	5	33	5	34	5	0	
洲本市	1	4	1	4	1	0	
芦屋市	6	11	6	11	6	0	
伊丹市	7	17	5	14	4	1	「人権文化市民講演会」でパネル展も開催
相生市	4	97	3	44	3	0	
豊岡市	9	31	9	16	9	0	
加古川市	5	6	4	7	4	0	
たつの市	4	295	3	291	3	0	
赤穂市	1	1	1	1	1	0	
西脇市	2	11	2	11	2	0	
宝塚市	12	28	10	25	10	0	
三木市	6	171	6	155	6	0	
高砂市	7	21	7	21	7	0	
川西市	5	10	5	10	5	0	
小野市	10	145	10	39	10	0	
三田市	18	28	6	9	0	6	同じ研修会名でテーマを変更
加西市	6	86	6	98	6	0	
篠山市	11	31	13	36	9	4	「人権のまちづくり研修会」「防災・減災ワークショップ」「出前チャレンジ相談」「幸せって何だっけ？」追加
養父市	1	10	1	4	1	0	
丹波市	8	15	8	15	8	0	
南あわじ市	1	21	1	11	1	0	
朝来市	2	39	2	12	2	0	
淡路市	5	92	5	23	5	0	
宍粟市	13	24	14	26	13	1	「波賀学校園所人権同和研究協議会研修会」追加
加東市	5	8	5	7	5	0	
猪名川町	2	8	3	10	3	0	「人権教育セミナー」を前期・後期に拡充
多可町	5	71	5	71	5	0	
稲美町	7	86	7	86	7	0	
播磨町	9	19	10	20	9	1	「PTA(父母の会)推進委員研修会」追加
神河町	4	40	4	40	4	0	
市川町	2	10	2	9	2	0	
福崎町	3	31	3	36	3	0	
太子町	6	14	6	14	6	0	
上郡町	16	158	7	125	7	0	
佐用町	2	26	2	25	2	0	
香美町	11	40	12	46	11	1	「第32回差別をなくする町民のつどい」追加
新温泉町	5	49	5	38	5	0	
合計	242	3209	221	1536	206 (93.2)	15 (6.8)	

表中の()は%を示す

イ 研修内容及びテーマ 表中の()は%を示す

研修内容	講義	ビデオ 上映	グループ 協議	ワーク ショップ	その他	合計
H23	476(44.8)	290(27.3)	157(14.8)	62(5.8)	77(7.3)	1062
H24	382(46.9)	207(25.4)	97(11.9)	68(8.4)	60(7.4)	814

※その他(H23とH24の計):体験・見学(20)、学習の目的と進め方に関する説明(14)、見学(12)、コンサート(12)、トークタイム(11)、フィールドワーク(10)等

【要点】

- 1 平成23年度、平成24年度とも、「講義」が全体の4割程度を占めています。
- 2 「ビデオ上映」は3割程度、「グループ協議」は1割程度、「ワークショップ」は1割未満となっています。
- 3 「その他」では、福祉や料理などの体験学習、施設見学、太鼓の実演や音楽を取り入れた研修など、体験的な学習が挙げられています。

表中の()は%を示す

テーマ	女性	子ども	高齢者	障害のある人	同和問題	アイヌの人々	外国人	HIV感染者・ハンセン病患者等	刑を終えて出所した人
H23	85(7.5)	180(16.0)	102(9.1)	103(9.1)	127(11.3)	19(1.7)	45(4.0)	15(1.3)	18(1.6)
H24	53(6.9)	108(14.0)	90(11.7)	64(8.3)	69(8.9)	0(0)	23(3.0)	5(0.6)	4(0.5)

テーマ	犯罪被害者等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	ホームレス	性的指向	性同一性障害者	人身取引	東日本大震災に起因する人権問題	その他	合計
H23	3(0.3)	38(3.4)	0(0)	3(0.3)	0(0)	0(0)	0(0)	50(4.4)	338(30.0)	1126
H24	4(0.5)	10(1.3)	0(0)	2(0.3)	1(0.1)	3(0.4)	0(0)	12(1.6)	323(41.9)	771

「その他」の主な内容(H23とH24の計)

人権全般	地域	命	多文化共生	思いやり	絆	まちづくり	平和	震災	家族	身近な人権
161	118	72	61	24	9	9	8	6	4	4

【要点】

- 1 平成23年度、平成24年度とも、「その他」が全体の3割から4割程度を占めています。
- 2 「その他」の内容では、「人権全般」「地域」「命」「多文化共生」などのテーマが多く取り上げられています。
- 3 各人権課題では、平成23年度、平成24年度とも、「子ども」が最も多く取り上げられています。続いて、「同和問題」「高齢者」「障害のある人」「女性」などが挙げられ、これらは両年度に共通しています。
- 4 「東日本大震災に起因する人権問題」は、平成23年度に比べ平成24年度は減少傾向にあります。
- 5 全体を通して、個別課題は、テーマとしてよく取り上げられているものと取り上げられにくいものとに分かれています。

※上記「研修内容」及び「テーマ」の合計数については、1研修会で複数の内容及びテーマが報告されている場合などがあるため、左記「研修会件数」とは一致していません。

【要点】

平成24年度の研修会の大部分(93.2%)が、前年度と同様の研修会名で開催されています。

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択・複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
神戸市	心かよわす市民のつどい	1	①	8	19	金	13:30~15:50	神戸文化ホール(中ホール)	目的:「心かよわす市民運動月間(8月)」の啓発行事の一環として、市民一人ひとりに家庭・職場・地域社会など生活のあらゆる場で人権問題について考える場を提供する 内容:S(人権啓発映画):「クリームパン」 K:「包み込む社会へ」	市民	R(社会的包摂)	NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局 次長、内閣府参与 湯浅 誠	450/800	事後アンケート	・第2次神戸市人権教育・啓発に関する基本計画の基本理念のひとつである「社会的包摂」の理念を広く市民に啓発するためにテーマと講師を選定した。 ・職員にも「社会的包摂」の理念を徹底するため、職員研修として受講できるようにするとともに、講演内容の要約を「人権シート」に掲載し、全職員に回覧した。 ・子育て世代の人が参加しやすいよう、一時保育を実施した。 ・学習意欲の高い高齢者(老眼大学受講者)に対し参加を呼びかけた。 ・テーマに関心を持つと思われるNPO、大学等に案内状を送付した。 ・人権啓発推進協力委員に対し、従来より送付していた招待状に加え、講演会のPR記事を掲載した「人権啓発推進協力委員だより」を併せて送付した。
	公民館人権講座	19	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	5 5 8 11 12 6 3 12 4 10 11 6 12 12	25 9 19 18 6 24 5 5 18 29 3 2 3	水 月 金 火 土 月 火 火 金 土 金 土 金	10:00~11:30 14:00~16:00 10:00~12:00 10:00~12:00 14:00~15:30 14:00~15:30 10:50~12:20 10:20~11:50 14:00~15:30 10:10~11:40 10:00~12:00 10:00~11:30 14:00~15:30	①~⑥清風公民館 ⑦南須磨公民館 ⑧~⑩東垂水公民館 ⑪⑫玉津南公民館 ⑬長田公民館	目的:様々な人権課題の理解不足、偏見や差別の解消・啓発 内容: ①K:おもてなしの心で人生を楽しもう! ~「一期一会」のおもてなしホスピタリティマインド~ ②K:「ちょこボラ 手話入門」(全4回) ③K:サマースクール「読もう! 打とう! 感動! 点字入門」 ④K:もしもの時の準備講座 「認知症を理解しようーひとり一人ができることからひとつづつー」 ⑤K:神戸から全国に~しあわせ運べるように~ ⑥K、S(コンサート):ヒューマンライツ・コンサート ⑦K、S(コンサート):オンリー・トゥーコンサートイン南須磨公民館 ⑧K:笑いでつながる人と人 ⑨K:「発達障害ってなあに? ~互いに支え合える社会に~」 ⑩K:二人をつなぐ1本のロープ ⑪K:おはなし相手ボランティア入門(全4回) ⑫W:笑顔につながるコーチング~ワークショップを中心に~ ⑬K:社会で活躍する犬たち~盲導犬~	①②市民 ③小・中学生 ④~⑬市民	①R(人権全般) ②③D ④C ⑤R(震災関連) ⑥R(人権全般) ⑦D ⑧R(人権全般) ⑨⑩D ⑪C ⑫R(人権全般) ⑬D	①神戸ホスピタリティマインド倶楽部 主宰 濱田 佳代 ②手話通訳者 岡野 美里 ③神戸市立点字図書館 藤田 紀子 山根 真紀子 ④社会福祉士 段 真奈美 ⑤神戸市立西灘小学校 教諭 臼井 真 ⑥イタリア文化交流協会 会長 松本 城洲夫 ⑦NPO法人ゆう工房 ⑧mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 ⑨発達障害支援センター長 小橋 陽子 ⑩王子スポーツセンター マネージャー 野口 研治 県立視覚特別支援学校 教諭 今井 裕二 ⑪西区社会福祉協議会 末廣 順子 ⑫人材育成コンサルタント 安田 明久 ⑬兵庫県盲導犬協会	① 97/100 ② 春季8/10 秋季9/10 ③ 10/10 ④ 21/20 ⑤ 97/100 ⑥ 130/150 ⑦ 160/150 ⑧ 165/150 ⑨ 17/20 ⑩ 54/100 ⑪ 13/15 ⑫ 51/50 ⑬ 110/100	①~⑬ 事後アンケート	・身近な人権問題を取り上げ、地域指導者や社会教育団体との協働により、地域の特色を生かしたセミナーや講演会、講座や参加型ワークショップなどの人権啓発・推進を展開して参加者を増やす努力を続けた。
	こうべ男女共同参画 たまご塾	8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	6 7 8 9 10 11 12 2	21 21 19 16 22 18 16 2	火 木 金 土 金 土 金 木	13:00~15:30 13:00~15:30 13:00~15:30 13:00~15:00 13:00~15:00 13:00~15:00 13:00~15:00 13:00~15:30	①~⑦・番外編 男女共同参画センター	目的:誰もが互いに尊重しあい、イキイキと自分らしく暮らせる【男女共同参画社会】の実現を目指す 内容: ①K:男女共同参画ってなんだろう? ②K:世界から見た日本の男女平等~国際条約とわたしたちとのかかわり ③K:女性の貧困・子どもの貧困 ④K:働き方の新しい形「企業」について ⑤K:あすをつぶ講演会「これからの【家族】について話をしよう」 ⑥K:DV防止セミナー「対等な夫婦関係を目指して」 ⑦K:からだセミナー「健康でいきいきとクラスのために!」 ~楽しく輝いて生きる! アクティブエイジングのすすめ~ [番外編]K:世界から見た日本の男女平等~国際条約を手がかりにして~	①~⑦・番外編 市民	①~⑦・番外編 A	①神戸親和女子大学 教授、 神戸市男女共同参画審議会 副会長 膳木 洋子 ②神戸女学院大学文学部 准教授 米田 真澄 ③しんぐるまざーず・ふぉーらむ・関西 事務局長 大森 順子 ④インプレウヴ 代表、中小企業診断士 斎藤 悠実 ⑤京都大学大学院 教授 伊藤 公雄 ⑥特定非営利活動法人心のサポート・ステー ション 宮本博文 ⑦NPO法人日本成人病予防協会 認定講師 山内 伸一 [番外編]神戸国際大学 非常勤講師 宮脇 文子	① 25/30 ② 中止/30 ③ 25/30 ④ 44/30 ⑤ 52/80 ⑥ 29/30 ⑦ 36/30 番外編	①~⑦・番外編 事後アンケート	・男女共同参画を学ぶ基礎講座として開催。健康やDV防止、国際協調など男女共同参画と関連する分野からテーマを選定して実施した。
姫路市	姫路市校区人権教育推進活動 ①校区人権教育指導員委嘱式並びに研修会 ②人権啓発映画試写会 ③各校区学習会 ④校区人権教育推進活動反省会	①1 ②1 ③1339 ④1	① ② ③ ④	5 5 4 3	10 24 3 2	火 火 金 金	①姫路市文化センター ②姫路市文化センター ③各校区(公民館、集会所等) ④姫路市役所大会議室	目的:人権文化に満ちた社会の実現 内容: ①K、V:差別をなくしてすみよい町づくり ②V:今年度推奨啓発映画の試写 ③K、V、G、W:各校区の実態に応じた内容で実施 ④K:家族・地域の絆について	①② 校区人権教育指導員等 ③地域住民、学校関係者等 ④校区人権教育指導員等	①~④ R(同和問題をほ じめとするあら ゆる人権課題)	①姫路市教育委員会人権教育課 課長 原田 貞雄 ④映画評論家 吉村 英夫	① 800/900 ② 300/430 ③ 133437/ 想定なし ④ 140/150	①~④ 事後アンケート	・各校区における学習を支援するために市民学習資料(「ともに学ぶ」)及び活動の手引(「校区人権ひめじ」)を毎年作成し、指導員及び学習会参加者に配布している。	
	企業人権教育研修会	1	①	1	26	木	15:00~16:30	姫路市文化ホール 小ホール	目的:姫路商工会議所、企業、行政が連携をして企業や職場に属する人々を対象に人権意識の高揚を図るため開催した 内容:K	市民と学校関係者	K	(財)人権教育啓発推進センター 理事 田中 正人	297/300	事後アンケート	・商工会議所、教育委員会と開催時期等を調整した。
尼崎市	じんけんを考える市民のつどい	1	①	12	10	土	13:30~15:30	尼崎市立労働福祉会館	目的:一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現に向け、人権問題について広く全市的に講演会等を実施することによって、市民の人権意識の高揚を図る 内容:K:第1部-全国中学生人権作文コンテスト尼崎大会 最優秀作品朗読 第2部-講演会	市民	R(人権全般)	コメンテーター 山本 健治	107/460	事後アンケート	・より多くの市民に参加してもらうことを目的に、以下のとおり取り組んだ。 ①市報やFMラジオを通じての告知 ②土曜日の開催
	人権啓発推進員会議及び研修会	18	① ~ ⑩	4 3	21 22	木 木	10:00~11:30 10:00~11:30	①~⑧尼崎市立中央公民館 ⑨今北総合センター分館 ⑩~⑮尼崎市立中央公民館 ⑯今北総合センター分館 ⑰尼崎市立中央公民館	目的:一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現に向け、地域における人権啓発のリーダーとなる人材を育成し、市民全体の人権教育・啓発の推進をより効果的に推進する(地域団体から推薦された人々を「人権啓発推進員」として2年任期で委嘱。定数25名。) 内容:①~⑩推進員活動に資する会議及び研修会 (現在問題となっている事象を中心に学習)	①~⑩人権啓発推進員	①~⑩ A、B、C、E、G、 H、K、Q	①④⑦⑩⑬⑮⑯人権啓発推進企画員 中川 喜代子 ②健康福祉局福祉事務所生活支援相談担当 課長補佐 木崎 貴則 ③健康福祉局健康増進課 課長 船越 タツヨ ⑤NPO法人エフ・エー 理事、コーディネーター 長福 洋子 ⑥民間シェルター「ほっとの会」 ⑧健康福祉局高齢介護課 係長 松井 良行 ⑨第3期人権啓発推進員 三木 恵子 ⑩協働推進局人権課 係長 宮崎 雅俊 ⑪大阪市立大学大学院経済学研究科 教授 朴 一 ⑬健康福祉局感染症対策課 係長 高井 千鶴子 ⑰りんくう総合医療センター 健康管理センター長 南谷 かおり ⑱協働推進局人権担当 参与 吉村 俊生	①~⑩ 450/226	①~⑩ 自己評価	・地域における人権啓発リーダー育成の観点から、より効果的な啓発を身近な人間関係の中で行えるよう、社会で問題となっている事柄や地域の実情に応じたテーマを設定している。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
明石市	人権大学講座	5	① ② ③ ④ ⑤	6 6 6 6 7	1 8 15 22 7	水 水 水 水 水		14:00~16:00	①~⑤明石市生涯学習センター	目的:市民に対して多様な人権課題について学習する機会を提供し、人権意識の醸成を図る 内容: ①K:「子どもたちに今!伝えたい 性と命の大切さ」 ②K:「インターネット社会の光と影」 ③K:「子ども虐待を防止する“子育て”支援とは?」 ④K:「グローバルな視点で人権を考える」 ⑤K:「被差別部落女性の取組から部落問題を考える」	①~⑤市民	①B ②K ③B ④R(多文化共生) ⑤E	①マナ助産院 院長 永原 郁子 ②兵庫県インターネット安全利用推進協議会 会長 三好 成明 ③神戸学院大学 教授 神原 文子 ④国立民族博物館 前館長 松園 万亀雄 ⑤近畿大学人権問題研究所 教員 熊本 理抄	① 78/100 ② 74/100 ③ 83/100 ④ 69/100 ⑤ 72/100	①~⑤ 事後アンケート	・各回とも一時保育を実施した。
	2011人権の集い	1	①	12	2	金		14:30~16:30	明石市民会館大ホール	目的:人権感覚あふれる共生社会の実現をめざし、人権週間の行事として開催 内容:K:「命を大切に生きるかた」	市民	R(人権一般)	諏訪中央病院 名誉院長 鎌田 貴	1000/1200	事後アンケート	・一時保育を実施した。 ・手話通訳を実施した。 ・要約筆記を実施した。
西宮市	人権問題学習会	12	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 7 7	2 6 7 8 9 13 14 21 23 27 1 6	木 火 水 木 金 火 火 火 木 木 金 水		①~⑫ 10:00~11:30	①山口公民館 ②塩瀬公民館 ③大社公民館 ④越木岩公民館 ⑤南甲子園公民館 ⑥高木公民館 ⑦浜脇公民館 ⑧甲東公民館 ⑨段上公民館 ⑩春風公民館 ⑪鳴尾公民館 ⑫鳴尾東公民館	①~⑫市民	①~⑫R	①⑩ひと結び 代表 佐野 岳章 ②⑥NPO法人生涯学習サポート兵庫 山崎 清治 ③⑤NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 西 應地 由起英 ④⑪じんけん楽習塾 大谷 真砂子 ⑦⑫CAPIののみや ⑧⑨NPO法人リリあん 副理事長 森松 明子	① 22 ② 33 ③ 71 ④ 23 ⑤ 50 ⑥ 37 ⑦ 31 ⑧ 22 ⑨ 14 ⑩ 48 ⑪ 21 ⑫ 31	実人数 事後アンケート		
	人権を考える市民のつどい	1	①	8	22	月		13:30~15:30	西宮市立労働会館ホール	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かで充実したまち西宮市をめざす 内容:K:「差別のない社会をめざして〜橋はかかる〜」	市民・市職員	E	テレビドラマプロデューサー 栗原 美和子	177	実人数 事後アンケート	・「人権意識と人権感覚を磨き、心豊かで充実したまち西宮市をめざす」という目的から人権研修として、職員の参加を募った。(47名受講)
	にしのみや人権フォーラム	1	①	12	9	金		13:30~15:00	プレラにしのみや5Fプレラホール	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かで充実したまち西宮市をめざす 内容:K:「ダウン症の子どもを作家に育てた母親として〜天使がこの世に降り立てば〜」	市民・市職員	B、D	書家 金澤 泰子 金澤 翔子	272	実人数 事後アンケート	
洲本市	市民人権講座	4	① ② ③ ④	8 10 11 1	18 21 23 30	木 木 木 月		①~④ 15:30~	①~④人権文化センター	内容: ①ひとりひとりを大切にともに生きる ②在日朝鮮人問題を考える ③日本と中国の文化の違い ④障がいもあり地域に暮らす	①~④市民	①D ②③G ④D	①ふくろうの郷 施設長 大矢 暹 ②張 錫基 ③田 偉 ④淡路障がい生活支援センター 施設長 松下 徹	① 61/80 ② 31/50 ③ 44/50 ④ 39/50	①~④ 事後アンケート	・研修内容を市のケーブルテレビやホームページ、広報紙で宣伝した。
芦屋市	人権啓発講演会(3回連続講座)	3	① ② ③	3 3 3	10 17 24	土 土 土		①~③ 13:00~14:30	①~③芦屋市立上宮川文化センター	目的:東日本大震災被災者支援事業 内容: ①「あの日から1年を振り返って」 ②「あしなが運動45年と東日本大震災」 ③「被災地からの『がれき』受け入れについて」	①~③市民	①~③Q	①被災地NGO協働センター 代表 村井 雅清 ②神戸レインボーハウス 館長 富岡 誠 他1名(大学生) ③阪南大学 准教授 下地 真樹	① 16/30 ② 16/30 ③ 16/30	①~③ 事後アンケート	・連続講座とすることで、市民の参加と理解を促した。また、震災関連のパネル展示を行った。
	「平和と人権」子ども映画会	2	① ②	8 8	4 4	木 木		10:30~11:45 14:00~15:15	①②芦屋市立上宮川文化センター	目的:映画をとおして「命と人権」の大切さを学ぶ 内容:①②V:アニメ映画「対馬丸」~さよなら沖繩~	①②小学生と保護者	①② R(みんなで考えよう「平和と人権」)		①② 139/150		
	児童センター子どもと人権講演会	1	①	11	4	金		10:00~11:45	芦屋市立上宮川文化センター	目的:「子どもの人権」をテーマに、子育て、教育等について学習する 内容:K:「好き嫌いのない子を育てる“笑顔の食卓”」	子育て中の保護者	B	管理栄養士、武庫川女子大学栄養クリニック 名誉クリニック長 小西 すず	25/30		
伊丹市	人権啓発推進委員会	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	5 7 10 11 12 1	18 5 19 16 9 18	水 火 水 水 水 水		10:00~12:00 14:00~16:00 10:00~12:00 9:00~17:00 10:00~12:00 10:00~12:00	①伊丹市立総合教育センター ②伊丹アイフオニックホール ③伊丹市立総合教育センター ④生野銀山(管外研修) ⑤リハビリおおさか(管外研修) ⑥伊丹市立総合教育センター	①人権啓発推進委員 ②市民 ③~⑥人権啓発推進委員	①R(さまざまな人権) ②D ③J ④⑤R(さまざまな人権) ⑥K	①⑥人権教育室職員 ②嵯メデア21 う~み ③本郷 由美子 ④生野銀山スタッフ ⑤リハビリおおさかスタッフ	① 28 ② 363 ③ 27 ④ 21 ⑤ 27 ⑥ 28	実人数 事後アンケート	・研修会の日程を年間計画として事前に周知し、ビデオ学習会についてはさまざまな人権について学習できるように工夫した。	
	人権啓発映画会	2	① ②	12 12	3 3	土 土		9:30~ 13:00~	①②伊丹市立人権啓発センター『ふらっと』	目的:様々な人権課題への取り組みを通して、広く市民に人権文化を推進することを目的とする 内容:①②V、K:「ショーとタカオ」上映後、桜井昌司さんの講話	①②市民	①② I、R(冤罪と人権)	①②「布川事件」元被告 桜井 昌司	①② 119/130	①② 事後アンケート	・ドキュメンタリー映画の上映とともに、映画の主人公・桜井さんにお越しいただき、冤罪が生まれる背景、長く、辛い獄中生活体験について生の声を聞くことができた。 ・布川事件と狭山事件とは共通性があることを知ってもらった。
	学習交流会『きらり学舎』	4	① ② ③ ④	6 9 12 3	15 15 8 5	水 木 木 月		①~④ 10:00~12:00	①~④伊丹市立人権啓発センター	目的:人と人との出会いから視野を広げ、学びを重ねることによって人権感覚を養い、豊かな感性を日々の子育てに生かす 内容: ①W:「自分発見!わたしのいいところ」 ②K:「部落問題は私たち一人ひとりの問題です」 ③V、W:「部落史学習ビデオ 皮革と被差別部落」 ④W、V:「しきじょうしつ」	①~④市内小・中学校のPTAおよび一般市民	①R(自尊感情) ②~④E	②前豊中市立第5中学校 校長 青木 康二	① 42 ② 48 ③ 31 ④ 26	実人数 事後アンケート	・参加型ワークショップ(アイスブレイキング含む)を取り入れた。 ・PTA代表者への連絡を毎回行なった。 ・参加者が親しみやすいクラフトを導入した。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
相生市	ふれ愛シネマ	1	①	5	22	日	10:00~12:15 13:30~15:45	相生市民会館大ホール	目的:心揺り動かされるような映画作品の鑑賞を通して、日常の人権感覚を問い直すなかで、一人一人の生き方が尊重される社会づくりをめざしたい 内容:S(映画上映):「春との旅」	市民	C	「春との旅」	415/600	事後アンケート	
	推進委員研修会	9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	4 5 7 8 9 11 11 2	27 27 27 24 24 25 29	水 火 水 水 水 水 水 水	①~⑨ 18:00~19:30	①~⑨相生市総合福祉会館	目的:地域の人権にかかわるさまざまな課題について、参加体験型の学習等とおして、人権意識を高め、活動に生かすことができる実践力を養う 内容: ①K:委嘱状交付式、啓発資料SEIの活用について ②V:啓発ビデオ「クリームパン」による研修 ③V:啓発ビデオ「ぬくもりの彩」による研修、ひとみ8月号について ④S:人権の集い開催支援及び講演会受講 ⑤K:ひとみ8月号による研修 ⑥K:高齢者の人権「いつか来た道、いつか行く道」について ⑦V:啓発ビデオ「日常の人権IとII」 ⑧G:各校区による推進委員研修会 経過発表会 ⑨V、K:啓発ビデオ「桃香の自由帳」	①~⑨ 人権教育推進委員 (24名)	①~⑨ B、C、E、K、Q、 R	⑨兵庫県人権啓発協会 研修講師 本田 英子	①~⑨ 207/216		
豊岡市	豊岡市人権教育推進協議会・同会支部主催 人権学習会	8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	5 5 5 5 6 6 6 3	12 27 27 30 3 4 27 13	木 金 金 月 金 土 月 火	19:00~19:40 15:40~16:20 19:00~19:40 15:40~16:20 20:20~21:00 14:00~15:00 15:40~16:20 15:00~15:40	①日高農村環境改善センター ②豊岡市民会館 ③合橋地区公民館 ④豊岡市役所城崎総合支所 ⑤豊岡市役所竹野総合支所 ⑥ひまこホール ⑦豊岡市民会館 ⑧豊岡市役所竹野総合支所	目的:総会開催時に合わせて学習会を実施し、人権感覚を高める 内容: ①~⑤V:「クリームパン」鑑賞 ⑥K:「部落差別と私、そしてこれから」 ⑦K:「思いやりのある生き方」 ⑧V:「桃香の自由帳」	①~⑦市民と学校関係者 ⑧豊岡市人権教育推進協議会理事	①~⑤B ⑥E ⑦R(元教員の半 生と人権) ⑧B、C	①~⑤DVD ⑥朝来市立朝来中学校 教頭 山崎 喜彦 ⑦豊岡市人権教育推進協議会竹野支部 支部長 大紫磨 傑 ⑧DVD	① 142/140 ② 38/ 41 ③ 21/ 26 ④ 20/ 20 ⑤ 33/ 74 ⑥ 200/200 ⑦ 37/ 41 ⑧ 14/ 14		・欠席者に当日資料を配布した。
	市民ふれあいの集い	2	① ②	8 12	21 10	日 土	14:00~16:15 14:00~15:30	①②豊岡市民会館	目的:人権文化を進める県民運動強調月間である8月と、人権週間のある12月に全市民的な事業を行い、人権意識を高める 内容: ①S(名画鑑賞):「春との旅」 ②K:「橋はかかる ~差別のない世の中を目指して~」	①②市民と学校関係者	①C ②E	①映画 ②猿まわし師 村崎 太郎	① 300/400 ② 450/500	①② 事後アンケート	・市内全戸配布の人権啓発誌に一面広告し、行政無線やホームページで周知し、区役員や社会教育・学校教育関係者には案内状を送付するなど広報に努めた。
	豊岡市人教豊岡支部・人権講師派遣	4	① ② ③ ④	10 11 11 12	5 2 28 10	水 水 月 土		①五荘地区公民館 ②五荘小学校 ③関西電力株 ④近畿大学附属豊岡高等学校	目的:自発的に人権教育・啓発に取り組む人材を育成し、裾野を広げる 内容:①~④K:「聞こえと人権」	①地域の高齢者 ②小学校児童 ③関西電力株社員 ④高等学校生徒	①~④D	①~④たしま聴覚障害者センター 所長 小林 泉	①~④ 集計できず		・豊岡地域(旧豊岡市)の各団体に周知。
加古川市	人権啓発セミナー	2	① ②	7 10	16 29	土 土	①② 7:30~17:00	①大阪市西成区 あいりん地区 ②あいりん地区・堺市船松人権歴史館	目的:あいりん地域の日雇労働者など不安定労働層に対して現在行われている支援や、地域をとりまく様々な課題について、現地の訪問学習とおして視野を広め、人権教育推進リーダーとしての資質向上を目指す 内容: ①K、S(フィールドワーク):「あいりん地区の現状と課題」 ②S(フィールドワーク):「あいりん地区の現状と課題」「同和問題の現状と課題」	①②市民	①M ②M、E	①NPO法人釜ヶ崎支援機構 理事長 山田 貴 ②紙芝居劇団「むすび」 石橋 友美 NPO法人ヒューマン・アドバンス・堺 井上 和希	① 19/20 ② 13/20	①② 感想を聞く	・広報等を通じて広く市民に募集した。 ・フィールドワークを実施することで、人権課題をより身近に感じられるようにした。
	人権フォーラム	1	①	8	21	日	14:00~16:00	加古川市民会館	目的:市民の人権意識や人権感覚を磨き、人権が尊重されるまちづくりをめざす 内容:K:演題「いのちのバトンタッチ」映画『おくりびと』に寄せて	市民	R(人権全般)	詩人 青木 新門	800/800	事後アンケート	・広報に掲載した。 ・ちらしを作成し各町内に配布し参加を呼びかけた。
	理事研修会	1	①	2	20	月	14:00~16:00	加古川市役所大会議室	目的:市民の人権意識や人権感覚を磨き、人権が尊重されるまちづくりをめざす 内容:K:演題「部落史に学ぶ」-新たな見方・考え方にたった学習の視点-	市同協理事	E	鳥取環境大学 教授講師 外川 正明	60/100	事後アンケート	・理事以外に学校園にも参加を呼びかけた。
たつの市	「人権文化をすすめる市民運動」中央大会	1	①	8	7	日	13:00~16:00	赤とんぼ文化ホール	目的:すべての市民の人権が尊重される ころ豊かな社会をめざして 内容:K:人権を侵害しないために~情報の正しい選び方~	市民	R(情報と人権)	読売テレビ 元解説委員長 辛坊 治郎	1403/1100	事後アンケート	・市内全戸にチラシを配布したり、いろいろな場で紹介したりして、多くの方の参加を促した。 ・高校生に司会を依頼することにより、若い世代の参画を図った。
	人権を考える市民の集い	3	① ② ③	12 1 2	3 21 21	土 土 土	10:00~12:10 13:30~16:00 13:30~16:30	①新宮公民館 ②御津文化センター ③揖保川アクトホール	目的:お互いの人権を尊重し合い、共に生きる社会の創造をめざして 内容: ①K:女性が社会・地域で活躍するには ②K:違いを認めて共生の道を ③K:イクメンブームってなに?	①~③市民	①A ②G ③B	①NPO法人はちどり 代表 大原 美子 ②作家 金 真須美 ③神戸常盤大学短期大学部幼児教育学科 准教授 小崎 森弘	① 260/280 ② 418/400 ③ 480/450	①~③ 事後アンケート	・託児ボランティアを依頼し、若い世代の参加を促した。
	いきいき子育て人権講座	4	① ② ③ ④	9 10 11 1	16 11 15 27	金 火 火 金		①揖保川保健センター ②仙正教育集会所・西播磨食肉センター ③構教育集会所 ④御津やすらぎ福祉会館	目的:子育て世代の保護者を対象に、講演やフィールドワーク、参加体験型研修を実施し、子育てをサポートするとともに、人権リーダーの育成を図る 内容: ①W:温かい心で親子をつなぐ親子の絆 ②W、S(フィールドワーク):食を通して命の教育を ③W、V:大地の母さく糸に学ぶ子育て ~うどんづくりを通してあたたかな親子関係を~ ④K:絵本づくりの現場から	①~④子育て世代	①B ②③B、E ④B	①子育てインストラクター 山本 由美子 ②西播磨食肉衛生検査所 所長 芝崎 きくみ ③たつの市人権教育推進委員 松芳 きくみ ④福音館書店 川崎 康男	① 15/20 ② 28/20 ③ 27/20 ④ 13/20	①~④ 事後アンケート	・開催会場を市内旧1市3町で1回ずつ設定することで、子育て世代が参加しやすいようにした。
赤穂市	赤穂市人権を考えるつどい 記念講演会	1	①	11	27	日	14:30~16:00	赤穂市文化会館 小ホール	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かな赤穂市をめざす 内容:K:演題「日本人のこころ」 歴史を紐解きながら、日本人の人権についての考え方を学ぶ	市民	R	歴史家 黒田 美江子	469/450		

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
西脇市	「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間	9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	8 8 8 8 8 8 8 8 8	4 5 8 22 25 25 26 29 30	木 金 月 木 金 月 火		①~⑨ 19:30~21:00	①市立隣保館 上野会館 ②野村町公民館 ③大野隣保館 ④センティア西脇 ⑤西脇地域職業訓練センター ⑥芳田の里ふれあい館 ⑦サンバル日野 ⑧西脇東中学校体育館 ⑨黒っこプラザ	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かな西脇市をめざす 内容: ①K:ワークライフ・バランス これからの時代の男性の生き方 ②K:小さな発信 ③K:家族の絆・地域のちから ④K:天の恵と共感 ⑤K:人間とは... ⑥K:歌で綴る昭和と人権模様 ⑦K:人権とまちづくりを考える ⑧K:ふれあいコンサート ⑨K:すべての人が誇りを持って生きられる社会に	①~⑨市民	①B ②R(思いやり・寄りそう心) ③R(人権全般) ④R(思いやり・絆) ⑤⑥R(人権全般) ⑦R(人権のまちづくり) ⑧⑨D	①神戸常盤大学短期大学部 准教授 小崎 恭弘 ②加古川市社会教育委員長 鹿多 証道 ③兵庫県人権啓発協会 研修講師 本田 英子 ④ライフハーモニー教育研修所 位田 隆久 ⑤宍粟市西願寺 住職 佐々木 大観 ⑥兵庫県人権啓発協会 研修講師 永松 國光 ⑦帝塚山大学大学院 教授 中川 幾郎 ⑧音楽バンド リラックス ⑨プロップ・ステーション 理事長 竹中 ナミ	① 198/200 ② 100/50 ③ 109/100 ④ 131/120 ⑤ 106/120 ⑥ 180/200 ⑦ 269/200 ⑧ 110/90 ⑨ 116/90	①~⑨ 事後アンケート	・自治会を通じて、できるだけ丁寧な案内を行った。 ・各地域の実情を考慮しながら、講師・テーマ等の選定を行い、身近な人権課題について考えていただくように企画した。
	人権教育指導者講座	2	① ②	6 9	30 8	木 土		①② 19:30~21:00	①② 西脇市生涯学習まちづくりセンター	目的:人権意識の高揚を図るとともに、人権教育リーダーの養成を行う研修会 内容: ①K:これからの人権教育に思うこと ②K:メディア情報とどうつきあうか	①② 人権教育推進員・委員・市民	①R(人権全般) ②R(虐待)	①大阪人権博物館 文 公輝 ②大阪人権博物館 森田 英嗣	① 129/110 ② 110/110	①② 事後アンケート	・テーマについては、できるだけ市民の方のニーズを聞き、それにそった研修会を開催した。
宝塚市	人権ファシリテーター養成講座	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	11 11 11 11 11 11	18 18 24 24 25 25	金 木 木 木 金 金		10:00~12:00 12:45~14:45 10:00~12:00 12:45~14:45 10:00~12:00 12:45~14:45	①~⑥くらんど人権文化センター	目的:様々な人権課題をテーマとした参加型学習において、人権ファシリテーターとして参加者一人ひとりの力を引き出し、学びあう場づくりができる力を養成する 内容: ①G、W:人権尊重のためのファシリテーション ②G、W:ワークショップ(参加型学習)で深める人権 ③G、W:さまざまな人権課題に出会う ④G、W:さまざまな人権課題をともに学ぶ ⑤G、W:ファシリテーション実践 ⑥G、W:なぜ参加型で人権を学ぶのか	①~⑥市民	①~⑥ A、B、C、D、E、 F、G、I、H、K、 Q	Facilitator'sLABO(えふらぼ) 主宰 栗本 敦子	① 16/30 ② 14/30 ③ 12/30 ④ 10/30 ⑤ 11/30 ⑥ 10/30	全講座終了後に アンケート	・一人でも多くの市民に参加してもらえるように、市やその他の広報誌に掲載した。 ・受講者が引き続き発展講座を受講したいと思えるよう、講座の内容について講師と綿密な打ち合わせを行った。
	人権教育発展講座	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	2 2 2 2 2 2	8 8 14 14 15 15	水 水 火 火 水 水		10:00~12:00 12:45~14:45 10:00~12:00 12:45~14:45 10:00~12:00 12:45~14:45	①~⑥まいたに人権文化センター	目的:参加型体験学習の人権ファシリテーターとしての手法やプログラム作りを学び、地域の人権教育・啓発に活かせるようにする 内容: ①G、W:あらためてファシリテーターとは ②G、W:ファシリテーション実践準備 ③G、W:人権ワークショップを実践しよう① ④G、W:人権ワークショップを実践しよう② ⑤G、W:ワークショップのプログラムを組み立てる ⑥G、W:人権を学ぶ場のファシリテーターとして	①~⑥ 人権ファシリテーター受講者(過去の受講者も含む)	①~⑥ A、B、C、D、E、 F、G、I、H、K、 Q	Facilitator'sLABO(えふらぼ) 主宰 栗本 敦子	① 18/30 ② 17/30 ③ 18/30 ④ 13/30 ⑤ 14/30 ⑥ 16/30	全講座終了後に アンケート	・同和問題を柱として人権教育を捉えられるように、同和問題を扱ったアクティビティを講師に依頼した。 ・人権ファシリテーターとして活動する際の不安を軽減するような学習を実施した。
	人権教育中央講座	5	① ② ③ ④ ⑤	8 9 9 9 10	30 9 22 30 11	火 金 木 金 火		14:00~16:00 14:00~16:00 10:00~12:00 10:00~12:00 10:00~12:00	①~⑤宝塚市役所	目的:同和問題をはじめとするさまざまな人権課題に対する啓発の深化と拡大を図るために、人権問題に関する講座を実施し、正しい知識を身につけると共に、感性を磨き、人間尊重の精神を生活の中に活かすことのできる実践力を養う 内容: ①K、G:出会いと表現 ~あることを、ないことにしない~ ②K、G:多様性教育 ③W:ワークショップ「リラックス 自己紹介」「わたしの好きなこと」 ④W:ワークショップ「人権のキーワード:尊敬・自由・平等・共生」 ⑤W:ワークショップ「うれしい言葉、いやな言葉」	①~⑤ 市民、行政職員、教職員	①E ②~⑤ A、B、C、D、E、 G、K	①徳島県同和地区青少年団体連絡協議会 「止揚の会」事務局 大冨 昇 ②大阪教育大学 森 実 ③~⑤人権ワークショップ研究会 代表 幸田 英二	① 174/150 ② 122/150 ③ 107/150 ④ 110/150 ⑤ 99/150	①~⑤ 事後アンケート	・市民の方々が、今日的な人権課題を学習できるようテーマを設定した。 ・多くの参加者を得るために、幼・小・中・特別支援学校のPTA(育友会)にも積極的に広報を行った。
	①憲法週間記念事業 ②憲法週間記念事業パネル展	2	① ②	5 5	27 30	金 月		13:30~15:00 9:00~17:30	①市立東公民館ホール ②宝塚市役所1階 市民ホール	目的:犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について、理解を深めるとともに、差別を解消していく意欲を高める 内容: ①K:講演「受刑者の心に耳を傾けてください ~奈良少年刑務所詩集 空が青いから白をえらんだのです~」 ②S:パネル展「奈良少年刑務所詩集展 ~受刑者たちの心の声と知られざる名建築~」	①②市民	①②I	①作家、詩人 奈 美千子	① 140/150	① 事後アンケート	・①②とも本市ではあまり取り上げられなかった題材を選択した。
三木市	同和教育セミナー	3	① ② ③	6 6 7	17 24 1	金 金 金		①~③ 19:30~21:30	①三木市立教育センター ②吉川町公民館 ③三木市立教育センター	内容: ①「人権について考える-人権(同和)教育・啓発を中心に-」 ②「市民意識調査結果から見てきたこと」 ③「元在日外国人から見た日本」	①~③市民全体	①②E ③G	①人権教育アドバイザー 尾城 文雄 ②国連登録NGO横浜国際人権センター 理事 大久保 陽一 ③兵庫県人権教育研究協議会事務局 職員 後藤 みなみ	① 106 ② 86 ③ 115	①~③ 事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかけた。
	市民じんけんの集い	1	①	8	21	日		14:30~16:00	三木市文化会館	内容:S:人権劇「今、光っていたい~娘の残してくれたもの~」	市民全体	E	市民人権劇団	1072	実人数 事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかけた。
	人権フォーラム	3	① ② ③	10 10 10	21 25 28	金 火 金		①~③ 19:30~21:00	①~③三木市立総合隣保館	人権問題全般 ※各回(発表者各回4人ずつ)ごとにテーマが異なる。	①~③市民全体	①~③ R(人権問題全般) ※各発表者ごとに テーマが異なる。	①~③市民(毎回4人ずつ発表)	① 125 ② 141 ③ 108	実人数 ①~③ 事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかけた。
高砂市	公民館人権講話	8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	7 8 8 8 8 10 11	14 3 25 29 29 30 6 5	木 水 木 月 月 火 木 土	13:30~15:00 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 13:00~14:30 10:00~11:30	①北浜公民館 ②曾根公民館 ③伊保公民館 ④高砂公民館 ⑤荒井公民館 ⑥米田公民館 ⑦中筋公民館 ⑧阿弥陀公民館	目的:グループ活動の場や日常生活の中で人を大切にしたい態度や行動が行えるようにする 内容: ①K:「さわやかに生きる」~住みよい地域社会をめざして~ ②K:「自分もまわりの人も喜べる生き方」~人権と感謝の心で~ ③K:「さわやかに生きる」~住みよい地域社会をめざして~ ④K:「自分もまわりの人も喜べる生き方」~人権と感謝の心で~ ⑤~⑦K:「自分もまわりの人も喜べる生き方」~人権と感謝の心で~ ⑧K:「さわやかに生きる」~住みよい地域社会をめざして~	①~⑧ 市民(公民館講座生)	①~⑧R	①③④⑧兵庫県人権教育研究協議会 後藤 みなみ ②⑤~⑦三木市立別所小学校 校長 春川 政信	① 90 ② 26 ③ 83 ④ 52 ⑤ 55 ⑥ 86 ⑦ 50 ⑧ 63	実人数 ①~⑧ アンケート	・できるだけ多くの講座生に参加を呼び掛けるように公民館を通じてPR活動に努めた。	

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的と思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)	
高砂市	学校園人権学習会	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	7 8 2 2 2 3 3	25 10 2 9 23 1 5	月 水 木 木 木 木 月	14:00~15:30 9:00~11:00 12:50~16:00 13:45~14:30 13:30~15:30 10:30~11:30 13:45~14:30	①鹿島中学校 ②高砂小学校 ③伊保小学校 ④荒井小学校 ⑤松陽中学校 ⑥米田小学校 ⑦荒井中学校	目的:PTA・地区住民・教職員が幼児・児童・生徒の自己表現と「共に生きる社会」の構築を目指す 内容: ①K:「ボクのこと大好き」 ②K:「すべての子どもたちを高める人権教育」 ③K:「一人一人を生かす国語科の指導」 ④K:「私と太平洋戦争」 ⑤K:「太鼓と命」 ⑥K:「子どもの安心・地震・自由」 ⑦K:「カウンセリング事例から学ぶこと」	①~⑦ 保育園・幼稚園・小学校・中学校教職員、児童・生徒	①~⑦R	①春川 れい子 ②三木市立別所小学校 校長 春川 政信 ③兵庫教育大学 吉川 義則 ④森廣 栄一 ⑤太鼓屋六衛門 杉本 大士 ⑥はりまCAPリバ 三野 敬子 ⑦枝川 京子	① 42 ② 30 ③ 30 ④ 135 ⑤ 200 ⑥ 60 ⑦ 21	実人数		
	就学前教育部会研修会	1	①	8	30	火	14:00~15:30	高砂市総合体育館 会議室	目的:幼児教育において人権感覚の基礎を培う保育内容を学習する 内容:「児童虐待の理解と対応」	就学前教育部会 保育園、幼稚園教職員	B	兵庫県中央子どもセンター 家庭支援課長 頼田 三郎	40	実人数		
川西市	人権学習市民講座	3	① ② ③	6 6 6	8 23 29	水 木 水	①~③ 10:00~12:00	①~③川西市総合センター	目的:市民の人権意識と人権感覚を磨き、心豊かな川西市をめざす 内容: ①K:「受刑者の心に耳を傾けてください」 ②K:「子どもの虐待はなぜ起こる」 ③K:「育つ人、育てる人の心」	①~③市民	① ②B ③I	①童話作家 奈 美千子 ②神戸市看護大学 教授 高田 昌代 ③千房株式会社 社長 中井 正嗣	① 54/100 ② 67/100 ③ 72/100	①~③ 事後アンケート		
	人権学校	4	① ② ③ ④	11 11 11 12	10 17 24 1	木 木 木 木	①~④ 13:30~15:30	①~③川西市総合センター ④市役所	目的:市民の人権意識と人権感覚を磨き、人権啓発のリーダーを育成する 内容: ①K:「精神障がいへの理解と人権」 ②K:「発達障がいへの理解と人権」 ③K:「身体障がいへの理解と人権」 ④K:「私たちの暮らしと障がい」	①~④市民	①~④D	①~④関西大学 教授 串崎 真志	① 26/40 ② 40/40 ③ 23/40 ④ 28/40	①~④ 事後アンケート		
	オンズパーソン2011年次活動報告会	1	①	3	24	土	13:30~16:00	みつなかホール・文化サロン	目的:子どもの人権オンズパーソンの活動を広く市民に知ってもらい、子どもの人権が尊重される、心豊かな川西市をめざす 内容:V、S(シンポジウム):「子どもなのに、こんなに忙しくていいのかな?」	市民	B	市子どもの人権オンズパーソン 他	74/100	事後アンケート		
小野市	小野地区ヒューマンライフ推進協議会 ハートフル学習講座	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	4 5 5 6 6 8 10	27 12 26 9 26 30 29	水 木 木 木 木 火 土	19:30~21:00 19:00~21:00 19:30~21:00 19:30~21:00 14:00~16:00 19:30~21:00 8:30~17:00	①コミセンおの ②伝統産業会館 ③④コミセンおの ⑤エクラ ⑥コミセンおの ⑦人と防災未来センター	目的:人権課題の現状と対策について学び、人権学習リーダーを養成する 内容: ①V:「ケータイトラブル」 ②K:「共に生きる地域づくり」 ③K、V:「高齢者虐待、認知症について」 ④V、G:「クリームパン」 ⑤K:「デートDVと恋愛」 ⑥K:「ケータイとのかきあい方について」 ⑦S:人と防災未来センター見学	①~⑦市民	①K ②R(地域と人権) ③C ④B、R(いのち、地域) ⑤A、B ⑥K ⑦R(いのち、地域)	①兵庫県人権教育研究協議会 前会長 陰山 雅弘 ③小野市地域包括支援センター職員 ⑤かみむらクリニック 院長 上村 茂仁 ⑥兵庫県インターネット安全利用協議会 会長 三好 成明	① 102 ② 70 ③ 63 ④ 102 ⑤ 56 ⑥ 77 ⑦ 22	実人数 ①~⑦ 事後に理事会等で反省・評価	・各町・自治会のリーダーとして学習してほしいことを第1回目の講座で参加者に伝え、学習に積極的に取り組んでいただけた。 ・高齢者問題やインターネットによる人権侵害など、関心の高い問題について取り上げるように計画した。	
	かわいヒューマンライフ推進委員会 さわやか交流塾	3	① ② ③	7 7 7	7 14 21	木 木 木	①~③ 19:30~21:00	①~③コミセンかわい	目的:児童虐待をもとに、地域の人のつながりについて考える 内容:①~③V、G:「クリームパン」 (注)同じ内容で講座を3回開催。参加できる日時を選んで参加してもらう。	①~③市民	①~③ B、R(いのち、地域)	① 36 ② 45 ③ 34	実人数 ①~③ 事後に理事会等で反省・評価	・同じ講座を3回開催し、参加できる日を選択できるようにした。		
	高齢者自主学習会	22	① ~ ②	6 ~ 3				①~②市内各町・自治会の公民館等	目的:各町・自治会の高齢者組織(老人クラブ等)で学習会を開催し、人権課題や地域のあり方・生き方について考える 内容:①~②K、V、G等	①~②市民	①~② 各町・自治会で選ばれた人権課題	①~② 583 22回実施	実人数 各地域ごとの理事会等で反省・評価	・高齢者が参加しやすいように、出前学習と称し、公民館等へ出向くようにしている。		
三田市	人権を学ぶ啓発講座 あなたのまわりに...「かわった人」「こまった人」「ふしぎな人」はいませんか?	1	①	11	19	土	10:00~12:00	総合福祉保健センター	内容:みんながって みんないい 大人の「発達障がい」への理解の輪を広げる	市民	D	稲葉 政徳	41	実人数		
	人権を学ぶ啓発講座 歴史から学ぼう! Part2	1	①	11	8	火	9:20~13:50	篠山市内	内容:K、S(フィールドワーク):在日コリアンの足跡を訪ねて	市民	G	篠山市人権・同和研究協議会 松原 薫 川西 恵	15	実人数		
	人権を学ぶ啓発講座 誰もが住みやすい街って何?	1	①	11	13	日	14:00~16:00	三田市立三輪小学校体育館	内容:いっしょにしようよ! ふっせんバレーボール	市民	D	大阪ふうせんバレーボール普及会 会長 石井 勝浩 チーム豊中まちなかワニ	33	実人数		
加西市	人権を考える市民のつどい	1	①	8	21	日	13:30~15:50	加西市民会館 文化ホール	目的:差別のない明るい社会の実現をめざして、8月を人権推進強調月間と定め、「人権文化をすすめる市民運動」を展開する。その一環として、講演会を催し加西市民の人権意識の高揚と差別意識の解消をめざす。 内容:K	市民と学校関係者	A、B	エンパワメント・センター 主宰、 立命館大学 客員教授 森田 ゆり	約800/800	事後アンケート	・講師の選定にあたっては、「市民の関心のある人権問題」をこれまでのアンケート等の調査において調べた結果をもとに判明した「子どもの人権課題」について講話していただける方から選定した。 ・HPや広報がさいで告知するほか、区長会、公民館、地域交流センター、学校関係にチラシを配布し市民に参加を呼びかけた。	
	かしの木学園人権講座	4	① ② ③ ④	12 12 12 1	9 13 13 16	金 火 火 月	9:30~11:30 9:30~11:00 10:00~11:30 10:00~11:30	①北部公民館 ②中央公民館 ③善防公民館 ④南部公民館	目的:人権意識・感覚の高揚をめざす 内容: ①K:「いのち、うた、こころ」 みんながって みんないい ②K、V:「ハンセン病について」 ③K:「いのち、うた、こころ」 みんながって みんないい ④K、V:「いのちの大切さ」	①~④ 公民館活動受講生 及び各グループ参加者	①C、R(いのちの大切さ) ②H ③C、R(いのちの大切さ) ④A、B、C	①③人権啓発指導員 岩田 勝 ②④公民館指導員	① 73/70 ② 68/70 ③ 70/80 ④ 63/60	①~④ 参加者の意見	・「かしの木学園」は高齢者のための公民館主催の講座である。12月は人権週間に合わせて人権をテーマに講座を開いている。内容が昨年までの内容と重複しないように気を配っている。	

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
加西市	子育て教室人権学習講座	5	① ② ③ ④ ⑤	11 11 11 11 11	9 10 15 17 17	水 木 木 火 火	10:30~11:30 10:15~11:15 10:15~11:15 10:30~11:30 10:30~11:30	①善防公民館 ②善防公民館 ③善防公民館 ④善防公民館 ⑤北部公民館	目的:人権意識・感覚の高揚をめざす 内容:①~⑤K、V:人権について考えてみましょう	①~⑤ 公民館活動受講生 及び各グループ参加者	①~⑤A、B	①~⑤公民館指導員	① 15/20 ② 10/20 ③ 8/15 ④ 6/10 ⑤ 84/80	①~⑤ 参加者の意見	・公民館の子育て学習センターに参加されている親子を対象にした人権学習会を行うなど、あらゆる機会を捉えて人権教育・啓発を行っていった。
篠山市	男女共同参画推進員研修会: 「落語で学ぼう 男女共同参画」	1	①	7	1	金	19:30~21:20	篠山市民センター	目的:人権意識と人権感覚を磨き、各自自治会で推進・啓発活動に従事してもらう ために行う 内容:K:「女性男性への固定観念」	自治会選任の男女共同参 画推進員と一般住民	R(夫婦)	三遊亭 楽団治(太多垣 康男)	150/240	事後アンケート	・推進員対象と限定しても参加数が少ないので、面白おかしく落語による研修会にし た。
	男女共同参画セミナー「平清盛と 平家物語の女性たちから学ぶ」	2	① ②	10 10	7 18	金 火	①② 13:30~15:00	①②篠山市民センター	目的:平安時代末期の変化する歴史の転換期の中で、力強く生きた女性の有様 を知ることにより、現在の女性の生き方に参考とするため 内容:①②K:「歴史上における細かい人物の描写」	①②一般市民	①②A	①②森田 充代	① 30/50 ② 21/50	①② 事後アンケート	・H24年度NHKの大河ドラマの上映の事前知識として取り入れた。
	地域チャレンジネットワーク事業 「イクメンの手料理教室」	1	①	2	12	日	9:30~13:00	篠山市民センター	目的:女性の家事負担の軽減と家事育児に対する意識づくりのため 内容:K:「手軽に作れる料理ミートローフ・スープ・デザートほか」	一般市民	R(協力)	岩崎 裕美子	20/20	事後アンケート	・集客のため啓発用チラシを主なアパートのポストに投函した。
養父市	人権学びステーション	10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	6 7 8 9 10 11 11 12 1 2	30 23 9 13 14 4 17 1 26 28	木 土 火 火 金 木 木 木 火	19:30~21:30 13:30~15:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30 19:30~21:30	①養父公民館 ②八鹿文化会館 ③~⑩養父公民館	内容: ①K:不登校支援について ②K:命の感受性 ③K:障がい者の人権について ④K:東日本大震災後の学校での心のケア ⑤G:身近な人権 ⑥K:特養におけるターミナルケア ⑦W:児童虐待 ⑧K:東日本大震災後の障がい者支援活動 ⑨K:同和問題 ⑩K:児童虐待	①~⑩市民	①B ②A、B、C、G ③D ④B ⑤R(身近な人権) ⑥C ⑦B ⑧Q ⑨E ⑩B	①県立但馬やまびこの郷 課長 村上 裕樹 ②作家 落合 恵子 ③社会福祉法人施設長 正垣 充正 ④県スクールカウンセラー 阿部 昇 ⑤運営委員 ⑥社会福祉士 中村 すえ子 ⑦シンガーソングライター イクラ ⑧NPO法人理事 八幡 隆司 ⑨中学校教頭 山崎 喜彦 ⑩こども家庭センター 所長 永田 政文	① 27/30 ② 500/700 ③ 16/30 ④ 18/30 ⑤ 12/20 ⑥ 11/20 ⑦ 250/300 ⑧ 20/30 ⑨ 15/30 ⑩ 24/30	①~⑩ 事後アンケート	・「人権文化をすすめる市民運動」という目的から、特に市職員の参加が必要である と考え、職員研修の1つに指定した。
丹波市	丹波市中学校人権交流会	1	①	8	5	金	9:00~12:00	ライブピアいちじま	目的:市内中学生が交流を行い人権についての学習を深め、更なる人権意識 の向上を図るため 内容:OK、G:私たちの生活と人権 OK、G:私の八月六日	市内中学生(希望者)	R(生活と人権、 平和)	三木市立別所小学校 校長 春川 政信 宝塚原爆被害者の会 会長 岡邊 好子	240	実人数 事後アンケート	・中学生の希望者を対象として毎年実施。
	丹(まごころ)の里人権フェスティ バル	1	①	12	4	日	13:00~16:00	春日文化ホール他	目的:人権週間にあわせて、市民の人権に対する関心を高める 内容:K、G:渡辺千賀子のおはなしコンサート	市民 自治会長・人権学習支援 者・男女共同参画推進員・ 消防団員・その他	E	ソプラノ歌手 渡辺 千賀子	350	実人数 事後アンケート	・人権啓発活動北阪神・篠山・丹波地域ネットワーク協議会の事業として実施。 ・丹波市同和教育協議会とも連携し、多くの参加を得た。
	人権歴史講座	5	① ② ③ ④ ⑤	6 7 9 10 11	30 21 18 18 26	木 木 火 火 土	19:00~20:30 19:00~20:30 19:00~20:30 19:00~20:30 8:00~17:20	①~④柏原住民センター ⑤大阪人権博物館他	目的:中世から現代における「部落史」を学び、差別のない平等な社会の実現を 目指すとともに、人権文化の創造に向けた今日的課題を探る 内容: ①K:部落史がわかる連続講座 中世から近世 ②K:部落史がわかる連続講座 近世から近代 ③K:近代の部落史 ④K:現代の部落史 ⑤S(フィールドワーク):大阪歴史博物館、大阪人権博物館	①~⑤一般市民	①~⑤E	①②大阪教育大学 教授 中尾 健次 ③④大阪人権博物館 事務局長 朝治 武 ⑤大阪人権博物館 学芸員	① 36 ② 27 ③ 27 ④ 28 ⑤ 21	①~⑤ 事後アンケート	・中世から近世、現代の部落史の歴史的事実をテーマとして実施。 ・水平社宣言をはじめ、部落差別の成り立ちが理解できたとの共感を得た。
南あわじ市	地区別人権学習会	21	① ②	地区の希望日 (1:30~2:00の学習)				①~⑭地区公民館(21地区)	内容:①~⑭K、V、G:啓発ビデオ「私のない私」を活用した講話とグループ討議	①~⑭市民	①~⑭ R(豊かな人権文 化を育てよう)	①南あわじ市人権教育指導員 ②人権教育課 ③特別職非常勤職員	①~⑭ 実人数 約1000人	①~⑭ なし	・一人でも多く、さらに新たな学習者の参加について、地域の役員と検討しながら実 施している。
朝来市	子どもワークショップ	9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	10 10 10 10 10 11 11 11 11	18 18 20 20 20 20 26 14 16	火 火 木 木 木 木 水 月 水	8:30~9:30 9:30~10:30 8:30~9:30 9:30~10:30 9:30~10:30 17:00~18:00 9:30~10:30 9:00~11:00 9:00~11:00	①~④梁瀬小学校 ⑤~⑦照福保育園 ⑧⑨梁瀬幼稚園	目的:子どもたちの自尊感情を高め、心豊かな朝来市をめざす 内容:①~⑨:W、S(トークタイム):子どもたちへの暴力防止教育により、人権 意識を変革し、人権に対する正しい理解を 深める	①梁瀬小学校5年生1組 ②梁瀬小学校5年生2組 ③梁瀬小学校1年生1組 ④梁瀬小学校1年生2組 ⑤照福保育園4歳児・ 5歳児 ⑥照福保育園保護者・ 保育士 ⑦照福保育園4歳児・ 5歳児 ⑧⑨梁瀬幼稚園5歳児	①~⑨B	①~⑨さんだCAP	① 33 ② 33 ③ 25 ④ 24 ⑤ 37 ⑥ 50 ⑦ 37 ⑧ 40 ⑨ 40	①~⑨ 特になし	・本年度から子どもだけでなく、保護者や保育士を対象にした研修会も実施して成果 を上げている。
淡路市	じんけん市民講座2011 「人権・部落問題連続講座」	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	7 9 10 11 1 1 2	16 17 22 19 14 18 11	土 土 土 土 土 土 土	①~⑦ 14:00~16:00	①~⑦東浦事務所	目的:人権意識と人権感覚を磨き、誰もが尊重される共生のまちづくりをめざす 内容: ①K:身分制度と被差別民 ②K:近現代部落問題の歴史 ③K:文明開化と食肉 ④K、G:被差別民と芸能 ⑤K、G:琉球・沖縄の歴史 ⑥K、G:在日コリアンの歴史と現在 ⑦K、G:アイヌ民族差別問題とは	①~⑦市民	①~④E ⑤R ⑥G ⑦F	①④大阪人権博物館学芸員 村上 紀夫 ②大阪人権博物館学芸員 朝治 武 ③大阪人権博物館学芸員 吉村 智博 ④大阪人権博物館学芸員 仲間 恵子 ⑤大阪人権博物館学芸員 文 公輝	① 17/30 ② 16/30 ③ 10/30 ④ 9/30 ⑤ 9/30 ⑥ 16/30 ⑦ 13/30	①~⑦ 事後アンケート	・できる限り最新の情報、研究成果などを講師に提供いただけるようお願いし、新し い発見などがたくさんありました。 ・後半は、講義を短くし、講師との対話を多くしたことにより、活発な討議が行われた。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜日	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
淡路市	じんけん市民講座2011 「福笑座」福祉と人権連続講座 (淡路市社会福祉協議会と共催)	13	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	2	9	木		19:00~21:00 19:00~21:00 13:30~15:30 19:00~21:00 13:30~15:30 19:00~21:00 19:00~21:00 13:30~15:30 19:00~21:00 13:30~15:30 19:00~21:00 10:00~12:00	①~⑬津名保健センター	目的:人権意識と人権感覚を磨き、誰もが尊重される共生のまちづくりをめざす 内容: ①K、G:このまちで生きる 東北に派遣された職員の話 ②K、G:このまちで生きる 福島県から避難された方の話 ③K、G:介護するってなんだろう? ④K、G:このまちで生きる 精神障がいのある人 ⑤K、G:介護するってなんだろう? ⑥K、G:このまちで生きる 精神障がいのある人の家族の思い ⑦K、G:このまちで生きる 断酒会について ⑧K、G:このまちで生きる 引きこもり支援について ⑨K、G:介護するってなんだろう? ⑩S(訪問):このまちで生きる フィールドワーク ⑪S(訪問):介護するってなんだろう?フィールドワーク ⑫K、G:このまちで生きる 発達障がいのあるひとの家族の思い ⑬K、G:全講座のふりかえり	①~⑬市民	①②Q ③C、D ④D ⑤C、D ⑥D ⑦R(アルコール中毒) ⑧R(引きこもり) ⑨C、D ⑩D ⑪C、D ⑫D ⑬C、D、Q	①⑬市職員 中野 輝美 ②IYO楽園 煙山 享 ③洲本健康福祉事務所 上坂 智洋子 ④さくらんぼの里 施設長 藤岡 政夫 ⑤認知症の人と家族の会 兵庫県支部 代表 酒井 邦夫 ⑥いきいき家族会 会長 大谷 俊 ⑦淡路断酒会 徳本 茂久 ⑧淡路プラッツ統括リーダー 石田 貴裕 ⑨つどい場さくらちゃん 理事長 丸尾 多重子 ⑩淡路ふくろうの郷 施設長 大矢 遼 ⑪淡路病院 副本部長 木下 豪 ⑫ピアサポーター 安井 幹人 ⑬西宮市社会福祉協議会 清水 明彦 つどいの場さくらちゃん 理事長 丸尾 多重子 ⑬淡路発達障害児親の会 平見 幸子	① 20/30 ② 20/30 ③ 20/30 ④ 20/30 ⑤ 20/30 ⑥ 20/30 ⑦ 20/30 ⑧ 20/30 ⑨ 20/30 ⑩ 20/30 ⑪ 20/30 ⑫ 20/30 ⑬ 20/30	①~⑬ その都度アンケート	・市内で様々な活動する人を招くことにより、わが町を見直し、問題などを確認できるようにした。 ・講義を短くし、講師との対話を多くしたことにより、活発な討議が行われた。
	じんけん市民講座2011 「フィールド・ワークコース」	2	① ②	10 11	15 13	土 日		9:30~16:15 9:00~16:30	①海外移住と文化の交流センター、神戸ビエンナーレ等 ②生野区コアタウン、ATCエイジレスセンター	目的:人権意識と人権感覚を磨き、誰もが尊重される共生のまちづくりをめざす 内容: ①G、W:海外移住と文化の交流センター、神戸ビエンナーレ等 ②G、W:生野区コアタウン、ATCエイジレスセンター	①②市民	①C、D、F、G ②C、D、G	① 17/30 ② 16/30 ③ 10/30 ④ 9/30 ⑤ 9/30 ⑥ 16/30 ⑦ 13/32	①~⑦ 事後アンケート	・海外移住の基地であった海外移住と文化交流センターを訪ね、海外移住の歴史や意義を学べるように行った。 ・生野コアタウンを訪ね、朝鮮民族の歴史、文化を体感し、ユニバーサルデザインが使用されている製品などを見学した。	
宍粟市	体験から学ぶ人権講座 まなびとクラブ	10	① ~ ⑩	7 ~ 8	- -	- -	1回約4時間	①~⑩ センターちくさ、千種町内、市外研修	目的:体験から学ぶ人権講座。全町の小学生児童・生徒を対象として、人権学習の深まりと機会の充実を図る。 内容:①~⑩S(体験、見学):人権に関わる様々な課題についての体験学習を通して、お互いの存在を大切に、様々な偏見を正して地域の中でともに生きていこうとする心を育てる	①~⑩市民(小学生)	①~⑩ B、D、Q、R	①~⑩ 宍粟市立千種北小学校 校長 田中 市朗 ほか	① 30/40	①~⑩ 感想文	・体験を通じて学ぶ学習を実施するため、より安全により効果的に実施すべく、地域ボランティア、中学生、学校教諭の協力を得て実施している。	
	地域づくり学習発表会・人権講演会	1	①	2	24	金	19:00~21:00	センターちくさ	目的:人権を尊重した地域づくりや交流活動を支援します 内容:K、S(実践発表):「ともに生きるまちづくりの推進」 「人のこころにひそむ差別」 人権ビデオ学習と地域づくり学習の実践発表を通して、人権学習の推進を図る。同和問題は、すべての人が幸せになるための勉強であることを学ぶ。	市民	E、 R(家庭内DV)	発表:千種町連合自治会 講演:講師 旭堂 南陵	90/120	事後アンケート	・自治会の実践発表と、講師による講演会を、連続して開催することで、町内全自治会にわたって、幅広い年代層の研修を図った。	
	ともに生きる地域づくり講演会	1	①	12	9	金	19:30~21:00	市民センター波賀ホール	目的:障害者スポーツを通して、障害者差別や健康について考える 内容:K:「西家 道代」さんの講演を聞く	市民と学校関係者	D	シッティングバレーボール全日本代表 キャプテン 西家 道代	90/100	事後アンケート	・講演内容を波賀生涯学習事務所の広報誌「生涯学習レター」に掲載して参加できなかった方にも啓発した。	
加東市	地区住民学習リーダー研修会	2	① ②	5 6	19 9	木 木	①② 19:30~21:00	①②社福祉センター	一高めよう人権意識 広げよう交流の輪 内容: ①K:「地区住民学習説明会」地区住民学習の進め方並びに事務手続き説明 ②K、V:「住民学習の進め方」 一人権啓発映画「クリムパン」の視聴を通して	①② 各地区住民学習リーダー	①② R(地域づくり)	②兵庫県人権啓発協会 研修講師 永松 國光	① 132/160 ② 160/160		・教材のねらいを明確化。 ・参画型学習の試み。	
	市民人権講座	3	① ② ③	6 7 10	25 23 29	土 土 土	①~③ 19:20~21:00	①~③社福祉センター	内容: ①K:「信じますか? 迷信 一けがれ、因習」 ②K:「いのち うた ころころ -みんなちがって みんないい-」 ③K:「差別をなくす」から「手をつなぐ」へ	①~③各地区推薦受講者	①R(歴史認識) ②A、B、E、D ③C、E、G	①宗玄寺 住職 酒井 勝彦 ②加西市人権啓発指導員 岩田 勝 ③環境教育プランナー 岡本 工介	① 210/210 ② 189/190 ③ 181/190	①~③ 事後アンケート	・受講した成果として全出席者への修了証を交付する。 ・昔から伝わる唄(童謡)にも人権にかかわる意味が含まれていることを知る。 ・講師と受講生が一体となって学ぶ雰囲気づくり。	
	人権を考える市民の集い	1	①	2	4	土	13:30~15:30	滝野文化会館	育てよう一人一人の人権意識-思いやりの心・かけがえない命を大切に- 内容:S:住民学習のまとめ、三地区による住民学習の実践発表、中学生人権作文朗読	市民、地域リーダー	R(住みよい地域づくり)	加東市人権・同和研究協議会	382/350	事後アンケート	・各地区で実践された住民学習を評価する。 ・特色ある実践を発表・紹介し、次年度への推進を意図する。 ・児童・生徒の思いや考えが未来の地域づくりにつながるような共感の場とする。	
猪名川町	人権教育セミナー	4	① ② ③ ④	6 6 7 7	3 17 1 15	金 金 金 金	①~④ 19:00~20:30	①~④猪名川町中央公民館	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かなまちづくりをめざす 内容: ①K、V:「未来をひらく 男女共同参画」 ②K、V:「障がい者の人権」 ③K、V:「人権のまちづくり」 ④K:子どもの幸せを願って~子どもの権利条約を使おう~	①~④ 町民、行政職員、教育職員	①A ②D ③R(地域と人権) ④B	①イーブン市民講師 長澤 みさ子 ②NPO法人文化・福祉・人権サポートアソシエーション 政本 和子 ③大島小学校PTA ④子ども情報研究センター 山下 裕子	① 59/80 ② 82/80 ③ 71/80 ④ 84/80	①~④ 事後アンケート	・次回の研修日時や内容等に関するチラシを配布。 ・チラシを各学校園へ配布、公共施設の窓口に設置し周知を図る。 ・町ホームページに掲載し、周知を図る。	
	人権啓発担当者研修	4	① ② ③ ④	8 8 8 8	5 5 12 12	金 金 金 金	10:00~12:00 13:00~15:00 10:00~12:00 13:00~15:00	①~④猪名川町中央公民館	目的:職場、地域における人権教育を推進人材育成のため 内容:①~④K、G、W:ファシリテーター養成講座(初級)	①~④ 町民、行政職員、教育職員	①~④ R(人材育成)	①~④ Facilitator's LABO(えふらぼ) 栗本 敦子	① 30/32 ② 30/32 ③ 27/32 ④ 27/32		・町民に対して、参加をよびかけるため町広報誌やホームページに掲載し募集。 ・各学校園所、行政職員に参加をよびかける。	
多可町	人権啓発推進委員研修会 (地区別)	3	① ② ③	5 5 5	12 16 19	木 月 木	①~③ 19:30~21:00	①多可町隣保館 ②加美プラザ ③八千代プラザ	目的:人権を守り、心ふれあう愛情のまちづくりのため、各自治会で取り組む住民学習に向けてのリーダー研修 内容:①~③V:啓発ビデオ視聴「人権のヒント~地域編~」 啓発手法等の研修	①~③人権啓発推進委員	①~③ R(人権全般)	①~③ 人権啓発ビデオ「人権のヒント~地域編~」視聴	① 35/40 ② 42/50 ③ 28/35	①~③ 住民学習会の実施状況	・すべての自治会において、年1回は人権住民学習会を実施することを目標とする。 ・推進委員を中心に、創意工夫しながらの取組を確認するため、全体会を前に各地区単位で開催する。	
	人権啓発推進委員研修会 (全体会)	1	①	6	10	金	19:30~21:00	多可町文化会館	目的:人権を守り、心ふれあう愛情のまちづくりのため、各自治会で取り組む住民学習に向けてのリーダー研修 内容:V:啓発ビデオ視聴 「メンタルヘルスと人権~あなたの心の声を聞いていますか~」 啓発手法等の研修	人権啓発推進委員	R(人権全般)	人権啓発ビデオ「メンタルヘルスと人権~あなたの心の声を聞いていますか~」視聴	100/125	住民学習会の実施状況		

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
稲美町	人権啓発講座 「ほっとホットセミナー」	5	① ② ③ ④ ⑤	6 7 9 10 11	18 23 10 15 12	土 土 土 土 土	①～⑤ 10:00～11:30	①～⑤いきがい創造センター	目的:専門的な講師を招聘し、課題解決に資する 内容:①～⑤様々な人権課題をテーマとする	①～⑤町民	①R(薬物) ②E ③G ④M ⑤C	①NPO法人大阪ダルク 上原 幹史 ②元姫路市立琴丘高等学校 校長 吉田 善太郎 ③子ども多文化共生サポーター 渡辺 レイ ④近畿大学豊岡短期大学 准教授 武田 英樹 ⑤稲美町職員 石田 和也	① 28/25 ② 21/25 ③ 23/25 ④ 23/25 ⑤ 18/25	①～⑤ 事後アンケート	
	じんけんわくわくスクール	10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	6 7 7 7 9 10 10 12 12 2	4 25 9 31 10 15 22 3 3 17 25	土 土 日 土 土 土 土 土 土 土	10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00 8:45～15:00 10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00	①総合福祉会館 ②総合福祉会館 ③総合福祉会館 ④バス旅行(神戸へ) ⑤総合福祉会館 ⑥中央公園 ⑦総合福祉会館 ⑧総合福祉会館 ⑨総合福祉会館 ⑩総合福祉会館	目的:体験活動を通して、人権感覚を養う 内容:①～⑩思いやりの心や多くの友だちをつくる	①～⑩町内小学生	①～⑩ R(思いやりの心)	①開講式 ②橋本 康文 ③吉岡 美奈子 ④バス旅行 ⑤吉岡 美奈子 ⑥日本アニマルセラピー普及協議会 ⑦馬田 力 ⑧映画鑑賞 ⑨老人クラブ ⑩閉講式	① 47/71 ② 51/71 ③ 43/71 ④ 49/71 ⑤ 32/71 ⑥ 44/71 ⑦ 48/71 ⑧ 37/71 ⑨ 30/71 ⑩ 35/71	①～⑩ 事後アンケート	
播磨町	いきいきフォーラム合同研修会	4	① ② ③ ④	5 5 5 5	16 17 18 19	月 火 水 木	①～④ 19:00～21:00	①南部コミセン ②野添コミセン ③西部コミセン ④東部コミセン	目的:「いきいきフォーラム」のねらいを理解し、計画から実施に向けての体制づくりをする 内容:①～④OK:「いきいきフォーラム」のねらいについて OK:自治会長・いきいき活動推進委員の役割について OK:計画書・報告書の書き方について	①～④ 各自治会 自治会長および いきいき活動推進委員	①～④ R(人権啓発推進)	①～④播磨町人権啓発推進委員 教育委員会人権担当職員	① 17/22 ② 38/41 ③ 15/16 ④ 12/12		・コミセンエリアごとに研修会を実施することで、きめ細かい説明ができた。 ・自治会長と委員が相談し、いきいきフォーラムの計画書を作成する機会をもつことができた。
	ふれあいウェブ講座	3	① ② ③	6 6 7	20 28 8	月 火 金	①～③ 19:00～20:30	①中央公民館 視聴覚室 ②中央公民館 第2研修室 ③中央公民館 第4研修室	目的:人権学習のすすめ方や取組の方法を学習し、人権啓発推進リーダーの育成を図る 内容: ①K:「いきいきフォーラムをはじめよう」 ～啓発ビデオ教材(クリームパン)を使って ②K:「いきいきフォーラムを深めよう」～子どもや高齢者の声が観えますか～ ③K:「いきいきフォーラムで語り合おう」 ～コミュニケーションを豊かに楽しい学習会にしよう～	①～③ 町民、いきいき活動推進委員	①B、R(人権啓発推進) ②B、C ③E、R(人権啓発推進)	①生涯学習グループ 舩田 明生 ②社会福祉士 木村 佳恵 ③稲美町教育委員会 井上 直樹	① 25/30 ② 26/30 ③ 27/30		・地域で「いきいきフォーラム」を推進する上で必要な内容を設定した。 ・はがき等で案内をして講座の周知を図った。
	コミセンのつどい	4	① ② ③ ④	9 9 9 9	4 10 24 24	日 土 土 土	10:00～12:00 10:00～12:00 10:00～12:00 13:00～15:00	①東部コミセン ②西部コミセン ③野添コミセン ④南部コミセン	目的:「コミセンのつどい」を実施することにより、人権にかかわる“学びや多様な文化活動”にふれる機会を提供するとともに、「コミセンのつどい」を通じて町民の交流を促進し、人権尊重の地域づくりに向けた気運を醸成する 内容: ①K:「この世はつまるところ人力車！」 ②K:「しあわせ・ふれあい・人権」 ③④V:「ウィニング・バス」	①～④町民	①R(人権啓発推進) ②R(人権啓発推進) ③④D	①姫路市立総合教育センター 教育支援課 小西 啓一 ②姫路市人権啓発センター 啓発部長 有正 省三 ③④兵庫県映画センター	① 53/50 ② 40/50 ③ 80/60 ④ 75/60	①～④ 事後アンケート	・各コミセンごとの運営委員が中心となり、住民主導の人権学習会が開催できた。
神河町	地区別人権教室事前研修会	1	①	5	15	日	8:30～10:15	神河町中央公民館グリンデルホール	目的:地区別人権教室に参加し、盛り上げていただけるように、各地区リーダーを育成する 内容:K:地区別人権教室のねらい等 V:いのちの暮さ	各区分長、婦人会長、老人会長、人権文化推進員	R(人権全般)、B	神河町教育委員会教育課 課長 谷口 勝則 神河町教育委員会 社会教育指導員 段床 繁雄	222/332	なし	・地区別人権教室を区全体での取組としてもらうために、これまで別に開催していた人権文化推進員研修会を兼ねて開催することによって、区内の役職者の連携強化を図った。
	人権・青少年育成合同大会	1	①	12	3	土	9:00～11:30	神河町中央公民館グリンデルホール	目的:人権尊重の理念に対する理解を深め、お互いが認め合いながら、ともに生きる「共生社会」の実現に主体的に取り組む実践力を育成し、家庭・地域・学校・職場などに浸透し、人権文化のあふれる明るく神河町を創造する 内容:K:ミニコンサート「いのち・うた・こころ」～みんなががってみんないい～	町民、各種団体	R(人権全般)	加西市人権教育協議会 会長 岩田 勝	346/400	なし	・特になし
市川町	人権教育講座	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	6 8 8 11 12 1	11 1 26 5 11 17	土 月 金 土 日 火	13:30～15:30 8:30～12:00 13:30～15:00 12:00～16:00 10:00～12:00 8:00～15:00	①市川町就業改善センター研修室 ②福崎町立福崎西中学校 ③福崎町文化センター ④市川中学校区保育所、幼稚園、小学校 ⑤市川町文化センター ⑥大阪市など	目的:部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と人権尊重の町づくりをめざす 内容: ①啓発映画「クリームパン」を通しての人権研修の進め方 ②第46回神崎郡人権・同和教育研究大会に参加して ③神同教学校園所部会人権同和教育講演会に参加して ④人権文化推進実践発表会に参加して ⑤ヒューマンフェスティバル2011に参加して ⑥S:リパティおおさかななどのフィールドワーク	①～⑥ 市川町住民、 町内学校教職員					
	地区別人権文化推進員研修会	4	① ② ③ ④	6 6 7 7	25 25 2 2	土 土 土 土	10:00～12:00 13:00～15:00 10:00～12:00 13:00～15:00	①市川町文化センター ②老人福祉センター ③岡部会館 ④保健福祉センター	目的:部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と人権尊重の町づくりをめざすため 内容:①～④各地区のリーダーを集めての研修。住民研修の進め方。						
福崎町	人権・青少年健全育成研修会	1	①	4	23	土	9:00～11:30	福崎町エルデホール	目的:自治会・青少年健全育成研修に先駆け、自治会での人権教育推進、青少年健全育成の取り組みについて考える 内容:V:人権啓発DVD「クリームパン」・青少年健全育成DVD「いじめケース・スタディ」の上映 K:人権教育推進、青少年健全育成の取り組みについて	区分長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、指導委員	B、K、 R(地域と人権)	福崎町教育委員会 社会教育指導員 城井 敏行	100/120	事後アンケート	・6月から実施する各地区での人権学習会を前に、区分長や人権推進委員等、地域の指導者の人権意識を深めた。
	人権フェスティバル	1	①	12	3	土	9:30～12:00	福崎町エルデホール	目的:県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき、町民の人権意識高揚を図る 内容:K:「大人も子どもも自分を認め、お互いを認め合う世の中に～パーソナルポートフォリオを使って自己肯定感を高める実践～」	町民	B、R(共生)	福井県鯖江市小学校 教諭 岩堀 美雪	250/270	事後アンケート	・小中学生による人権作文の発表も同時に実施した。また、学校での取り組みをパネルで展示した。
太子町	龍田地区リーダー研修会	3	① ② ③	7 7 8	2 23 27	土 土 土	①～③ 19:30～21:00	①～③龍田公民館	目的:一人一人の人権を大切にす明るく町づくりを進める 内容: ①K、V、G:「思いこみ」から「思いやり」へ (映画「人権のヒート」の鑑賞をとおして) ②K、V、G:つながるいのちを感じて(映画「クリームパン」の鑑賞をとおして) ③K、V、G:地域でほくむ人権文化(映画「ボクとガク」の鑑賞をとおして)	①～③町民	①A、D、E ②R(いのちと人権) ③B、 R(地域と人権)	①太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事 寺前 健一 ②上郡町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事 安西 浩美 ③住用町教育委員会教育課 派遣社会教育主事 塚本 智昭	① 52/80 ② 44/80 ③ 42/80	①～③ 事後アンケート	・住民学習の手引き作成に際し、ビデオにかかわる意見交流がしやすいようなワークシートを作成した。 ・近隣市町教育委員会の人権教育担当者に講師を依頼し、参加体験型学習を一部取り入れていただくようにした。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(2)平成23年度 市町人権研修実施状況 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を3講座程度抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
太子町	「人権文化をすすめる町民運動」推進強調月間記念大会 講演会	1	①	7	31	日	14:30~16:00	太子町立文化会館	目的:一人一人の人権を大切にすめる明るい町づくりを進める 内容:K:「転んだら起きればいい見えないうつ 命がけで子どもを守れ!」	町民、学校関係者	B、R(地域と人権)	愛知県浄土宗西院 住職 廣中 邦充	711/700	事後アンケート	・学校関係者が多く参加するように研修の一環に位置付ける。
上郡町	地区別人権啓発講演会	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	8 9 9 9 1 1 3	19 10 10 10 14 21 4	金 土 土 土 土 土 日	19:30~21:00 10:30~12:00 13:30~15:00 13:00~20:30 13:30~15:00 10:00~11:30 14:00~15:30	①町立梨ヶ原公民館 ②町立赤松公民館 ③町立城屋公民館 ④町立山野里公民館 ⑤町立船坂公民館 ⑥町立高田公民館 ⑦町立上郡公民館	目的:人権意識を高め、心豊かな住みよい地域づくりをめざす 内容: ①K:「地域連携による東日本被災地支援」震災でつながる地域の力 ②W、K:「親と子の対話力UP」温もりのある人間関係と人権への気づき ③W、K:「いのちと人権」命と人権の視点、様々な気づき ④K:「いのち」の呼びが聞こえますか」児童虐待の現状と地域・人のつながり ⑤W、K:「子どもと地域とコミュニケーション」子どもの育ちと地域の教育力 ⑥K:「家庭の中に愛がありますか」子どもと親の育ち、地域について ⑦K:「笑顔が一番・元気が一番」日本社会の課題と明るい地域づくりについて	①~⑦ 町民 ・自治会役員 ・人権学習推進員 ・PTA、学校関係者 ・青少年育成関係者 ・福祉関係者 ・その他各種団体の代表 ・一般町民	①Q、R(地域) ②B、R(対人スキル) ③D、Q、R(人権全般) ④~⑥B、R(地域) ⑦C、G、R(地域)	①NPO法人空き缶でもうけてもええ会 事務局長 千種 和英 ②夢こらぼ 主宰 松尾 弥生 ③上郡町社会教育課 派遣社会教育主事 安西 浩美 ④兵庫県人権啓発協会 研修講師 永松 國光 ⑤NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長 山崎 清治 ⑥岡山学芸館高校 参与 森 美智子 ⑦兵庫県人権教育研究協議会 研修講師 後藤 みなみ	① 68/60 ② 67/70 ③ 35/50 ④ 120/154 ⑤ 59/65 ⑥ 85/100 ⑦ 60/60	①~⑦ 実施報告書	・想定される参加対象は、社会教育関係の様々な講演会とも重複することが多いため、可能な場合は共催するようにした。 (例:青少年健全育成講演会、PTA教育講演会など)
	高齢者団体等人権講座	3	① ② ③	6 9 12	17 14 1	金 水 木	13:30~15:00 11:00~12:00 10:00~11:30	①町立山野里公民館 ②上郡町商工会館 ③生涯学習支援センター	目的:会員の人権意識を高め、心豊かな住みよい地域づくりをめざす 内容: ①G、V:「ボクとガク」高齢者と地域の教育力について ②③K:「真の円熟社会をめざして」高齢社会の現状、高齢者の生きがい	①町民(高齢クラブ) ②町民(プロバスクラブ) ③町民(高齢者大学)	①B、C、R(地域) ②③C、R(地域)	①~③ 上郡町社会教育課 係長 深澤 徹也	① 75/90 ② 25/30 ③ 200/300	—	・参加者の関心を引き出せるよう、高齢者に焦点を当てた内容にした。 ・身近な教材として、町民意識調査や本町の人権作文を活用した。
	公民館人権学習(上郡公民館)	8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	6 7 10 10 10 13 3 3	7 4 水 木 木 火 火 火	10:00~11:30 10:00~11:45 10:00~12:00 10:00~12:00 13:30~14:30 13:30~14:45 19:30~21:00	①上郡小学校 ②児童養護施設 泉心学園 ③障害者支援施設 愛心園 ④特別養護老人ホーム 野桑の里 ⑤上郡小学校 ⑥~⑧町立上郡公民館	目的:多様な機会を捉えながら、団体を通じた会員浸透学習を推進する 内容: ①W、S(説明):人権について、校区の人権課題の共有 ②S(訪問):施設見学と園生をとりまく人権課題について ③S(訪問):施設見学と障害者の生きがいについて ④S(訪問):施設見学と社会福祉施設における人権尊重の取組について ⑤K:「子どもたちの心と体について」思春期の特徴など ⑥~⑧G、V:「クリームパン」児童虐待について	①~⑤小学校PTA会員 ⑥手芸サークル会員 ⑦編み物サークル会員 ⑧パソコンサークル会員	①B、E、R(地域) ②B ③D ④C ⑤~⑧B	①町社会教育課 安西 浩美ほか2名 ②泉心学園 副園長 高谷 博之 ③愛心園 園長 岡本 節代 ④野桑の里 所長 川上 ⑤町人権学習アドバイザー 村尾 由子 ⑥~⑧町立上郡公民館 館長 宮崎 隆吉	① 11 ② 7 ③ 5 ④ 8 ⑤ 13 ⑥ 18 ⑦ 12 ⑧ 13	①~⑧ 実施報告書 学習記録	【各公民館人権学習共通】 ・団体を通じた町民への人権意識の浸透を目的として町立公民館(7地区館)に委託。 ・各公民館の講座・教室・サークル団体が通常の活動とは別に人権学習にも取り組む。	
佐用町	高齢者大学	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	8 8 8 9 1 2	4 18 18 木 火 水	木 木 木 火 火 水	①~⑥ 10:00~11:30	①南光文化センター ②さよう文化情報センター ③三日月文化センター ④南光文化センター ⑤南光文化センター ⑥上月文化会館	内容: ①K:講演テーマ「歌でつづる昭和の人権模様パートⅡ」 ②K:講演テーマ「自分もみんなも大切にすコミュニケーション」 ③④S:講演テーマ「歌でつづる昭和の人権模様パートⅡ」 ④K:講演テーマ「歌であいさつを求めて」 ⑤K:講演テーマ「つながりを大切に」 ⑥K:講演テーマ「楽しいから長続き」	①~⑥ 高齢者	①~⑥R	①③兵庫県人権啓発協会 研修講師 永松 國光 ②⑤心理スペースほれほれ 主宰 福松 由佳 ④兵庫県生きがい創造協会 井上 正敬 ⑥生涯学習サポート兵庫 榎本 英樹	① 80/150 ② 250/350 ③ 30/150 ④ 30/150 ⑤ 80/150 ⑥ 100/150	①~⑥ 特になし	・人権について、身近に感じていただくために、わかりやすく聞きやすい講師を選んだ。
香美町	「人権文化をすすめる町民運動」事業 村岡区人権講演会	1	①	9	4	日	13:30~15:15	村岡老人福祉センター	目的:日常生活の中での人権意識の点検を呼びかけ、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決と差別の解消が自らの課題であるという認識を深めてもらう 内容:K:「コミュニケーションが心を育てる」	町民	R(言葉の持つ意味)	NPO法人生涯学習サポート兵庫 山崎 清治	130/150	事後アンケート	・人権啓発ビデオ講座参加者に対してでも参加を働きかけた。 ・チラシを全戸配布した。
	香住区 巡回人権学習会	11	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	4 4 7 9 9 14 15 18 18 22 22	金 月 水 水 火 月 火 金 火 火	①~⑪ 19:30~21:00	①駅前コミュニティーセンター ②下浜区公会堂 ③矢田区公民館 ④境区公民館 ⑤一日市区公民館 ⑥香住公民館 ⑦油良・間室区公民館 ⑧西香住区公民館 ⑨七日市区公民館 ⑩森区公民館 ⑪守柄公民館	目的:人権尊重の理念に基づき心豊かで思いやりのある人づくりを目指す 内容:ビデオ観賞し感想をグループで話し合う ①V、G:障がい者の人権について ②V、G:子どもの人権について ③V、G:インターネットでの人権侵害について ④V、G:子どもの人権について ⑤V、G:高齢者の人権について ⑥V、G:インターネットでの人権侵害について ⑦V、G:日常での様々な人権について ⑧V、G:部落差別について ⑨V、G:高齢者の人権について ⑩V、G:子どもの人権について ⑪V、G:日常での様々な人権について	①香住区駅前区民 ②香住区下浜区民 ③香住区矢田区民 ④香住区境区民 ⑤香住区一日市区民 ⑥香住区香住区民 ⑦香住区油良・間室区民 ⑧香住区西香住区民 ⑨香住区七日市区民 ⑩香住区森区民 ⑪香住区守柄区民	①D ②B ③K ④B ⑤C ⑥K ⑦B、C、D ⑧E ⑨C ⑩B ⑪B、C、D	①~⑪ 香住区同和教育啓発研究委員(司会・記録)	① 13/10 ② 22/20 ③ 12/10 ④ 16/10 ⑤ 30/25 ⑥ 38/30 ⑦ 17/10 ⑧ 23/15 ⑨ 15/15 ⑩ 15/10 ⑪ 16/10	①~⑪ 事後アンケート	・「子どもの人権」など、ビデオを6種類用意し、その中から各区長さんにテーマを選んでもらい、選んでもらったビデオの学習をした。
	香住区 巡回人権アニメ学習会	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	11 11 12 12 6 12	30 30 水 火 水 木	15:00~16:00 19:00~20:00 19:00~20:00 19:00~20:00 19:00~20:00 19:00~20:00	①佐津地区公民館 ②香住区中央公民館 ③柴山地区公民館 ④奥佐津地区公民館 ⑤長井地区公民館 ⑥余部地区公民館	目的:人権尊重の理念に基づき心豊かで思いやりのある人づくりを目指す。 内容:ビデオ観賞し感想を話し合う ①~⑥V:「はじめを考えると、子どもの人権・地域ではぐむ人権文化・戦争と平和」	①佐津小児童・家族ほか ②香住小児童・家族ほか ③柴山小児童・家族ほか ④奥佐津小児童・家族ほか ⑤長井小児童・家族ほか ⑥余部小児童・家族ほか	①~⑥ B、R(人権全般)	①~⑥香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事 伊藤 徹	① 15/20 ② 25/30 ③ 18/20 ④ 17/15 ⑤ 15/15 ⑥ 18/15	①~⑥ 参加人数 参加者の様子	・小学校に出向いて、チラシ配布時に児童へ参加の声かけをお願いする。 ・都合のつく学校教員の方の参加もお願いする。	
新温泉町	人権講座	5	① ② ③ ④ ⑤	6 7 8 9 10	22 27 水 水 水	水 水 水 水 水	①~⑤ 19:30~21:00	①~⑤新温泉町文化会館	目的:同和問題をはじめ、あらゆる差別、人権侵害をなくし、お互いを大切にしようまちづくりを目指す 内容: ①K、V:部落の歴史について ②K、V、G:認知症について ③K、V:いのちと人権 ④K、V:障がい者の方に関する問題 ⑤K、V、G:配偶者からの暴力について	①~⑤町内住民	①E ②C ③R(いのちと人権) ④D ⑤A	①町人権啓発指導員 松本 明 ②町人権啓発指導員 田邊 忠司 ③町人権啓発指導員 桑原 修身 ④町人権啓発指導員 坂本 和夫 ⑤町人権啓発指導員 山本 笙二	① 33 ② 33 ③ 34 ④ 34 ⑤ 25	①~⑤ 事後アンケート	・町広報紙や近隣発行の「文化会館だより」で内容の紹介や、アンケート結果の掲載。 ・地域ごとの学習会と兼ねての実施。
	新温泉町人権を考えるついで	1	①	8	6	土	13:30~15:30	新温泉町夢ホール	目的:幅広い各種の人権啓発活動を一体的、総合的に実施することにより、町民の参加を促し、広く人権尊重意識の普及高揚を図り、人権文化を醸成する 内容:K:「共に生きる社会をめざして～自殺予防のための処方箋～」	町内及び近隣市町住民	R(自殺問題、地域と人権)	立教大学 教授、精神科医 香山 リカ	386	事後アンケート	・聴覚障害の方も参加出来るように、オーバーヘッドプロジェクタを用いた要約筆記を行った。
	人権セミナー	5	① ② ③ ④ ⑤	7 9 10 11 12	4 9 5 9 5	月 金 水 水 月	①~⑤ 19:00~20:30	①②新温泉町多目的集会所 ③新温泉町センター ④新温泉町多目的集会所 ⑤新温泉町センター	目的:さまざまな人権課題の解決を図り、地域の人権文化を進めるための知識、技能の育成を目指す 内容: ①K:災害と人権 ②K、S:同和問題と太鼓の演奏 ③K:外国人問題 ④K:男女共同参画 ⑤K:障がい者の人権	①~⑤町内住民	①Q ②E ③G ④A ⑤D	①美方広域消防本部 救急救命士 尾崎 彰一 ②大阪市学校元氣アップ 支援員 森田 栄二 ③安泰寺 住職 ネルケ 無方 ④鳥取県男女共同参画センター 企画員 河崎 紀子 ⑤地域活動支援センターいわつばめ 支援員 田中 壮一郎	① 81 ② 115 ③ 67 ④ 25 ⑤ 51	①~⑤ 事後アンケート	・町内で人権尊重のまちづくりにむけ活躍されている方々を中心に講師をお願いし、より地域に密着したセミナーとした。 ・地域ごとの学習会と兼ねての実施。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
神戸市	DV防止セミナー	2 ①はた まご塾 第6回 の再掲	① ②	11 12	15 5	木 水	13:30~15:30 10:30~12:30	①②男女共同参画センター	目的:DV問題についての理解を高め、被害の防止、被害者への支援等について の啓発を行う 内容: ①K:DV防止セミナー「妻と夫のいい関係 彼女と彼のいい関係」 ②K:「取材の現場から見てきたもの DVと虐待~回復の力を信じて~」	①②市民	①②A	①「男」の悩みのホットライン 相談員 安部 達彦 ②読売新聞 堀川 雅子	① 35/30 ② 28/30	①② 事後アンケート	・男性の講師とすることで、男性の参加促進をはかった。
	男の生き方セミナー	2	① ②	11 12	23 12	金 土	13:30~15:30 13:30~16:00	①②男女共同参画センター	目的:男性が自分自身の行き方を振り返り、「男らしく」でなく「自分らしく生きる」 ということについて考える場とする 内容: ①K:男もつらいよ!これからの人生☆指南 ②K:男性のための語るカ☆聴くカ講座	①②市民	①②A	①大阪大学大学院医学系研究科保健学医療 技術科学分野機能診断科学講座 准教授 石蔵 文信 ②京都橋大学健康科学部心理学 教授、 カウンセリングオフィス天満橋 代表 濱田 智崇	① 43/50 ② 未実施/50	①② 事後アンケート	・男性の更年期やコミュニケーションに焦点を当てた講座とした。
	国際理解のための市民講座	3	① ② ③	12 12 12	2 8 8	日 土 土	10:00~12:00 13:30~14:50 15:00~16:00	①コミスタ神戸 ②③海外移住と文化の交流センター	目的:諸外国の文化や伝統を紹介することによって国際理解を深めるとともに、 外国人市民の人権問題を考える機会を提供する 内容: ①S(料理体験):「ニジェール料理を体験しよう」 ②S:「トルコ文化に親しもう、トルコアイスマゴもご賞味あれ」 ③K:「青年海外協力隊 ラオスでの体験」	①~③市民	①~③G	①元青年海外協力隊員 小川 環 ②神戸・トルコ友好協会 役員 アスメット・イルマズ ③関西国際大学 職員、 元青年海外協力隊員 北川 垂友美	① 40/30 ② 46/50 ③ 29/50		・在日外国人の民族・文化・生活をテーマに、音楽演奏や料理、映像表現を通じて多 文化との交流や共生について親しみやすく学習する。
姫路市	姫路市人権・同和教育研究大会	1	①	11	21	水	13:00~16:30	姫路市立勝原小学校	目的:部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けてより充実した教育内容を 創造し、組織的推進態勢の確立を図る 内容:K:特別講演「水戸者創立90周年 熱と光をもとめて」 G:8分科会19分科会における研究討議	市民、学校関係者、社会教 育関係者、各種団体関係 者、企業関係者、市職員	R(同和問題を はじめとするあ らゆる人権課題 を8分科会19 分科会及び特 別講演にわか れて研究協議 する)	特別講演:水戸社博物館 学芸員 駒井 忠之	未実施/1100	特別講演:事後ア ンケート 分科会:事後反省 会の開催	・研究大会に求められなかった方のために、毎年、各分科会における報告及び討議内 容をまとめた実践報告集を作成し、関係者に配付している。
尼崎市	じんけんを考える市民のつどい	1	①	8	9	木	13:30~15:30	都ホテル アルカイクホール・オクト	目的:一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現に向け、人権問題につ いて広く全市民的に講演会等を実施することによって、市民の人権意識の高 揚を図る 内容:K:第1部-原爆被爆者語り部「十一歳の夏」 S:第2部-人権コンサート	市民	R(人権全般)	第1部:尼崎市原爆被害者の会 事務局長 山家 好子 第2部:ミュージシャン BORO	500/226	事後アンケート	・これまでは人権週間に併せて実施していたが、当該期間に同種の事業が集中して いることから、8月の実施とし、平和の観点も取り入れた内容とした。 ・昨年度は土曜日の開催としたが、参加者増には結びつかなかったため、平日開催 とし、職員研修の位置づけを付与した。 ・市報及びFMラジオを通じて全市民的に告知を行った。
明石市	人権大学講座	5	① ② ③ ④ ⑤	6 6 7 7 7	1 8 5 12 19	水 水 水 水 水	①~⑤ 14:00~16:00	①~⑤明石市生涯学習センター	目的:市民に対して多様な人権課題について学習する機会を提供し、人権意識 の醸成を図る 内容: ①K:「異文化理解の大切さ」 ②K:「同和問題の現状とこれから~人権感覚を育てる~」 ③K:「あーよかったなあなたがいて~心の銀行にいっぱいの貯金を~」 ④K:「震災から学ぶ~支え合うまちづくり・つながりづくりに向けて~」 ⑤K:「発達障がい理解と支援」	①~⑤市民	①R(多文化共 生) ②E ③R(人権一般) ④Q ⑤D	①兵庫県人権教育研究協議会 後藤 みなみ ②元明石工業高等専門学校 教員 橋本 博久 ③教育サポーター 仲島 正教 ④関西学院大学総合政策学部 教授 室崎 益輝 ⑤兵庫教育大学大学院 准教授 井澤 信三	① 90/100 ② 97/100 ③ 87/100 ④ 65/100 ⑤ 87/100	①~⑤ 事後アンケート	・各回とも一時保育を実施した。
	人権フェスティバル	1	①	8	24	金	10:00~12:00	明石市民会館大ホール	目的:人権感覚あふれる共生社会の実現をめざした市民運動強調月間の行事 として開催 内容:K:「いま、人権から...ひとりひとりが主役の社会を」	市民	R(人権一般)	作家、東京家政大学 特任教授 落合 恵子	1000/1200	事後アンケート	・一時保育を実施した。 ・手話通訳を実施した。 ・要約筆記を実施した。
西宮市	人権問題学習会	10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	10 10 10 10 11 11 11 11 10 11	17 26 30 31 2 13 24 7 25 8	水 金 火 水 水 火 火 水 木 木	10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~12:00 10:00~12:00 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30 10:00~11:30	①大社公民館 ②今津公民館 ③南甲子園公民館 ④高木公民館 ⑤段上公民館 ⑥用海公民館 ⑦塩瀬公民館 ⑧越木岩公民館 ⑨鳴尾東公民館 ⑩中央公民館	①~⑩市民	①②O ③④B, D ⑤R ⑥B, D ⑦D ⑧D ⑨⑩B	①②ジェンダー&セクシュアリティライター 佐倉 智美 ③④CAPIにのみや ⑤⑥落語家 笑福亭 仁勇 ⑦NPO法人発達障害を考える会・TRYアング ル 理事長 宇和川 美保 ⑧NPO法人発達障害をもつ大人の会 代表 広野 ゆい ⑨⑩いずみハートクリニック 院長 泉 和秀				
洲本市	人権講座	4	① ② ③ ④	8 10 11	30 16 22	木 木 木	①~④ 15:30~	①~④人権文化センター	内容: ①ユニバーサル社会の実現を目指して ②K:高齢者問題を考える ③子どもの人権を考える ④	①~④市民	①D ②C ③B ④	①竹中 ナミ ②兵庫県人権啓発協会 研修講師 吉田 忠義 ③後藤 みなみ ④	① 60/80 ② 35/50 ③ 46/50 ④	①~④ 事後アンケート	・研修内容を市のケーブルテレビやホームページ、広報紙で宣伝した。
芦屋市	人権啓発講演会(予定)	3	① ② ③	12 12 12	1 8 15	土 土 土	13:30~15:00 13:30~16:30 13:30~15:00	①~③芦屋市立上宮川文化センター	目的:ハンセン病をとおして、人権意識の高揚を図る 内容: ①K:「私にとつてのハンセン病問題」~取材を通して思ったこと~ ②V:映画上映:「もういいかい」ハンセン病と三つの法律 ③K:「もういいかい?まあだだよ!」	①~③市民	①~③H	①朝日新聞大阪本社 社会部記者 高木 智子 ②映画上映 ③ハンセン病回復者 森 敏治 社団法人好善社 理事 川崎 正明	① 未実施/40 ② 未実施/100 ③ 未実施/40	①~③ 事後アンケート	・映画製作者に執筆を依頼し、ハンセン病について、映画会と広報紙、また、パネル 展示を行い連携した啓発をおこなう。
	人権啓発展示会(予定)	1	①	12	15	土	9:00~ 21:30	芦屋市立上宮川文化センター	目的:ハンセン病問題をとおして、人権意識の高揚を図る 内容:S:写真パネル展	市民	H	協力:上映映画製作者 鶴久森 典妙 撮影パネル	未実施	事後アンケート	・映画製作者に執筆を依頼し、ハンセン病について、映画会と広報紙、また、パネル 展示を行い連携した啓発をおこなう。
伊丹市	人権啓発講座 「ハートフルコンサート」	1	①	7	3	火	14:00~16:00	伊丹アイフォニックホール	目的:感性に訴えることを通し、人権の尊さをともに考える 内容:S:トーク&コンサート「18歳の生存者」 ~JR福知山線脱線事故から得たこと~	市民	D	伊丹市職員 山下 亮輔	339 実人数	事後アンケート	・全市民を対象としているため、幅広い年齢層の市民の心に響くように講師選定を 行った。 ・伊丹市出身の講師を選定することにより人権について身近なものとするための きっかけとした。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
伊丹市	人権文化市民講演会・パネル展	2	① ②	5 5	19 15	土 火	13:30~15:30 9:00~17:00	①② 伊丹市立人権啓発センター『ふらつと』	目的:様々な人権課題への取り組みから、広く市民に人権文化を推進することを目的とする 内容: ①K:『「始まりの始まり」～絶望と希望の狭間で～』 ②S(パネル展):『仙台市民が撮った震災記録写真パネル展』	①②市民	①②Q	①市民科学者、元慶応大学理学部 助教 藤田 祐幸	① 56/80 ② 325/480	①② 事後アンケート	・東日本大震災、そして大津波と原発事故から1年と2ヶ月が経った。現地の人たちの苦悩は今も変わっていないにもかかわらず、関心が薄れてきており、福島の人々に少しでも思いを寄せていただきたいと企画した。 ①科学者の立場から原発の危険性を語っていただき、説得力があった。 ②生活の様子や津波被害の場面など、市民の目線で撮影された写真を展示。今もなお厳しい被災地の現実が伝わる内容であった。
相生市	推進委員研修会	9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	4 5 6 7 8 9	20 9 6 4 8 14	金 水 水 水 水 金	18:00~19:30 18:00~19:30 18:00~19:30 18:00~19:30 18:00~19:30 9:00~12:30 18:00~19:30 18:00~19:30 18:00~19:30	①~⑨ 相生市総合福祉会館	目的:地域の人権にかかわるさまざまな課題について、参加体験型の学習等をおして、人権意識を高め、活動に生かすことができる実践力を養う 内容: ①委嘱状交付式、啓発資料SEIの活用について ②V:啓発ビデオ「探梅」による研修 ③V:啓発ビデオ「いわたくんちのおばあちゃん」「人権のヒント」による研修 ④啓発資料SEI、ひとみ8月号による研修 ⑤K:人権の集い開催支援及び講演会受講 ⑥S:フィールドワーク「たつの皮革加工工場の見学」及び隣保館研修 ⑦未定 ⑧未定 ⑨未定	①~⑨ 人権教育推進委員(24名)	①~⑨ B、C、E、K、Q、R		125/144		・フィールドワーク(施設見学)を取り入れる。
豊岡市	市民ふれあいの集い	2	① ②	8 12	19 15	日 土	14:00~16:15 14:00~15:30	①② 豊岡市市民会館	目的:人権文化を進める県民運動強調月間である8月と、人権週間のある12月に全市民的な事業を行い、人権意識を高める 内容: ①S(名画鑑賞):『うまれる』 ②K:『共生社会の実現に向けて ～心に響く命の音～』	①②市民と学校関係者	①C ②E	①映画 ②猿まわし師 村崎 太郎	① 327/400 ② 未実施/500	①② 事後アンケート	・市内全戸配布の人権啓発誌に一面広告し、行政無線やホームページで周知し、区役員や社会教育・学校教育関係者には案内状を送付するなど広報を行う。
加古川市	人権啓発セミナー	4	① ② ③ ④	9 11 12 1	8 10 7 11	土 土 金 金	14:00~16:00 14:00~16:00 13:30~15:00 14:00~16:30	①②加古川市立勤労会館 ③播磨社会復帰センター ④神戸地方裁判所	目的:現在社会における「法と人権」のありかたについて視野を広げ、人権教育推進リーダーとしての資質向上を目指す 内容: ①K ②K ③S(フィールドワーク) ④S(フィールドワーク)	①~④市民	①J ②I ③I ④R(裁判員制度について)	①NPO法人おかやま犯罪被害者サポートファミリーズ 市原 千代子 ②神戸保護観察所企画調整課 課長 野村 福二 ③播磨社会復帰促進センター 所長 只川 晃一 ④神戸地方裁判所 職員及び弁護士・検事	① 45/60 ② 未実施/60 ③ 未実施/40 ④ 未実施/40	①~④ 事後アンケート	・広報等を通じて広く市民に募集した。 ・実地学習(施設見学)を取り入れる。
たつの市	人権を考える市民の集い	3	① ② ③	12 1 2	8 19 9	土 土 土	10:00~12:10 13:30~16:00 13:30~16:30	①新宮公民館 ②御津文化センター ③播保川アークホール	目的:お互いの人権を尊重し合い、共に生きる社会の創造をめざして 内容: ①K:『人間とは?』 ②K:『天に一番近い大地子ベットからのお話一字の読めない親への思い』 ③K:『今、人権を考える』	①~③市民	①E ②G ③R(多文化共生)	①西願寺 住職 佐々木 大観 ②声楽家 ハイマーヤンジン ③落語家 笑福亭 鶴笑	① 未実施/280 ② 未実施/400 ③ 未実施/450	①~③ 事後アンケート	・託児ボランティアを依頼し、若い世代の参加を促す。
赤穂市	赤穂市人権を考えるつどい 記念講演会	1	①	12	1	土	14:30~16:00	赤穂市文化会館 小ホール	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かな赤穂市をめざす 内容:K:演題『今を生きる』 障害のある人への偏見や差別をなくす	市民	R	医学博士 藤井 輝明	未実施/450口	事後アンケートを予定している	
西脇市	人権教育指導者講座	2	① ②	6 9	26 8	火 土	①② 19:30~21:00	①② 西脇市生涯学習まちづくりセンター	目的:人権意識の高揚を図るとともに、人権教育リーダーの養成を行う研修会 内容: ①K:主体的な人づくりをめざして ②K:メール相談から考えるデートDV	①② 人権教育推進員・委員・市民	①R(人権全般) ②R(虐待)	①兵庫県人権啓発協会 研修講師 吉田 忠義 ②ウイメンズクリニック上村医院	① 135/110 ② 124/110	①② 事後アンケート	・テーマについては、できるだけ市民の方のニーズを聞き、それにそった研修会を開催した。
宝塚市	憲法週間記念事業	1	①	5	30	水	13:30~15:00	市立東公民館ホール	目的:社会的養護について、理解を深めるとともに、人権意識を高める 内容:K:講演『子どもたちの育ちをつなぐ～社会的養護を考える～』	市民	B	(特)社会的養護の当事者参加推進団体 日向ほっこ 理事長 渡井 さゆり	155/150	事後アンケート	
宝塚市	人権週間・人権尊重都市宣言記念事業 「人権を考える市民のつどい」	1	①	12	6	木	13:30~15:45	ソリオホール	目的:障害者問題・人権問題に関する市民への啓発を行い、差別を解消していく意欲を高める 内容:K:講演『ダンスで心のバリアフリーを!』	市民	D	プロ車いすダンサー 奈佐 誠司	未実施/300	事後アンケート	
三木市	三同教総会	1	①	5	19	土	14:00~15:00	三木市立市民活動センター	内容:『人の世に熱と光を』水平社宣言90年にあたって	市民全体	E	西光寺 副住職 清原 陸宣	323 実人数	事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかけた。
三木市	市民じんけんの集い	1	①	8	19	日	13:30~15:00	三木市文化会館	内容:『永久の生命に-いぬいふくし村から-』	市民全体	D	NPO法人いぬいふくし村 副理事長 山中 信彦	568 実人数	事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかけた。
三木市	隣保会文化祭記念講演(予定)	1	①	12	9	日	10:00~11:30	三木市立総合隣保館	内容:K:『差別と戦争をなくすために～おしばいとおはなし～ 副題『ふるえるような怒りの奥底にすぎような生命の願いがあった。』	市民全体	E	劇団俳優座 有馬 理恵		事後アンケート	・全市職員に対して積極的な参加を呼びかける。
高砂市	人権教育研究大会	1	①	8	8	水	10:00~15:30	高砂市文化会館じょうとんばホール 高砂市福祉保健センター 高砂市中央公民館兼伊保公民館 兵庫県立高砂高等学校	目的:身近な人権課題の解決に、意欲的に取り組む体制を確立する 内容:V:『桃香の自由帳』 G:分科会 「多文化共生社会を生きる」～住みやすいまちづくりをめざして～	市民と学校関係者	R	行政分科会講師、 兵庫県人権教育研究協議会 後藤 みなみ	345 実人数		・全体会での講演会を、今年度は「桃香の自由帳」のDVDの視聴に変え好評を得た。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜日	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
高砂市	人権フェスティバル	1	①	12	4	火		13:30~16:00	高砂市文化会館じょうとんぼホール	目的:市民の、人権に関する課題に直面することの意識を促し、人権を考える機会を設ける	市民と学校関係者	R	元読売テレビアナウンサー、接客コミュニケーションアドバイザー 羽川 英樹	未実施/900		・今年度から、新たに加えて交通警備員を配置し、出入り口付近の車の混雑の緩和と解消に努めたい。
	人権教育連携部会研修会	1	①	8	24	金		15:00~16:30	高砂市役所南庁舎	目的:保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の人権教育担当者を対象に、それぞれの現場において、人権教育の「育成」に役立てる 内容:K:「太鼓と命育」	保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の人権教育担当者	R	太鼓屋六衛門 杉本 大士	20 実人数		
川西市	人権学習市民講座	3	① ② ③	6 6 6	6 13 20	水 水 水		①~③ 13:00~15:30	①~③川西市総合センター	目的:市民の人権意識と人権感覚を磨き、心豊かな川西市をめざす 内容: ①K:「一人の女の子との出会いから生まれた『おかえり』」 ②K:「人権『楽』集会」 ③K:「幸せってなんだっけ?」	①~③市民	①B ②R(全般) ③R(虐待)	①NPO法人「おかえり」理事長 栢田 ふみ ②mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 ③樹イメージ 代表取締役 島田 妙子	① 42/100 ② 52/100 ③ 72/100	①~③ 事後アンケート	
	人権学校	4	① ② ③ ④	10 11 11 11	26 2 9 16	金 金 金 金		①~④ 13:30~15:30	①~③川西市総合センター ④市役所	目的:市民の人権意識と人権感覚を磨き、人権啓発のリーダーを養成する 内容: ①K:「無実の人がなぜソウの自由に落ちるのか」 ②K:「部落差別と冤罪」 ③K:「知的障がい・発達障がいと冤罪」 ④K:「歴史と冤罪」	①~④市民	①~④R	①~④川西市子どもの人権オンズバーン 浜田 寿美男	① 未実施/40 ② 未実施/40 ③ 未実施/40 ④ 未実施/40	①~④ 事後アンケート	
小野市	かわいヒューマンライフ推進委員会 人権アップ講座	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	4 5 5 5 6 7	17 10 17 24 23 21	火 木 木 水 土 土		19:30~21:00 19:00~21:00 19:30~21:00 19:30~21:00 14:00~16:00 8:30~17:00	①コミセンかわい ②伝統産業会館 ③④コミセンかわい ⑤エクラ ⑥神戸市内	目的:人権課題の現状と対策について学び、人権学習リーダーを養成する 内容: ①V:「桃香の自由帳」 ②K:「市内各地の取組」「いじめ等防止条例」 ③V、G:「風と大地と梨の木と」 ④V、G:「ここに咲く花」 ⑤K:「子どもたちが安心して暮らせる社会」 ⑥S:兵庫の歴史探訪 神戸市の施設見学	①~⑥市民	①B、R(地域) ②R(地域と人権) ③A、C、E ④R(いじめ) ⑤A、B ⑥R(地域)	②小野市ヒューマンライフグループ職員 ⑤エンパワメント・センター 主幸 森田 ゆり	① 74 ② 42 ③ 64 ④ 61 ⑤ 40 ⑥ 36	実人数 ①~⑥ 事後に理事会等 で反省・評価	・小野市男女共同参画センター主催の講演会を第5回講座に充てたことで、森田ゆりさんの講演が聞け、好評であった。
	きすみのヒューマンライフ推進協議会 ふれあい講座	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	4 5 5 6 6 11	27 10 1 15 29 17	金 木 金 金 金 土		19:30~21:00 19:00~21:00 19:30~21:00 19:30~21:30 19:30~21:00 8:30~17:00	①コミセンきすみの ②伝統産業会館 ③~⑤コミセンきすみの ⑥兵庫県広域防災センター	目的:人権課題の現状と対策について学び、人権学習リーダーを養成する 内容: ①V:「新しい風」 ②K:「市内各地の取組」「いじめ等防止条例」 ③K、W、G:「楽しい町別懇談会のすずめかた」 ④V、W、G:「桃香の自由帳」 ⑤K:「地域に貢献できる自分の姿」~保護司としての思い~ ⑥S:兵庫県広域防災センター見学	①~⑥市民	①A ②R(地域と人権) ③R(地域) ④B、R(いじめ、地域) ⑤ ⑥R(いのち、地域)	②小野市ヒューマンライフグループ職員 ③兵庫県人権啓発協会 研修講師 永松 國光 ⑥保護司 浅田 光好	① 78 ② 27 ③ 61 ④ 64 ⑤ 61 ⑥ 未実施	実人数 ①~⑥ 事後に理事会・助 言者会等で反省・ 評価	・本年度から、より人権を身近なものとするため、「じんけん」と平仮名で表記している。 ・じんけん学習の進め方について、永松さんから講演していただいたことで、住民リーダーが具体的に進め方を学ぶことができた。
	大部地区ヒューマンライフ協議会 人権さわやかフォーラム	6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	4 5 5 6 6 7	25 10 23 6 27 8	水 木 水 水 水 日		19:30~21:00 19:00~21:00 19:30~21:00 19:30~21:00 19:30~21:00 8:30~17:00	①コミセンおおべ ②伝統産業会館 ③~⑤コミセンおおべ ⑥北淡震災記念公園	目的:人権課題の現状と対策について学び、人権学習リーダーを養成する 内容: ①V:「親愛なる あなたへ」 ②K:「市内各地の取組」「いじめ等防止条例」 ③V、W、G:「桃香の自由帳」 ④K、W:「アンケート結果」「いじめ等防止条例」 ⑤K:「今すぐ生き方を聞くヒント」 ⑥S:北淡震災記念公園見学	①~⑥市民	①K ②R(地域と人権) ③B、R(地域) ④B、R(いのち、地域) ⑤A、B ⑥R(いのち、地域)	②小野市ヒューマンライフグループ職員 ③NPO法人はちどり人権塾 代表 大原 笑子	① 48 ② 32 ③ 39 ④ 39 ⑤ 36 ⑥ 21	実人数 ①~⑥ 事後に理事会等 で反省・評価	・人権啓発員(事務局職員)が参加型学習の手法を使い、グループワークを行った。 そのことにより、話し合いが大変活発になった。
三田市	人権を学ぶ啓発講座 インターネットと部落差別	1	①	5	19	土		15:00~16:30	総合福祉保健センター	内容:インターネットがなぜ「部落問題」に関係するのか	市民	E、K	(財)反差別・人権研究所みえ 調査研究員 松村 元樹	160	実人数	
	人権を学ぶ啓発講座 連続講座人権入門	4	① ② ③ ④	6 6 6 6	8 15 22 29	金 金 金 金		①~④ 19:00~20:30	①~④総合福祉保健センター	内容: ①子どもの人権感覚~これからの人権教育を考える~ ②因習・迷信うらばなし ③部落問題入門 自らの体験から ④子どもたちにラブレターを書こう	①~④市民	③E	①篠山市立畑小学校 塚本 一男 ②篠山市宗玄寺 住職 酒井 勝彦 ③大阪府人権協会 村井 茂 ④親和女子大学 新保 真紀子	① 18 ② 29 ③ 25 ④ 23	実人数	
	人権を学ぶ啓発講座 気持ちの良いコミュニケーション のとり方	1	①	9	11	火		10:00~12:00	総合福祉保健センター	内容:いつでも、どこでも役立つコミュニケーションのとり方について学ぶ	市民		NPO法人女性と子どもエンパワメント関西 井山 里美	30	実人数	
加西市	地区人権学習会	5	① ② ③ ④ ⑤	10 10 10 10 11	19 24 26 30 2	金 水 金 火 金		①~⑤ 19:30~20:35	①富田会館 ②富合小学校 ③西在田小学校 ④殿原町公民館 ⑤善防公民館	目的:「人権の21世紀」実現に向けて、人権尊重の理念に関する理解を深め、人権尊重が社会の文化として定着し、市民がお互いを認め合いながら、「いつまでも住み続けたいまち」の実現をめざす 内容:①~⑤K	①~⑤市民と学校関係者	①~⑤ C、G、 R(多文化共生)	①~⑤兵庫県人権教育研究協議会 後藤 みなみ(王 淑麗)	① 100/90 ② 未実施/90 ③ 未実施/90 ④ 未実施/100 ⑤ 未実施/100	①~⑤ 事後アンケート	・できるだけ多くの市民に集ってもらえるように、各自治会長を通じて個別に案内チラシを配布してもらった。
	フィルムフォーラム	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	12 12 12 12 12 12 12	6 7 6 7 7 4 6	木 金 木 金 金 火 木		10:00~11:00 10:00~11:00 10:00~11:00 10:00~11:00 13:30~14:30 10:00~11:00 10:00~11:00	①②中央公民館 ③④善防公民館 ⑤南部公民館 ⑥⑦北部公民館	目的:ビデオ視聴と講話を通して、人権尊重の理念を深め、人権意識と感覚の高揚をめざす 内容:①~⑦V、K	①~⑦ 公民館活動受講生 及び各グループ参加者	①~⑦A、B	①~⑦ 加西市人権推進課所属の各公民館指導員	① 未実施/30 ② 未実施/30 ③ 未実施/30 ④ 未実施/30 ⑤ 未実施/30 ⑥ 未実施/30 ⑦ 未実施/30	①~⑦ 参加者の意見	・公民館活動受講生及びグループの代表に直接参加を呼びかけ、一人でも多くの人に参加してもらったようにした。
篠山市	人権のまちづくり研修会	5	① ② ③ ④ ⑤	9 9 9 10 10	21 24 28 2 3	金 月 金 火 水		①~⑤ 19:30~21:00	①西紀老人福祉センター ②丹南健康福祉センター ③今田まちづくりセンター ④ハートピアセンター ⑤篠山市民センター	目的:年間2回の住民学習会の推進 内容: ①K、G:住民学習のあり方、必要性 ②K、G:人権のまちづくり推進員(自治会内住民学習担当者)どうしの意見交換会(グループ討議)	①~⑤市民	①~⑤ R(地域と人権)	①~⑤篠山市人権教育指導員 今井 進	① 16/29 ② 22/65 ③ 12/24 ④ 39/86 ⑤ 33/78	①~⑤ 事後アンケート	・年2回の住民学習会の推進を図るため、各種団体の出前講座を紹介した。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択・複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
篠山市	男女共同参画研修会: 「男女共同参画の生誕と今」	2	① ②	7 10	8 28	日 日		13:30~15:00	①篠山市民センター ②城東公民館	目的:人権意識と人権感覚を磨き、各自治会で推進・啓発活動に従事してもらうために行う 内容: ①K:「なぜ男女共同参画社会をめざすのか」 ②K:「これからの幸せな家庭のあり方」	①② 自治会選任の男女共同参画推進員と一般住民	①② R(男女の人権)	①②神戸親和女子大学 教授 勝木 洋子	① 89/240 ② 未実施/240	①② 事後アンケート	・自治会における推進員の活動方法を提供するため、新たに基礎知識から習得することにした。
	男女共同参画セミナー 「出張!ママの働き方相談会」	1	①	11	2	金		13:30~15:00	篠山市民センター	目的:結婚等により離職した女性の就職へのチャレンジ支援 内容:K:「在宅ワークという働き方の相談会」	女性	A	中小企業診断士 斎藤 悠実	未実施/8	事後アンケート (予定)	・集客のため、妊婦健診などの女性が集まる場所でチラシを配布する。
	男女共同参画セミナー 「これからが面白い!第二の人生の楽しみ方」	1	①	11	8	木		19:00~21:00	篠山市民センター	目的:定年退職後第二の人生を有意義に過ごすため 内容:K:「家庭での居場所づくりや地域デビュー、健康づくり、楽しみの見つけ方など人生に役立つ情報や楽しみ方」	定年前の方・既に定年退職された方・興味のある方	R(男)	吉田 清彦	未実施/40	事後アンケート (予定)	・男性対象で集客率を考え、定年退職後の男性をターゲットにした。
	おやし元気プログラム 「家族みんなでマジック教室」	1	①	9	15	土		13:30~15:00	篠山市民センター	目的:子どもとのコミュニケーション能力を高めるとともにマジックで地域活動参加するきっかけを作る 内容:K:「紙コップ・着・トランプを使った手品」	一般市民(子どもとその家族)	R(子どもとその家族)	和田 憲明	34/34	事後アンケート	・各小学校を通じて児童にチラシを配布した。
養父市	人権学びステーション	4	① ② ③ ④	7 8 9	3 21 11	火 土 火		19:30~21:30 13:30~15:30 19:30~21:30	①養父公民館 ②八鹿文化会館 ③養父公民館	内容: ①K:不登校支援について ②K:オラの愛する元気な日本 ③K:戦争体験 ④W:身近な人権	①~④市民	①B ②C、Q ③R(戦争体験) ④R(個人の差)	①児童養護施設 施設長 太田 浩之 ②タレント ダニエル・カール ③元海軍飛行隊員 中尾 宗一 ④兵庫県人権啓発協会 藤川 明人	① 17/30 ② 400/700 ③ 20/30 ④ 18/30 ⑤ 17/30	①~④ 事後アンケート	・「人権文化をすすめる市民運動」という目的から、特に市職員の参加が必要であると考え、ダニエル・カール講演会を職員研修の1つに指定した。
丹波市	人権文化をすすめる市民運動推進大会	1	①	6	7	木		19:30~21:00	春日文化ホール	目的:市民が日常生活の中でお互いの人権を尊重することを自然に感じ、考え、行動できることを目標として行っている「人権文化をすすめる市民運動」の定着 内容:K:「いのちを繋ぐ言葉の力 東日本大震災を乗り越えて」	市民 自治会長・人権学習支援者・男女共同参画推進員・消防団員・その他	Q	作家、DJ 大沼 えり子	350	実人数 事後アンケート	・関心が高い内容(テーマ:いのちを繋ぐ言葉の力 東日本大震災を乗り越えて)で講演会を開催した。
	人権コンサート	1	①	8	2	木		19:30~21:00	春日文化ホール	目的:人権文化強調月間にあわせて、市民の人権に対する関心を高める 内容:K、S(歌・ピアノ):こだますところ ~金子みすゞのまなざし~	市民 自治会長・人権学習支援者・男女共同参画推進員・消防団員・その他	K、R(いのちの大切さ等)	歌手、作曲家 ちひろ	200	実人数 事後アンケート	・音楽を取り入れることにより、気軽に参加いただける内容として多くの参加を得た。
	人権公開講座	3	① ② ③	10 11 3	19 26 未定	金 月 未定		19:00~20:30 19:00~20:30	①②柏原住民センター ③未定	目的:人権課題の解消に向けた研修会を開催し、人権思想の高揚を図る 内容: ①K:在日コリアンの歴史と現在 ②K:在日コリアンと食文化 ③K:市民意識調査の分析経過について	①~③一般市民	①②G ③E	①②大阪人権博物館 学芸員 文 公輝 ③大阪市立大学 教授 阿久沢 麻里子	① 30 ② 未実施 ③ 未実施	実人数 ①~③ 事後アンケート	・大阪人権博物館(リハビリ大阪)学芸員を講師に招き、出張講座として、在日コリアンの歴史と現在について学ぶ機会として実施。
南あわじ市	地区別人権学習	11	① ~ ⑪						地域の希望 ①~⑪地区公民館	テーマである「豊かな人権文化を育てよう」とする意識の醸成	①~⑪市民	①~⑪ R(豊かな人権文化を育てよう)	①南あわじ市人権教育指導員 ②人権教育課 ③特別職非常勤職員	①~⑪ 700/1000	①~⑪ なし	・公民館祭りなど、より多くの学習者が得られる手法を検討している。 ・地域事情に沿った学習方法を優先している。
朝来市	地区巡回学習会	12	① ~ ⑫	7 7 11	17 24 29	火 ~ 木		19:30~21:00 19:30~21:00 19:00~21:00	①~⑪各地区公民館 ⑫あさご・ささゆりホール	内容:①~⑫K、V:同和問題をはじめ、あらゆる人権問題に対する正しい知識の輪を広げ、差別事象に出会ったときにしっかり向き合うことのできるよう学習していただく	①~⑫市民	①~⑫C、E	①~⑫朝来人権教育推進協議会理事40名 ⑫関西大学社会学部 教授 石元 清英	①~⑫ 233 ⑫ 未実施/220	①~⑫ 事後アンケート	・前年度のアンケートを基に、より参加しやすくなるよう映画の時間を短くし学習会自体の時間を短縮した。 ・また、24~25年度、試験的に数地区を一括した会場で行うこととした。
淡路市	じんけん市民講座2012 「人権問題探究コース」	5	① ② ③ ④ ⑤	9 10 11	8 13 10 15 19	土 土 土 土 土		①~⑤ 14:00~16:00	①~⑤東浦事務所	目的:人権意識と人権感覚を磨き、誰もが尊重される共生のまちづくりをめざす 内容: ①K、G:ひとり親家庭の現状と課題 ②K、G:ひきこもり支援 ③K、G:DVの現状と課題 ④K、G:セクシャルマイノリティの問題 ⑤K、G:犯罪被害者の人権問題	①~⑤市民	①A、B ②B、D、M ③A、B、C、J ④N、O ⑤I、J	①神戸学院大学 教授 神原 文子 ②NPO法人神戸オレンジの会 藤本 圭光 ③NPO法人フェミニストカウンセリング神戸 福島 由美子 ④G-FRONT関西 小手川 裕 酒匂 俊彰 ⑤精神科医 高橋 幸夫	① 9/30 ② 9/30 ③ 未実施/30 ④ 未実施/30 ⑤ 未実施/30	①~⑤ 事後アンケート	・身近にある人権問題を中心に、連続講座を行い、現状と課題を再確認し、支援の方法など今後のあり方を考えていく。 ・意外と知らなかった現状を認識し、支援者活動などを理解し、差別や偏見をなくしていく。
	じんけん市民講座2012 「多文化体験コース」	4	① ② ③ ④	7 8 10 10	22 4 6 20	日 土 土 土		10:00~16:30 13:30~15:30 14:00~16:00 14:00~16:00	①プレパーク淡路島・冒険の森 ②北淡震災記念公園 ③④淡路市子育て支援センター	目的:人権意識と人権感覚を磨き、誰もが尊重される共生のまちづくりをめざす 内容: ①W:カホンワークショップ&石窯ピザづくり ②W:ジャンベワークショップ&公開ミニライブ ③④W:創作エイサー体験教室	①~④市民	①G、R(環境) ②G ③④R(琉球)	① ②	① 20/20組 ② 24/30人 ③ 19/20人 ④ 15/20人	①~④ 事後アンケート	・アフリカの音楽に触れることにより、いろいろな民族の文化、風習について、学べた。また、間伐材によるカホンづくりなど環境問題に対する取り組みなども学べた。沖縄の伝統芸能であるエイサーに触れ、琉球の歴史、風習などを学べた。 ・親子で参加できる講座内容にすることにより、より多くの方に参加していただいた。
宍粟市	宍粟市人権の夕べ	1	①	8	3	金		19:00~21:00	山崎文化会館	目的:市民の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深め、差別のない明るい宍粟市をめざす 内容:K:「絆が人を生かすから」	市民	M、 R(絆について)	NPO法人北九州ホームレス支援機構 理事長 奥田 知志	450/450	事後アンケート	・昨年度に引き続き、司会者を高校生に依頼した。 ・手話通訳、要約筆記、臨時託児所を設け、より多くの人が参加できるようにした。
	元気をもらおう講座	3	① ② ③	9 10 11	7 5 17	金 金 土		19:00~21:00 19:00~21:00 10:00~12:00	①②宍粟防災センター ③山崎文化会館	目的:地域における人権意識の向上 内容: ①K:「人権学習会の子どもたちから学んだこと」 ②K:「人権へのアプローチ~知らない「他者」を知ろうとする~」 ③V:映画「おまえ うまそうだな」	①②市民・生推協委員 ③連合PTA・市民・生推協	①②E ③B、R(子育て、家族)	①人権エンタメ集団「友輝」 阿部 千明 ②穀雨企画室 代表 渡辺 毅 ③映画	① 154/150 ② 145/150 ③ 未実施/150	①~③ 事後アンケート	

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	曜日	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
宍粟市	一宮生涯学習推進協議会 リーダー研修会	2	① ②	7 9	6 19	金 水	①② 19:30~21:00	①②センターいちのみや	目的:自治会人権学習のリーダー育成 内容: ①K、V:「分かりやすい住民学習」、人権啓発ビデオ「桃香の自由帳」 ②K、W:「参加型人権学習のすすめ」、クイズ形式のワークショップ	生推協関係者・自治会学習委員	①R(共生社会と人権) ②R(他者を知ろうとすること)	①兵庫県人権啓発協会 研修講師 吉田 忠義 ②穀雨企画室 代表 渡辺 毅	① 78/100 ② 81/95		①自治会人権学習のためのリーダー育成という目的から、人権啓発ビデオをとり入れた。 ②自治会での人権学習会の具体的な進め方の研修として、クイズなどを取り入れたワークショップ形式とした。
加東市	市民人権講座	3	① ② ③	6 7 10	23 7 27	土 土 土	19:30~21:00 13:30~15:30 19:30~21:00	①~③東条文化会館	内容: ①K:「ふれあいコンサート」 ②K:「学びでつながる集団づくり」 ③K:「人の世に熱あれ」-部落差別の完全解消に向けて-	①各地区推薦受講者 ②③各地区推薦受講者、市民	①D ②B、E ③E	①音楽グループ 「リラックス」 ②大阪教育大学 教職教育研究センター 研究協力員 土田 光子 ③西光寺 副住職 清原 隆直	① 247/250 ② 224/250 ③ 232/250	①~③ 事後アンケート	・全出席者へ修了証を交付し、地域での人権研修のリーダーを育成する。 ・人権問題を知識・理解にとどまらず、五感から学ぶ内容とする。 ・同和問題を中心に掘えなおした。
	子どもの人権と健全育成を考える 講演会	1	①	7	7	土	13:30~15:30	東条文化会館	内容:K:「学びでつながる集団づくり」	市民	B、E	大阪教育大学 教職教育研究センター 研究協力員 土田 光子	450/350	事後アンケート	・同和問題を中心にした。
	人権と福祉のまちづくりフェスティバル	1	①	12	8	土	14:00~15:30	滝野文化会館	内容:K:「ダンスで心のバリアフリーを」~プロによる車いすダンスと講演~	市民	D	プロ車いすダンサー、タレント 奈佐 誠司	未実施/300	事後アンケート	・人権問題を知識・理解にとどまらず、五感から学ぶ内容とする。
猪名川町	人権教育セミナー(前期)	3	① ② ③	6 6 7	6 21 4	水 木 水	①~③ 19:00~20:30	①~③猪名川町中央公民館	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かなまちづくりをめざす 内容: ①K、G:「人権のまちづくりをみんなで考えよう」 ②K:「人権問題の課題と現状」 ③K:「高齢者の人権」	①~③ 町民、行政職員、教育職員	①R(猪名川町人権推進基本計画の概要について) ②E ③C	①神戸学院大学 教授 神原 文子 ②伊丹市人権教育指導員 金山 督 ③本田 英子	① 87/80 ② 73/80 ③ 75/80	①~③ 事後アンケート	・次回の研修日時や内容等に関するチラシを配布。 ・チラシを各学校園所へ配布、公共施設の窓口に設置し周知を図る。 ・町ホームページに掲載し、周知を図る。
	人権教育セミナー(後期)	3	④ ⑤ ⑥	10 10 10	4 18 31	木 木 水	④~⑥ 19:00~20:30	④~⑥猪名川町中央公民館	目的:人権意識と人権感覚を磨き、心豊かなまちづくりをめざす 内容: ④K:「高齢者の消費者被害と成年後見」 ⑤K:「元在日外国人からみた日本」~多文化共生社会をめざして~ ⑥K:「犯罪被害者の苦悩 ~新たな再生~」	④~⑥ 町民、行政職員、教育職員	④B ⑤G ⑥J	④神戸さきかけ法律事務所 弁護士 上田 孝治 ⑤兵庫県人権教育研究協議会 人権講師 後藤 みなみ ⑥精神対話士 本郷 由美子	④ 50/80 ⑤ 54/80 ⑥ 74/80	④~⑥ 事後アンケート	・次回の研修日時や内容等に関するチラシを配布。 ・チラシを各学校園所へ配布、公共施設の窓口に設置し周知を図る。 ・町ホームページに掲載し、周知を図る。
多可町	人権文化をすすめる「多可町民の集い」	1	①	8	22	水	19:30~21:00	多可町文化会館	目的:いのちと人権を大切にし、心ふれあう町をめざす 内容:K、S:命を考える講演会&ミニコンサート「永久の生命に」	全町民	R(人権全般)	いのちのうた 代表 山中 信彦 シンガーソングライター 石田裕之	400/500	なし	
稲美町	稲美町人権大会	1	①	8	26	日	9:40~11:50	コスモホール	内容:K、S:優秀作品表彰(作文・標語・ポスター・習字) 人権作文朗読 講演	住民	R(うつ病)	内科医、作家 おおたわ 史絵	777 実人数	アンケート	
	人権講演会	2	① ②	8 8	5 5	日 日	10:00~11:30 13:30~15:00	①稲美町立西部隣保館 ②稲美町立東部隣保館	目的:毎年8月は、「人権文化をすすめる県民運動」の推進強調月間であり、これまで多様な人権問題の解決を図るため、お互いの人権を尊重しあう明るい社会の実現を目指し、「人権文化をすすめる町民運動」を展開しております 内容:①②K:人権問題全般	①②町民	①② R(「しあわせづくりまちづくり」)	①②元兵庫県教育委員会人権教育推進室 副室長、姫路市人権啓発センター 啓発部長 有正 省三	① 75/90 ② 43/50	①② アンケートは、していない	・町広報に掲載したり、近隣自治会にPRした。
播磨町	いきいき活動推進委員研修会	2	① ②	5 5	22 30	火 水	①② 19:00~21:00	①②中央公民館 視聴覚室	目的:各自治会の実態を把握し、実践に向けた計画書の作成を行う。人権啓発ビデオを使った「いきいきフォーラム」の進め方について学習し、実践につなげられる力をつける。 内容: ①G、W、V:グループワーク(自己紹介・情報交換)、ビデオを視聴した後、グループで話し合う。 ②G、V:モデル自治会の実践発表。グループごとに情報交換。	①②いきいき活動推進委員	①② R(人権啓発推進)	①②播磨町人権啓発推進委員会 教育委員会人権担当職員	① 35/47 ② 36/47		・グループワークを取り入れることで、委員が自主的に学習に取り組むことができた。 ・モデル自治会の実践発表を聞くことにより、実践の具体的なイメージを思い浮かべつつ各自治会で話し合いの場をもつことができた。
	コミセンのつどい	4	① ② ③ ④	9 9 9 9	1 1 8 8	土 土 土 土	10:00~12:00 10:00~12:00 13:30~15:00 13:30~15:00	①野添コミセン ②南部コミセン ③東添コミセン ④西部コミセン	目的:「コミセンのつどい」を実施することにより、人権にかかわる“学びや多様な文化活動”にふれる機会を提供するとともに、「コミセンのつどい」を通じて町民の交流を促進し、人権尊重の地域づくりに向けた気運を醸成する 内容: ①K:「ご近所力が地域力」 ②K:「地域に居場所と役割を」 ③④V:「パートナーズ」	①~④町民	①② R(人権啓発推進) ③④D	①夢こらぼ 主宰 松尾 やよい ②NPO法人コミュニティセンター神戸 理事長 中村 順子 ③④兵庫県映画センター 岡本 健一郎	① 82/50 ② 75/50 ③ 40/60 ④ 65/60	①~④ 事後アンケート	・各コミセンごとの運営委員が中心となり、運営に取り組むことができるようサポートし、住民主導の人権学習会が開催できた。
神河町	人権・青少年育成合同大会	1	①	12	1	土	8:45~12:00	神河町中央公民館グリンデルホール	目的:「ハートがふれあう住民自治のまち」をスローガンに、身近な生活課題への取組をおおして、私たちの暮らしの中に「人権」が文化として根付き、心豊かな生き方につながることをめざす 内容:K:あーよかったな あなたがいて~「優しさ」という温かい貯金~	町民、各種団体	R(人権全般)	教育サポーター 仲島 正教	未実施/400	なし	・今年度開催している地区別人権教室において、今後の取組として紹介し、参加を呼びかけている。
	人権啓発講演会	1	①	2	11	月祝	9:30~11:40	神河町中央公民館グリンデルホール	目的:「ハートがふれあう住民自治のまち」をスローガンに、身近な生活課題への取組をおおして、私たちの暮らしの中に「人権」が文化として根付き、心豊かな生き方につながることをめざす 内容:K:ハートフル人権コンサート	町民、各種団体	R(人権全般)、E	歌手(元NHK教育TV歌のお姉さん) 森 祐理	未実施/400	なし	・今年度開催している地区別人権教室において、今後の取組として紹介し、参加を呼びかけている。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(3)平成24年度 市町人権研修実施状況及び計画 (※資料編の中から特徴的であると思われる研修を抽出し、注目すべき点を赤字にしています。)

市町名	研修会名	全回数	回	月	日	時	曜日	時間	会場	研修目的、内容(記号は下欄から選択)	対象(具体的に)	テーマ (下欄選択:複数可)	講師(所属等)	参加者数(人) 実数/想定	評価方法	工夫(改善した具体的な内容等)
市川町	地区別人権文化推進員研修会	4	① ② ③ ④	6 6 7 7	30 30 7 7	土 土 土 土		10:00~12:00 13:00~15:00 10:00~12:00 13:00~15:00	①市川町保健福祉センター ②老人福祉センター ③就業改善センター ④岡部会館	目的:部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と人権尊重の町づくりをめざすため 内容:①~④K:各地区のリーダーを集めての研修、住民研修の進め方、後藤みなみ氏による講演会		①~④E	①~④後藤 みなみ			
福崎町	人権フェスティバル	1	①	12	9	日		9:30~12:00	福崎町文化センター	目的:県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基き、町民の人権意識高揚を図る 内容:K:「〜大震災を経験して〜思いやりの心」	町民、神崎郡内の人権教育関係者	R(地域と人権)	フリーアナウンサー 桑原 征平	未実施/300	事後アンケート	・神崎郡民主化推進協議会主催の人権啓発講演会と併せて実施し、町民だけでなく郡内から参加を募る。
太子町	石海地区リーダー研修会	3	① ② ③	6 9 10	2 1 7	土 土 土		①~③ 9:30~11:00	①~③石海公民館	目的:一人一人の人権を大切にすめる明るい町づくりを進める 内容: ①K、V、G:共生社会と人権、つながり・ささあう わたしたちのまち (映画「桃香の自由帳」の鑑賞をとおして) ②K、V、G:包み込む社会へ(映画「探梅」の鑑賞をとおして) ③K、V、G:子ども、女性、高齢者の人権を考える (映画「くらしの中の人権問題」の鑑賞をとおして)	①~③町民	①B、C、R(地域と人権) ②C、R(地域と人権) ③A、B、C	①太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事 寺前 健一 ②たつの市教育委員会人権教育推進課 指導員 中村 薫 ③たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事 新家 洋一	① 72/80 ② 60/80 ③ 56/80	①~③ 事後アンケート	・住民学習の手引き作成に際し、ビデオにかかわる意見交流がしやすいようなワークシートを作成した。 ・近隣市町教育委員会の人権教育担当者に講師を依頼し、参加体験型学習を一部取り入れていただくようにした。
	「人権文化をすすめる町民運動」推進強調月間記念大会講演会	1	①	8	5	日		14:30~16:00	太子町立文化会館	目的:一人一人の人権を大切にすめる明るい町づくりを進める 内容:K:「報道(メディア)と人権」	町民、学校関係者	A、H、R(報道と人権)	フリーアナウンサー 藪本 雅子	640/700	事後アンケート	・学校関係者が多く参加するように研修の一環に位置付ける。
上郡町	自治会人権学習事前研修	7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	6 7 8 9 11 11 12	29 25 25 20 3 末 末	金 水 土 土 土 土 土		19:30~21:00 19:30~21:00 19:00~21:00 19:00~20:30 19:30~21:00	①町立梨ヶ原公民館 ②町立高田公民館 ③町立山野里公民館 ④町立鞍居公民館 ⑤町立船城公民館 ⑥町立上郡公民館 ⑦町立赤松公民館	目的:各自治会人権学習会の円滑な推進を図るための事前リーダー研修 内容:①~⑦S(学習の目的と進め方に関する説明) V:「桃香の自由帳」地域づくりと人のつながり	①~⑦町民 (自治会役員・学習推進員)	①~⑦B、C、R(地域)	①~⑦上郡町社会教育課 係長 深澤 徹也 主査 水谷 千嘉子	① 30/30 ② 50/70 ③ 100/145 ④ 40/50 ⑤ 未実施 ⑥ 未実施 ⑦ 未実施	①~⑦ 実施報告書 (年度末提出)	今年度は主に次の点を意識しながら研修を実施している。 ・学習活動の意義・目的の共有。 ・地域の具体的な課題と結びつけた学習。
	公民館人権学習(鞍居公民館)	5	① ② ③ ④ ⑤	10 10 10 10 10	3 5 10 10 10	水 金 水 水 水		9:30~11:30 9:30~11:30 9:30~11:30 9:30~11:30 13:30~15:30	①町立鞍居公民館 ②土井公民館 ③穂田公民館 ④野桑公民館 ⑤金出地公民館	目的:多様な機会をとらえながら、団体を通じた会員浸透学習を推進する 内容:①~⑤G、V:「探梅 春、遠くから」高齢者と人・地域のつながり	①親交会 ②長命会 ③寿老人クラブ ④野桑同心会 ⑤金出地コスモクラブ	①~⑤C、R(地域)	①~⑤鞍居公民館 館長 中尾 一夫	① 34 ② 24 ③ 23 ④ 35 ⑤ 25	実人数 ①~⑤ 実施報告書 学習記録	・毎年、地区の老人会5団体を対象に、町保健センターの健康相談と兼ねて実施。
佐用町	高齢者大学	8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	4 6 6 7 12 7 2 2	19 20 21 12 木 木 木 木	木 水 木 火 木 木 木 木		①~⑧ 10:00~11:30	①南光文化センター ②上月文化会館 ③三日月文化センター ④南光文化センター ⑤三日月文化センター ⑥さよう文化情報センター ⑦上月文化会館 ⑧さよう文化情報センター	内容: ①K:講演テーマ「高齢者の役割」 ②K:講演テーマ「うたってつながろう」 ③K:講演テーマ「高齢者の役割」 ④~⑥K:講演テーマ「うたってつながろう」 ⑦上月文化会館 ⑧さよう文化情報センター	①~⑧高齢者	①~⑧R	①③⑦⑧災害市人権擁護委員 佐々木 大観 ②④~⑥兵庫県認定音楽療法士 寺村 久美子	① 100/150 ② 100/150 ③ 30/150 ④ 100/150 ⑤ 30/150 ⑥ 300/350 ⑦ 未実施/150 ⑧ 未実施/350	①~⑧ 特になし	・人権について身近に感じていただくために、わかりやすく聞きやすい講師を選んだ。 ・ワークショップの内容を取り入れていただき、実感を強めていただけた。
香美町	小代区人権教育講座	3	① ② ③	8 10 11	28 26 27	火 金 火		①~③ 18:30~20:00	①~③小代区総合センター	目的 人権教育を広めるリーダーの養成と広く人権意識を高める 内容: ①K:「仏教と人権」 ②K:「平清盛と平家物語の女性たちから学ぶ」 ③K:「心に留めておいてほしいこと」	①~③講座生	①G ②A ③E	①安泰寺 住職 ネルケ 無法 ②パランティア代表 森田 充代 ③但馬地区人権教育研究協議会 会長 川島 正博	① 30/30 ② 未実施/30 ③ 未実施/30		・講座生は勤務している人が多いので、夕方からの開催にしている。
	香住区人権学びプラザ	3	① ② ③	7 8 9	25 28 25	水 火 火		①~③ 19:30~21:00	①~③香住区中央公民館	目的:差別のないだれもが大切にされるまちづくりをめざす 内容:身近な人権問題について小グループで和やかに語り合う参加型体験学習 ①G、W:「対人関係の中で大切なこと」 ②G、W:「いじめ、高齢者、男女が共に生きる社会の問題」 ③G、W:「『あつていいちがひ』と『あつてはいけないうちがひ』」	①~③町民	①R(人権全般) ②R(偏見や差別) ③R(風習や習慣)	①~③香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事 上田 剛史	① 35/30 ② 21/30 ③ 29/30	①~③ 事後アンケート	・参加者同士の名前が分かるように、NAMEカードを作った。 ・今まで出していた案内文とは別にチラシを作り、公民館(住民向け)や学校(教員向け)などに配布した。 ・香美町ホームページに人権のページを作成し、学びプラザの予定を掲載した。
	香住区第32回差別をなくする町民のつどい	1	①	2	16	土		13:30~15:30	香住区中央公民館	目的:各団体の実践発表などを通じて、「人を大切にし、人に優しくすること」の大切さを町民が互いに確かめ合い、人権尊重のまちづくりに向けた心合わせ・力合わせを進める 内容:S(実践発表):学校教育部会と社会教育部会の活動報告、人権作文朗読ほか	町民	R(人権全般)	(学校教育部会)・余部小学校の児童 (社会教育部会)・香住第一中学校の生徒 (人権作文発表) 未定	未実施/450	事後アンケート	・チラシを全戸配布するとともに、町の定例記者会見にて情報提供する。
新温泉町	新温泉町人権を考えるつどい	1	①	8	4	土		13:30~15:30	新温泉町夢ホール	目的:幅広い各種の人権啓発活動を一体的、総合的に実施することにより、町民の参加を促し、広く人権尊重意識の普及高揚を図り、人権文化を醸成する 内容:K:「震災復興を通じて考える「まちづくり」の視点」	町内及び近隣市町住民	R(東日本大震災問題)	慶應義塾大学法学部 教授、前総務大臣 片山 善博	400	実人数 事後アンケート	・聴覚障害の方も参加出来るように、オーバーヘッドプロジェクターを用いた要約筆記を行った。 ・講師をプロジェクターに映すことによって、広報の方にも会場の生の雰囲気を感じてもらった。
	人権セミナー	5	① ② ③ ④ ⑤	7 9 10 11 12	3 4 4 7 5	火 火 木 水 水		①~⑤ 19:00~20:30	①②新温泉町多目的集会所 ③新温泉町民センター ④新温泉町多目的集会所 ⑤新温泉町民センター	目的:さまざまな人権課題の解決を図り、地域の人権文化を進めるための知識、技能の育成を目指す 内容: ①K:福祉と人権 ②K:同和問題 ③K:多文化共生 ④K:障がい者の人権 ⑤S(シンポジウム):男女共同参画	①~⑤町内住民	①B、C、D ②E ③G ④D ⑤A、C、D	①新温泉町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター 小南 かおる ②京都市 ツラッティー千本 中川 理季 ③新温泉町国際交流協会 猪坂 悦司 ④おんせん手話サークル 谷口 薫 ⑤但馬浜ふるさと塾 代表 上島 元子 宅老所・サロン「いこい場」 代表 米田 笑子 「みかたでござる」 代表 井上 光子	① 110 ② 83 ③ 56 ④ 未実施 ⑤ 未実施	①~⑤ 事後アンケート	・町内で人権尊重のまちづくりにむけ活躍されている方々のなかでも若手の方を中心に講師をお願いし、地域密着と新しい世代の活動を紹介するセミナーとした。 ・地域ごとの学習会と兼ねての実施。

研修内容 K:講義 V:ビデオ上映 G:グループ協議 W:ワークショップ S:その他

テーマ A:女性 B:子ども C:高齢者 D:障害のある人 E:同和問題 F:アイヌの人々 G:外国人 H:HIV感染者・ハンセン病患者等 I:刑を終えて出所した人 J:犯罪被害者等 K:インターネットによる人権侵害 L:北朝鮮当局によって拉致された被害者等 M:ホームレス N:性的指向 O:性同一性障害者 P:人身取引 Q:東日本大震災に起因する人権問題 R:その他

(4) 研修に関する課題や工夫について

ア 研修についての課題

	課題	回答数	回答内容(抜粋)
参加者	参加者の固定	19	・参加者が各種団体の役員などに固定されており、広く一般市民の方に来ていただくことが難しい。 ・研修、講座に参加する人は参加しているが、しない人は全くないという二極化が起こっている。
	参加人数の増加	9	・以前に比べて、学習への参加者が減っている。 ・参加者が減少傾向にあること。
	参加者の年齢層の偏り	4	・参加者が町の役員や高齢者の方が多く、20代、30代の若い人たちの参加が少ない。 ・参加者が自治会等地域の役職者に偏り、それも高齢の方が多くなっている。
	若年層の参加人数の増加	8	・若年層の人権への関心が薄く、参加が少ない。 ・町民意識調査の結果で、若年層の学習効果が高いことが判明したが、学習に参加するのは主に50代以上の中高年層である。若年層の学習意欲を誘発するアプローチ方法を工夫する必要がある。
	参加者の高齢化	2	・参加者の高齢化。 ・参加者が高齢者に偏りがち。
	動員ではない自主的な参加者の募集	5	・研修を実施する際に、参加者を自主的に募ることが難しい。 ・参加については、動員という形が多く、役職についている方の参加に固定化してきている。
	継続的な参加者の増加	1	・研修会に継続して参加する人が少ない。
	関心が低い課題での参加人数の増加	1	・特に行政の行う啓発等では、市民の関心の高い「人権課題」ばかりを企画するわけにはいかない。関心が低くても、低いからこそ企画しなければならないという使命もある。それが、民間とは違うところである。しかし、そうすれば、参加者数は限られるというジレンマもかかえることとなる。
	幅広い住民の参加	1	・過去に人権研修を受けた経験のない市民を含め、どうすれば幅広く研修に参加していただけるかについて苦慮している。
講師頼みの参加者の募集	1	・よほどの著名人でない限り、講師の魅力で参加者を募ることが出来ない。	

研修企画	研修の開催時間帯	1	・研修を開催する時間帯の問題。参加対象が幅広くなればなるほど難しくなる。幼稚園や保育所の送迎、小学校低学年児童の帰宅時間、自治会関係者など高齢の方の都合、学校関係者の授業の関係など。
	参加者に合わせた目的、日時の設定	1	・受講者に合わせて、目的、日時などを設定するよう取り組みたい。
	研修の目的の明確化	1	・「決めつけ」「否定」の研修から、「肯定」「受容」の研修に変化しつつあるが、そのため研修の目的が分かりにくくなる。
	関心を持ってもらえる様なテーマの設定	1	・テーマ設定について、人権問題が多様化、複雑化していることに加え、「自分には関係ない」といった無関心や「関わりたくない」といった忌避意識に対して、いかに効果的に働きかけるかが難しい。
	限られた回数の中でのテーマの偏り	1	・住民学習会の回数が限られているため、住民のニーズや要望を取り入れ、どの人にも起こり得る課題を取り上げたいので、地域のつながりや高齢者、子どもを取り上げたテーマが多くなっており、取り上げられないテーマが出てくる。
	テーマや講師の精査	2	・講演会のテーマや講師などを精査し、参加者数の増加を図る。 ・市民の生活が多様化している中で研修会の実施方法やテーマ設定、講師選定が課題と感じている。
	講師の選定	2	・講師の選定。 ・人を集めようとする、知名度・集客力の高い講師を選ぶことになり、必ずしも内容が伴わない。
	限られた予算での講師の選定	2	・参加者が集まる講師は講師料が高い。 ・予算の制約もあり、魅力ある講師の選定に苦慮している。
	人権意識のさらなる啓発の難しさ	1	・研修会に参加して頂いているような方は、すでに人権意識が高い方が多く、さらなる啓発には困難を感じる。
同和問題をテーマとする事の難しさ	1	・「部落差別を取り上げるから差別がなくならない」との意見が多く、地区によって同和問題をテーマに出しにくい。	

研修内容	研修内容の設定	1	・研修内容をどんな対象を中心にして設定するか。
	多岐にわたる人権課題の研修方法	1	・人権課題が多岐にわたっており、様々な研修をどのように開催し啓発活動を行っていくかが困難である。
	内容のマンネリ化	6	・マンネリ化から、人権学習会を企画しても住民の理解や参加協力が得にくい自治会がある。 ・住民学習については、学習方法がマンネリ化している。
	気軽に参加できる研修の運営方法や形態の検討	3	・誰もが気軽に参加できるような、新たな学習会等の運営方法や形態を検討していく必要がある。 ・同和問題や人権研修がなかなか自分自身の生活や生き方と結びついていない。 ・研修内容が講演会となることが多く、参加者は聴講のみで能動的な研修となりにくい。
	座学中心の研修	3	・研修内容について、啓発映画や講師の話を中心に見たり、聞いたりしているが、自ら積極的に発言しようとする機会が少ない。
	研修内容の転換	1	・課題解消の視点を取り入れながら、地域や生き方について考える学習会・懇談会へ転換していきたい。
	都市部に対応した研修方法	1	・都市化された地域に対して、旧来の農村型の啓発手段では難しい。都市化された地域の研修方法の開発が必要。
	限られた予算での企画運営	2	・限られた予算の中で参加者が自主的に参加してみたいと思える、魅力的に感じる研修の場の設定。 ・予算が削減される中で、より効率的・効果的な研修・啓発手法の活用が求められる。
	同和問題への意識の低下	1	・人権教育課題の多様性から同和教育の本質が薄められつつある。
学校教育との連携	1	・学校教育との連携の必要性も感じる。	
学校での同和学習の減少	1	・学校での同和学習の機会がどれくらいあるのか。(減少傾向にある) 同和問題との正しい出合いをきちんとさせたい。	

リーダー	リーダー研修の実施	3	・リーダー層に対する研修として内容を工夫して実施することが必要。 ・指導者を養成しない自治会がほとんどで、地域の課題と結びつけた学習に発展しにくく、事業そのものを疑問視する声も年々強まっているように感じる。
	人権リーダーの固定化、高齢化	1	・人権リーダーの固定化、高齢化。
	人権啓発推進員の減少	1	・学習会の助言者としての「人権啓発推進員」の減少。
	人権啓発推進員の資質向上	1	・学習会の助言者としての「人権啓発推進員」の資質向上。

	課題	回答数	回答内容(抜粋)
広報	広報の工夫	2	・参加者への案内の回数を増やし内容を工夫する。
	ホームページの活用	1	・広報の重要性は高く、より効果の高いチラシの配布先、配布方法がないか検討する。 ・ホームページを活用する。
	研修内容や参加者の意見の紹介	2	・講座内容の紹介を充実させる。参加者の感想を紹介する、告知を工夫するなど情報の受信発信双方向の取り組みが必要。 ・講師の話の内容がすばらしいものであっても、参加した人にしか伝わらない。
	多忙な住民への参加の呼びかけ	1	・都市と違って人口も少ないし、兼業農家が多く時間的な余裕がないため主催者側としても集客に苦勞する。

成果	研修の効果を測る指標、目標値の設定	1	・人権研修は、人の意識に働きかける事業であり、研修の効果を測る「ものさし」がないことが課題となっている。町民意識調査の調査項目の中から「指標」を設定し「目標値」を設けるなど研修の効果を計っていく必要があると感じている。
----	-------------------	---	---

実施体制	地域間の温度差	3	・地域性の違いにより、市内でも温度差があり、一律的な研修を行えず効率が上がらない。 ・区による温度差、集落による関心度、推進員の姿勢の差、参加者が固定化している集落もあるのではないか。学習会の位置付け、広報、宣伝、周知の仕方の差も感じられる。
	自治会の取り組み方	2	・役員の引継ぎがうまくいかず、取組がスムーズにいかない自治会がある。 ・実施体制として各自治会長及び自治会役員が推進役を担うが、毎年のようにメンバーが変更するため、取組の姿勢にばらつきがある。
	未実施の自治会	1	・住民学習について、未実施自治会。
	組織としての女性の人権研修の実施	1	・女性の人権教育について、婦人会組織が無くなったことにより、組織としての研修ができなくなった。

意識	堅苦しいイメージを払拭するような広報	4	・「人権」と銘打つと敬遠されがち。
	人権研修に対する忌避意識	1	・暗い、堅苦しい研修とのイメージがあるためか、参加人数が増えないこと。 ・人権研修は、難しいから忌避意識がある。
	人権問題は他人事という意識	2	・人権と言えば、被害者のためと考え、他人事と考える。 ・「やらされ」感が根強く、「自分ごと」として自主的な意識の広がりに欠けている。

その他	人権研修の優先度の低さ	2	・日々の暮らしに追われて余裕がないのか、動員を嫌がられる。 ・参加者が集まりにくく、理由としては必要なのはわかるが、色々やるべきことが多く、人権学習までやる余裕がないとの意見が多い。
	経費削減による情報提供の質・量の減少	1	・経費削減により、情報提供の質と量が著しく減少している。

同和	人権教育と同和教育の関係の明瞭化	1	・人権教育と同和教育の関係が不明瞭なため、混乱する。
----	------------------	---	----------------------------

教材	各自治会が研修を企画しやすい教材作り	1	・ビデオ学習はコストもかかるため、自治会の推進リーダーが無理なく学習を組み立てられる教材の研究・開発により、最も都合のよい時期に学習できるような環境を整備する必要がある。
----	--------------------	---	---

DVD化	視聴覚教材のDVD化	1	・視聴覚教材としてビデオ(VHS)が多く、DVDが少ないので、映像機器の都合上、視聴しにくい。
------	------------	---	---

【要点】

1 『参加者』に関する課題では、「固定化している」が最も多く、「減少傾向にある」「高齢者に偏っている」「若年層を増やす工夫が必要である」などが挙げられています。
その他、「動員に頼らない自主的な参加が難しい」「関心が低いからこそ企画すべき課題には人が集まらないというジレンマを抱える」などが挙げられています。

2 『研修企画』に関する課題では、「参加者のニーズに応じたテーマ設定が必要だがテーマに偏りが生じる」「限られた予算内での講師選定に苦慮している」「参加者に合わせた目的や日時の設定が必要である」「常時参加しており人権意識が高い人への啓発が難しい」などが挙げられています。

3 『研修内容』に関する課題では、「内容や方法がマンネリ化している」が最も多く、「気軽に参加できる内容の検討が必要である」「自ら積極的に発言するなど能動的な研修となりにくい」などが挙げられています。
その他、「都市化された地域に合った研修方法の開発が必要である」「同和問題に対する意識が低下し学習機会が減少している」などが挙げられています。

4 上記以外では、「リーダーの養成及び研修が必要である」「人権に対する堅いイメージや他人事という意識がある」「より有効な広報の工夫や、実施者と参加者の双方向の情報交流が必要である」「地域間に温度差があり一律に研修できない」「研修効果を測る指標や目標値が設定しにくい」などが挙げられています。

※大項目の中でも同様の課題ごとに分類し、太線と破線で区切って整理しています。

(4) 研修に関する課題や工夫について
イ 改善できた課題及び工夫

	改善できた課題	改善につながった工夫
参加者	参加者の固定	・参加しやすい時間や内容の検討 ・主体的に学習できる雰囲気づくり ・子どもも参加可能な研修の企画
	参加者の増加	・市の公報への掲載、ポスターを作成して町内に掲示 ・フィールドワークを取り入れたセミナーの企画 ・開催規模の見直し ・参加しやすい日時の設定
		・自治会中心の研修の企画 ・子ども会との連携 ・研修の開催時間の変更
		・無料の一時保育の実施 ・研修に集中できる環境づくり
		・託児ボランティアの依頼
	若年層の参加人数の増加	・著名な講師の選定 ・PTAや子供会への後援依頼 ・高校生への司会の依頼 ・平日の夜や休日の研修開催 ・地区全体の行事としての取り組み ・団体や企業での研修
	参加者の年齢層の幅の広がり	・小中学校を通しての広報
継続的な参加者の増加	・参加しやすい日時の設定 ・住民が親しみやすいクラフトなどを取り入れた研修の企画	

研修内容	気軽に参加できる研修	・講師・講演内容の選定
	より参加しやすい研修の実施	・アンケートの聴取 ・研修時間の短縮

運営	マンネリ化	・単位自治会から隣接する自治会や連合自治会、自主グループへの学習対象の拡大 ・啓発DVDや研修用資料の精選、講演講話型から参加体験型の研修への転換 ・住民主体の研修の企画運営 ・小学校区ごとの地区人権学習会と住民人権学習会の隔年での実施 ・講師を招聘し毎年違うテーマでの講演の企画 ・参加型の学習会の実施 ・前例踏襲ではない研修の検討
	各地区のニーズの把握	・同和問題の現状の把握 ・はじめにゲームを導入するなど参加しやすい雰囲気作り ・頭や体を使うワークショップ形式の研修
	人権教育指導員やファシリテーターを活用した研修会の増加	・いろいろな関係機関への積極的な広報
	学習の機会の拡充	・人権教育推進員の委嘱
	住民主体の運営推進	・リーダー研修会の充実
	住民主体の学習会の運営	・会の進行シナリオ作成などのアドバイスをを行う等、運営のサポート ・地域の課題に沿った講師・講演内容の選定
	住民と行政の協働	・住民による研修の企画、運営
	行政全体の自主的な啓発への取り組み	・「子どもの人権条約啓発検討会議」の実施など行政の主体的な参画

講師	課題と講師の選定	・実際の体験にもとづく当事者による講演の開催
----	----------	------------------------

実施体制	研修の未実施の自治会の減少	・自治会への自主的な研修実施の依頼 ・参加しやすい曜日や時間の検討 ・住民の関心が高い講習等と併せての研修の企画
	町内の各種団体間の連携	・町内の各種団体による研修の共同開催 ・参加体験型研修の実施 ・参画型研修と講義との組み合わせ
	新たな地区での研修の開催	・まちづくり協議会や老人会の各種コミュニティ活動への取り組み

	改善できた課題	改善につながった工夫
広報	効果的な広報	・できるだけ多くの広報媒体を使用した案内告知
	小学校児童への広報	・「父と子」から「家族と子」へ研修テーマの名称の変更

意識	意識改革や実践活動へのつなぎ	・体験・参加型の研修の実施
	人権意識の高揚	・身近な課題の経験者や体験者による講演 ・啓発ビデオの利用 ・住民研修用の資料の作成
	堅苦しいイメージの払拭	・「地域別人権啓発講座」から「ハートフルコンサート」へ研修会の名称の変更 ・地域のつながりや高齢者問題、児童虐待等、身近に感じられる課題の選定 ・「人権」から「じんけん」への変更 ・防災・減災等、自治体の希望に沿ったテーマ・内容の選定 ・同和研修から人権研修への転換

その他	土曜日の研修開催	・平日から土曜日へ研修の開催曜日の変更
	市役所職員研修としての研修	・研修回数の見直し
	空欄等	・研修の継続 ・同和問題・啓発の成果を中心に据えた学習 ・なし(講師の選定は改善につながっていない)
		改善途中の取り組み ・学習リーダーの養成と活用 ・対話型学習の推進 ・若年層へのアプローチ ・PTA事業での人権学習への経費の一部助成

【要点】

- 『参加者』に関する改善につながった工夫では、「平日の夜や休日など参加しやすい日時の設定」「フィールドワークや子どもが参加可能な研修の企画」「高校生の司会としての参加や子ども会、PTAとの連携」「無料の一時保育の実施や託児ボランティアへの依頼」「市報や小学校を通じた広報」などが挙げられています。
- 『研修内容』や『運営』に関する改善につながった工夫では、「ゲームの導入や頭と体を使うワークショップなど参加体験型の学習の実施」「住民主体の企画及び運営」「リーダー研修会の充実」「各自治会が連携した合同での実施」「啓発資料や進行シナリオ作成などによる行政側の支援」などが挙げられています。
- その他の工夫について、『講師』では「実体験に基づく当事者の選定」、『実施体制』では「参加者の関心が高い講習会や老人会等の各種団体との共同開催」、『広報』では「様々な広報媒体の活用」、『意識』では「身近な課題に関する体験者による講演」「研修会名の変更などによる堅苦しいイメージの払拭」などが挙げられています。

※「改善につながった工夫」欄は、市町ごとの意見を、実線で区切って整理しています。

(4) 研修に関する課題や工夫について

ウ その他の留意点及び工夫

研修内容	<p>【研修方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合い学習をするときは、少人数のグループ(できれば5～6人、多くても10人まで)にさせていただくことを何度も伝える。 啓発ビデオ視聴による学習会が中心ではあるが、視聴後の話し合いの雰囲気づくりや参加型体験型学習を工夫している。 各町ごとの住民人権学習会では、参加者から意見や感想を求める際に、できるだけ無理なく出してもらえるようにOor×式の質問に答えてもらうようにしたり、指名をして意見を強要することをしないようにしている。 地区別人権教室などでは、参加体験型を取り入れ、研修の中で、参加者の思いが出せる場を確保している。しかし、発言を強要することなく、リラックスした雰囲気の中で参加してもらえるように心がけている。 参加型学習会のスタイルをめざす。 学習会もビデオ視聴の他に、人権落語、人権コンサート、現地視察研修など、多様な方法・スタイルを計画している。 講師を地域の方に依頼したり、少人数グループで話し合ったりして、研修会が活性化できるよう努力している。また、人権劇の公演を実施するなど、色々な面から人権について考える機会を設けている。
	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> いわゆる「マンネリ」とならないよう、社会情勢や現在問題となっている人権課題について情報を収集し、テーマ設定を行う。 講演会の内容として、年間に1つは同和問題を入れる。 講師や推進委員との連絡を密にし、学習会の内容(ねらい)を明確にしておく。 市民が参加したいと思うような研修会の内容やテーマ、講師の選定が最も重要であるとする。 市民主体の講座企画であるため、不足している人権課題(テーマ)については、行政が企画しバランスのとれた学習機会の提供を行っている。 住民学習会では、できるだけ地域のニーズに応じて、研修会を開催していること。 講演会を開催する場合は、身近な人権課題について話をさせていただくように講師の方に依頼している。 人権をテーマにしてお話していただくが、「まちづくり」とも関連させて講演していただいている。 人権についての意識調査を活かし、町の課題を考えた研修内容。 人権全般、個別の人権を年間バランスよく実施するとともに前年度・次年度も考慮し研修内容を決定する。 理論も大切であるが、心に伝わる内容を主に考えている。
	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会学習の案内の際、興味や関心を引き出すための事前資料として、啓発ビデオのあらすじ等を記載した回覧用チラシを活用(活用するかどうかは各自治会の判断に任せている)。 学習会では、町作成の「人権啓発パンフレット」を参加者全員に配布し、人権研修と共に人権啓発についても考えてもらう。

講師	<ul style="list-style-type: none"> 講師に依頼するとき参加者や研修企画者の研修内容を講師に伝え、目的に沿った講演を依頼する。 講師の選定…住民からの要望を優先させて講師の依頼をしている。また各地域の抱える人権課題をテーマとする講演内容の依頼をしている。 講師選定時に、講演の内容について事前リサーチすることに気をつけている。 講師については、研修会や会議などで集まって、意見交換や共通認識の確認などを行っている。 講師の選定は、できるだけ町内の方をお願いしている。 講師の選定においては、講演料の多寡にかかわらず引き受けて頂ける方を優先している。 講師については実体験が豊富で、具体例をたくさん盛り込んで話してくれ、そして話上手な方を選ぶようにしている。 講師選定において、むずかしい。費用・講演内容・連絡先などがわかる資料があればよいのですが。 講師の選定。
----	--

日時	<ul style="list-style-type: none"> 参加しやすい時間。たとえば園児を持つ保育者がいそうなら、給食のある日の午前中など。 研修会については、参加しやすい曜日や会場を設定。複数会場で開催し、都合により該当地区に参加できない場合は、他地区会場に参加できるよう工夫している。推進員は教職員や市職員を含むので、平日夜間に開催。 講演会等研修時間設定は、金曜日の夜や土曜日、日曜日は参加が少ないため、平日夜間(特に水曜日または木曜日)とする場合が多い。 会場や時間設定については、参加者、団体の希望に沿って、曜日、夜間問わず開催している。 市民への積極的な広報や開催時間・日程との検討。 会場や時間の設定は、可能な限り他団体の行事などを考慮している。 会場がおさえられれば、土・日に開催する。 他の部局の大きな事業と重ならないようにする。
----	--

リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 企画や運営面では、できるだけ人権啓発リーダー(人権教育推進員・人権教育推進委員)の方を中心に実施している。 自治会学習のリーダーや人権学習アドバイザーの自己研修として、兵庫県人権教育研究大会(地区大会・中央大会)を積極的に活用している。 各地区公民館を会場にリーダー研修会を地区ごとに年間各3回開催している。自治会長との調整を公民館長を通し、町内4地区が重ならないように計画を調整していただいている。 自治会人権学習については、事前のリーダー研修で次の点に留意して運営することをお願いしている。 <ul style="list-style-type: none"> ①学習に入る前に参加者全員に学習の目的を伝えること。(人権を核とする住みよい地域づくりのための取組であることを確認し合う) ②参加者が安心して学習できるよう、大まかな時間配分やその日予定している内容を説明してから学習を始めること。 ③地域の身近な課題と結びつけた内容で実施すること。 ④参加者相互の対話や気づきを誘発するよう努めること。
------	---

会場	<ul style="list-style-type: none"> 会場運営…車で来場者が多く、駐車場の準備および安全確保に苦労している。会場選定にも苦慮している。 会場や時間の設定…会場については予想される参加人数に応じた施設を設定している。 人権の研修ということもあるので、バリアフリーに対応した会場を優先して設定している。
----	--

広報	<ul style="list-style-type: none"> 参加者への周知方法…はがきによる案内や広報・チラシの全戸配布・ポスターの掲示等多くのメディアを利用して広報に努めた。 できるだけ多くの媒体を使って、イベントの周知を行っている。(新聞広告、広報紙、ちらし・ポスターの自治会配布等) 対象者が決まっている場合は、郵便による案内も行う。 自治会での学習会においては、チラシを配布したり告知放送などで周知を図るとともに、他の行事と共催して実施するなど、参加者を増やす工夫を行っている。 市の広報紙にお知らせ記事を掲載するほか、チラシの配布、各種機関紙・情報誌への掲載、老眼大学・婦人大学受講者への案内、新聞への掲載等多様な方法で周知を図る。 生推協会員や自治会役員に案内はがきを送付したり、パンフレットやポスターを掲示した。 各種団体への参加案内文書を送付している。 役場広報へ研修案内の記載を依頼。 公報配布の際に、チラシを作成し全戸配布してもらう。 参加者への周知方法については、町広報、文化会館だよりへの掲載、周知チラシの各戸配布などにより行っている。 新たに、町掲示板や自治会の掲示板を活用し、人権教育セミナー等のポスターを掲示する。 市のホームページに情報を掲載。 市のケーブルテレビで情報を提供。(番組内や文字放送) 各自治会の研修会では、自治会からの回覧等の他、小・中学校の保護者への通知として、各学校からも自治会研修会の案内を出している。 新聞社へ情報を提供。 大きなイベントについては、広報を積極的に行う。 あらゆる年齢層に周知できるようにさまざまなPR方法を活用している。 センターの活動を周知する工夫を検討したい。
----	--

実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 講師、研修内容の情報収集を強化し、センター内外で共有できるよう工夫したい。 旧1市5町の地域性の違いに配慮し、各地域に市人権教育推進協議会の支部を置き、それぞれの地域事情を考慮して事業を推進しています。 小学校・中学校単位の地区人権・同和教育研究大会については、まちづくり協議会や自治会長会等の主催者側の主体的な取り組みとして実施していただけるよう、支援している。要請があれば、準備から片付けまで市職員の出役も可能。
------	--

意識	<ul style="list-style-type: none"> 人権＝同和問題と捉える住民がいる中で、人権問題は自分に関わる問題であることを認識できるようにしている。 多様な人権学習によって、もう同和問題は終わったとの間違った認識を持つ人が増えつつある。これは、極めて危険な状態につながらないかといった不安も感じられる。
----	---

参加者	<ul style="list-style-type: none"> 小さな子どもを持つ保護者も参加しやすいように、一時保育(託児)を設けている。
-----	--

評価	<ul style="list-style-type: none"> 運営上の留意点…参加者にアンケートの協力してもらい、その結果を踏まえ、次回の研修の参考としている。
----	---

【要点】

- 『研修内容』の【研修方法】に関する工夫では、「少人数グループの話し合い学習の実施」「参加体験型学習に関する工夫」「O×式質問の作成・人権落語・人権劇・現地視察などリラックスして参加できる多様な方法やスタイルの検討」などが挙げられています。
- 『研修内容』の【テーマ】に関する工夫では、「参加者のニーズや社会情勢に合った身近な人権課題の選択」「人権全般と個別課題との年間を通したバランス及び計画」「住民学習で不足しているテーマの行政側による企画や支援」「理論より心に伝わる内容の検討」などが挙げられています。
- 『研修内容』の【その他】では、「事前の学習資料及び人権啓発パンフレット等の作成や配布」が挙げられています。
- 『講師』に関する工夫では、「研修企画者のねらいの伝達」「参加者のニーズに応じた選定」「事前協議等によるリサーチの重要性」「実体験による具体例が上手に話せる講師への依頼」などが挙げられています。
- 『日時』に関する工夫では、「参加しやすい日時・場所の設定」「複数会場による開催」「他団体の行事と重ならない事前の調整」などが挙げられています。
- 『リーダー』に関する工夫では、「各自治会における自治会長や人権リーダーを中心とした研修の実施」「行政による事前リーダー研修における留意点等の伝達」などが挙げられています。
- 『広報』に関する工夫では、「はがき、チラシ、パンフレット、ポスター、各所発行の便り、新聞広告、ホームページ掲載、ケーブルテレビ放送など多くの媒体の活用」「全戸配布や対象者への郵送、自治会の回覧、学校を活用した通知など多様な方法による伝達」が挙げられています。
- その他では、「バリアフリーに対応した会場選択」「各自治会の主体的な取組の支援」「同和問題を含めた人権に関する意識の啓発」「子育て世代に対応した一時保育(託児)所の設置」「評価につながるアンケートの実施」などが挙げられています。

(5)その他の研修会における工夫等について（企業関係者や市町職員を対象とした研修会等）

企業関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、人権教育研究協議会（企業部会）との共催により、企業人権問題研修会を実施している。 ・企業医療部会合同研修では、3回(8/6, 9/7,10/11)のうち2回を兵庫県人権啓発協会の永松さんを講師に迎え、「人権を大切にしたい職場づくり～生き方を考える～」をテーマに研修会を実施し、人権意識の高揚を図った。 ・多くの企業にできるだけ同じ質の研修をしてもらうために、各ブロックごとの代表が集まり研修をうけて、それぞれの所属の企業にそれをおろしている。 ・民主化推進協議会と協働していく中で、企業部会で年3回の研修会を実施し、講演会だけでなく、グループ討議等を設けて、参加者同士の話し合いや意見交流の場を設けている。 ・市では、自治会を対象とした人権学習会を推進していますが、参加者が毎回同じでしかも高齢者が多いということ等もあり、市同和・教育協議会と連携し、同教に参加されている企業に対して社員研修会経費の一部を補助しています。自治会での人権学習会と比較すると、企業での研修では、若年層の方が研修を受けていただけており、幅広い年代層に対する研修機会の増加に努めています。 ・企業等から研修依頼があったときは、研修内容に応じて但人教、市人教等を通じて最適な講師を派遣したり、必要なテキスト等を配布したりしている。 ・本町での、人権研修でウィークポイントだった企業との連携を図るため、部・課長に人権啓発の企業訪問を実施した。 ・企業研修推進として、企業の代表者、推進員対象の研修会実施により、各企業での意識を高める工夫をしている。また、企業部会として視察研修を実施している。 ・企業関係者の研修では、5年未満新任研修・管理者研修・会社経営者研修等多様な参加者対象の研修が設定されている。 ・企業、事業所を対象にした部会が、これまでもあったが、組織として機能していなかった。講演会や研修の案内も送付先の名簿はあったものの、ほとんど参加がなかった。そこで、20ほどの企業、事業所にしほり、参加のお願いに各所を回った。結果、従来行事ごとに参加依頼していたものとは別に部会を開催したところ、半数ほどではあったが参加があり、少しずつではあるが、組織としての歩みが始まっている。 ・企業を対象とした人権研修を行う機会がないので、どうにかして働きかけていきたい。
-------	---

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層を対象とした研修を工夫する取り組みを行う。 ・研修機会の確保のため、同一内容で複数回、研修を実施するなどの工夫を行っている。 ・交流学習会(23/10/30)では、社会啓発用学習資料SEIを使用し参加体験型の学習会を実施した。参加者が積極的に学習を深められる場づくりをした。 ・推進委員研修会に、フィールドワーク(施設見学)を取り入れた。 ・参加者数が減少傾向なので、興味をもってもらえるようなテーマや講師選定を心がけている。 ・市内で発生した差別事件を受け、平成24年度～平成26年度を同和教育の強化年間として取り組んでいる。 ・人権問題(差別発言等)が発生した場合、マニュアルに頼らず、その人にきちんと向き合い、何が原因かなど、しっかり確認する。 ・お互いを認め合うことで、働きやすい職場をつくり、うつ病などを予防することができる。だから、人権感覚を磨くための学習は大切だと伝える。 ・現在、受講者にアンケートを取り、興味のあるテーマにしほって開催している。H22障がいのある人、H23同和問題、H24女性・子ども、と設定した。 ・特に研修はしていない。
-----	--

【要点】

- 『企業関係者』に対する研修では、「各ブロックの代表研修を通じての各企業内への伝達」「協議会等に経費を補助し連携することによる企業の若年層への啓発」「経験年数ごとの研修会の実施」「参加者増加のための企業訪問による依頼」などの工夫が挙げられています。
- 『市町職員』に対する研修では、「意識調査結果を題材にした研修の計画」「大学との連携」「地域・保護者・教育関係者・行政職員による定期的な学習交流会の開催」「各所属長中心に研修を進めるための模擬学習会や、全職員への座学形式とワークショップ形式の両研修会の実施」「午前・午後や夏季休業中、複数会場で行うなど参加しやすい日時や場所の設定」などの工夫が挙げられています。
- その他では、「フィールドワーク(施設見学)の新規実施」「同和教育に関する強化年間を設定しての継続的な取組」などの工夫が挙げられています。

市町職員	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者等の人権について、NPO法人ひょうご被害者支援センターと連携して職員研修を実施している。 ・意識調査結果を題材とする職員研修を企画予定。大学との連携を検討している。 ・毎年度、管理・監督職を対象に、職員特別人権セミナーを開催している。 ・職員研修については、一方的に話を聞くだけでなく、実際に作業をする、少人数で討議できるような内容とするなどの工夫を行う。 ・未だになくならない差別の解消にむけて、地域・保護者・教育関係者・行政職員を対象に、年3回学習交流会(四者交流会)を開催している。 ・平成24年度に、「人権関係事業担当課連絡会」を立ち上げ、庁内で情報交換・意見交換・研修等を行っています。 ・市の職員全員を対象として、各職場単位で年4回の職場人権研修を実施している。 ・市総務課が所管する市職員の所属別人権研修では、各所属長を中心に研修できるよう、模擬学習会を行い、話し合いの進め方やどんな意見が出るかを体験してもらっている。 ・毎年、職員人権研修として全職員を対象とした座学形式(6～8講座)と各職場でのワークショップ形式の2つの研修会を開催、参加し、より充実した研修を行っている。 ・町職員に対しては、「人権推進基本計画」の周知を行い、また、個別の人権課題について複数年での研修計画を作成している。 ・町職員への研修は、とにかく全員受講になるよう機会をふやして参加しやすい工夫している。 ・市町職員研修では、同和問題について重点的に行っている。 ・町職員研修会では、兵庫県人権啓発協会制作のビデオの最新版を毎年視聴したり、年1回講演会を開催し、人権感覚を磨く取組を続けている。 ・町職員を人権推進委員にしている。 ・人権啓発推進の方針を町職員に周知徹底させるため、全職員対象に研修会を行っている(4回に分けて実施)。 ・町職員対象の研修会が数年来途絶えていたが、総務課と調整を図り、2年前から人権研修を1年に1回実施するようになった。現在、受講対象者を入庁後5年未満という限定があるが、状況を見つつ、受講対象を見直すことも必要と考える。 ・職員研修については、全職員の参加を目指して、会場をメイン会場だけでなく支所、病院など大人数の出先機関の職場の近くで実施したり、同会場でも午前と午後を実施時間を分けたりと、会場数、実施回数を増やすことにより対応している。また、給食センターなど、勤務時間内に全員が参加できない職場については、夏休み期間など業務に支障のない時期に実施している。
------	---

(6) 人権研修に関する受講が可能な施設等について (各人権課題をテーマに研修を受けることができる施設や団体等)

市町名	研修施設・団体等	テーマ (下欄から選択)	どのような研修が実施可能か	連絡先等
神戸市	男女共同参画センター	A	男女共同参画に関する各種講座・セミナー。	
	公民館(7館)	不特定	人権に関わる講座・講演会。	
たつの市	ライフデザインいぼがわ	R	人権全般について、人権劇の公演、子どもたちから募った詩の朗読などを通じて、公演会や参加型学習会による研修が可能である。	〒679-4192 たつの市龍野町富永1005-1 たつの市教育委員会事務局 人権教育推進課 電話(0791)64-3182 FAX(0791)63-3883
宝塚市	宝塚市人権教育指導員	R	人権全般について、講義及びグループ討議による研修が可能。	〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会事務局学校教育課 電話(0797)77-2040 FAX(0797)71-1891
	宝塚市人権ファシリテーター	R	人権全般についてワークショップによる研修が可能。	〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会事務局学校教育課 電話(0797)77-2040 FAX(0797)71-1891
川西市	川西市総合センター	E・R		
篠山市	篠山市国際理解センター	G	外国人住民の人権について全般。篠山市の外国人住民人口や、暮らしの課題など、理解と共生の地域づくりについて。	〒669-2374 篠山市宮田240 篠山市役所西紀支所3階 電話(079)590-8125 FAX(079)590-8126
	篠山市人権・同和教育研究協議会	G	「在日コリアン足跡調査」に基づき、人権ゆかりの地フィールドワークと説明。	〒669-2374 篠山市宮田240 篠山市役所西紀支所3階 電話(079)590-1260(FAX兼用)
	部落史研究会ささやま	E		
	篠山市民センター	R	人権全般について、プロジェクターを使った講義を含め、協議による研修が可能である。	〒669-2321 篠山市黒岡191-1 電話(079)554-2188 FAX(079)552-4680
	中央公民館 (四季の森生涯学習センター)	R	人権全般について、プロジェクターを使った講義を含め、協議による研修が可能である。	〒669-2205 篠山市網掛429 電話(079)594-1180 FAX(079)594-1174
	城東分館(城東公民館)	R	人権全般について、講義・協議による研修が可能である。	〒669-2441 篠山市日置385-1 電話(079)556-3171 FAX(079)556-3914
さぎそうホール	R	人権全般について、講義・協議による研修が可能である。	〒669-2153 篠山市今田町今田新田141 電話(079)597-2225	
養父市	養父市人権教育推進協議会	R	人権全般について研修が可能である。	〒667-8651 養父市八鹿町八鹿1675 養父市役所人権推進課内 電話(079)662-6142 FAX(079)662-7491
宍粟市	人権推進アドバイザー派遣制度	R(A・B・C・D)	自治会・地域での人権学習の援助者として要請に応じて、人権推進アドバイザーを派遣する。	〒671-2573 宍粟市山崎町中広瀬133番地6 事務局 宍粟市教育委員会社会教育課 電話(0790)63-3117 FAX(0790)63-1063
	宍粟人権講座運営委員会	R(E)	同和問題を中心に「出前講座」として講師の派遣等の実施。 人権講演会・映画会等の実施。	〒671-2573 宍粟市山崎町中広瀬133番地6 連絡先 宍粟市教育委員会社会教育課 電話(0790)63-3117 FAX(0790)63-1063
加東市	加東市人権・同和教育研究協議会	R	人権全般について、市と連携を取りながら各地区や各種団体の人権学習に取り組んでいます。(加東市には単独で研修を受ける施設等はありません。)	
播磨町	播磨町中央公民館	R	350人収容の大ホールの他に10~100名収容可能な研修室が6室あり、規模・内容に合わせた使用ができる。調理室・和室もある。	〒675-0156 播磨町東本荘1丁目5-40 NPO法人 まちづくりサポート はりま 電話(079)437-6980 FAX(079)435-5735
	東部コミュニティセンター	R	80人収容のホールの他に10~30名利用可能な研修室が2~3室あり、参加人数・内容に合わせた使用ができる。調理室・和室もある。	〒675-0162 播磨町二子418-3 電話(078)943-6611 FAX(078)943-6611
	西部コミュニティセンター			〒675-0146 播磨町古田1丁目1-11 電話(079)436-9900 FAX(079)436-9901
	南部コミュニティセンター			〒675-0144 播磨町北本荘2丁目6-30 電話(079)436-4110 FAX(079)436-4110
	野添コミュニティセンター			〒675-0160 播磨町西野添1丁目14-17 電話(078)943-4825 FAX(078)943-4825
福崎町	福崎町教育委員会			R
香美町	香住区中央公民館 (香美町教育委員会 香住区生涯学習センター)	R	人権全般について、講義・ビデオ上映・グループ協議・ワークショップなど、様々な研修が可能である。	〒669-6544 美方郡香美町香住区香住114-1 電話(0796)36-3765 FAX(0796)36-3568

(7) 研修で使用するアンケート用紙等

ア 平成23年度の評価方法

表中の()は%を示す

評価方法		合計	
アンケート	事後アンケート	119	126(52.1)
	アンケート	4	
	全講座終了後にアンケート	2	
	その都度アンケート	1	
報告書	実施報告書、学習記録	9	16(6.6)
	実施報告書	3	
	事後報告書	2	
	区長からの報告書	1	
	活動報告書	1	
反省会	事後に理事会等で反省・評価	4	11(4.5)
	事後に理事会・助言者会等で反省・評価	3	
	各地域ごとの理事会等で反省・評価	2	
	理事会等で反省・評価	1	
	役員反省会	1	
感想	参加者の意見	4	6(2.5)
	感想を聞く	1	
	感想文	1	
その他	住民学習会の実施状況	2	2(0.8)
	参加人数、参加者の様子	1	1(0.4)
	自己評価	1	1(0.4)
	事後アンケート、事後反省会の開催	1	1(0.4)
	なし	6	16(6.6)
	特になし	2	
	無	1	
	とくになし	1	
	アンケートは、していない	1	
	—	5	
(空欄)	62	62(25.6)	
総計		242	

イ 平成24年度の評価方法

表中の()は%を示す

評価方法		合計	
アンケート	事後アンケート	114	127(57.5)
	事後アンケート(予定)	5	
	アンケート	3	
	全講座終了後にアンケート	2	
	その都度アンケート	1	
	事後アンケートを予定している	1	
報告書	実施報告書、学習記録	2	10(4.5)
	実施報告書(年度末提出)	2	
	事後報告書	2	
	実施報告書、学習記録(年度末提出)	1	
	実施報告書	1	
	区長からの報告書	1	
	活動報告書	1	
反省会	事後に理事会等で反省・評価	4	10(4.5)
	事後に理事会・助言者会等で反省・評価	3	
	各地域ごとの理事会等で反省・評価	2	
	役員反省会	1	
感想	参加者の意見	4	5(2.3)
	感想文	1	
その他	住民学習会の実施状況	2	2(0.9)
	参加人数、参加者の様子	1	1(0.5)
	自己評価	1	1(0.5)
	事後アンケート、事後反省会の開催	1	1(0.5)
	③のみアンケート無し、残りは事後アンケート	1	1(0.5)
	未実施	2	2(0.9)
	なし	6	13(5.9)
	特になし	2	
	無	1	
	とくになし	1	
アンケートは、していない	1		
—	2		
(空欄)	48	48(21.7)	
総計		221	

ウ① 具体的な内容(参加者アンケート)

項目	アンケート用紙															計			
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O				
基本事項	年齢	○	○			○			○	○		○	○	○	○	○	○	10	
	性別	○	○			○								○	○	○	○	7	
	職業	○	○			○									○			4	
	住所	○	○														○	3	
	所属			○	○													2	
	自治会																○	1	
	名前			○	○				○									3	
学習内容	研修内容への評価・満足度(選択)	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○	11	
	研修内容についての理解度(選択)						○	○										2	
	講師への評価・満足度(選択)							○										1	
	参加前の人権問題への関心・理解について														○	○		2	
	参加後の人権問題への関心・理解について						○								○	○		3	
	参加後の行動について						○								○	○		3	
	新たに気づいたり学んだりしたことがあるかどうかについて									○	○							2	
	関心のあるテーマや希望する内容について(選択)														○			1	
	研修についての感想等(自由回答)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
	わかりにくい点や改善点について(自由回答)							○	○										2
その他の意見や希望等(自由回答)	○	○						○									○	4	
研修会等	研修会を知ったきっかけについて	○	○			○									○	○	○	6	
	研修会へ参加したきっかけについて									○							○	2	
	研修会への参加経験について	○	○							○	○						○	5	
	その他の啓発事業の認知度	○	○													○		3	
	研修会を継続するべきかどうかについて															○	○	2	
その他	身の周りの人権問題について普段感じていることについて	○	○															2	
	身近で最近人権問題が起こったかどうかについて							○										1	
	人権問題が起こった場合誰に相談するかについて								○									1	
	人権問題の解決のために何が必要かについて								○									1	
	ネット掲示板で差別的な書き込みを見たことがあるかどうかについて									○								1	
差別的な書き込みに対する考え方について									○								1		

ウ② 具体的な内容(実施者報告書)

・団体名、日時、場所、参加人員(人数、主な年代)、司会者、記録者、推進員、テーマ、助言者	・印象に残った意見
・学習会への評価	・学習会を充実させるための手法、環境、教材について
・活用した教材(資料)について	・参加者を増やすための工夫について
・学習会の進め方について	・その他の意見等

【要点】

- 平成23年度、平成24年度とも、研修会全体の5割から6割程度で「アンケート」を実施しています。
- その他の評価方法として、「報告書」や「反省会」などの方法が挙げられており、合わせて全体の1割程度を占めています。
- アンケート等を実施していないという回答は、空欄と合わせると3割程度になります。

【要点】

- 提出されたアンケート用紙には、参加者を対象としたアンケートと実施者を対象としたアンケート(報告書)があります。
- 参加者へのアンケートでは、「年齢」や「性別」などの基本事項や、「研修内容への評価・満足度」「研修についての感想等」などの学習内容に関する項目が多く挙げられているほか、ネット掲示板などの身近な人権問題に関する項目も取り入れられています。

(8)平成23年度 講師情報 (内容が不明の場合は空欄になっています。)

所属等	講師名	テーマ	市町名	
A 女性				
神戸親和女子大学 教授、神戸市男女共同参画審議会 副会長	勝木 洋子	A	神戸市	
神戸学院大学文学部 准教授	米田 真澄	A		
しんぐるまざーず・ふぉーらむ・関西 事務局長	大森 順子	A		
インブルウヴ 代表、中小企業診断士	斎藤 悠実	A		
京都大学大学院 教授	伊藤 公雄	A		
特定非営利活動法人心のサポート・ステーション	宮本 博文	A		
NPO法人日本成人病予防協会 認定講師	山内 伸一	A		
神戸国際大学 非常勤講師	宮脇 文子	A		
女性ライフサイクル研究所 スタッフ	渡邊 佳代	A		
広島大学大学院総合科学研究科 教授、比較宗教学者	町田 宗鳳	A		
関西大学人間健康学部 教授	弘原 海剛	A		
作家	家田 荘子	A、B、H		
	桂 あやめ	A		豊岡市
NPO法人はちどり 代表	大原 笑子	A		たつの市
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市	
宝塚市教育委員会学校教育課 副課長	清水 浩明	A、B、E		
宝塚市人権ファシリテーター	梅田 美佐子	A、B、E		
宝塚市人権ファシリテーター	辻田 智子			
宝塚市人権ファシリテーター	檜垣 彰子			
大阪教育大学	森 実	A、B、C、D、E、G、K	三木市	
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A、B、C、D、E、G、K		
近畿大学人権問題研究所 准教授	熊本 理抄	A、E	小野市	
かみむらクリニック 院長	上村 茂仁	A、B		
小野市ヒューマンライフグループ 課長	中村 和子	A	加西市	
ウイメンズネットこうべ 代表理事	正井 礼子	A、B		
加西市人権推進課所属の各公民館指導員		A、B	篠山市	
エンパワメント・センター 主宰、立命館大学 客員教授	森田 ゆり	A、B		
公民館指導員		A、B、C	養父市	
	森田 充代	A		
作家	落合 恵子	A、B、C、Q	丹波市	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	A、B、C、E		
波賀生涯学習事務所 社会教育指導員	中谷 秀樹	A、B、C、D	宍粟市	
宍粟市社会福祉協議会波賀支部 支部長	可藤 和成			
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局	中倉 茂樹	A、C、E	加東市	
加西市人権啓発指導員	岩田 勝	A、B、E、D		
イーブン市民講師	長澤 みさ子	A	猪名川町	
播磨町地域包括支援センター 主任介護支援専門委員	中尾 悦子	A、C	播磨町	
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	A、D、E	太子町	
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	新家 洋一	A、D、E		
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	谷口 佳三	A、D、E		
山野里公民館 館長	名古 正憲	A、D、E、R(地域)	上郡町	
高田公民館 館長	大西 隆文	A、D、E、R(全般、環境)		

所属等	講師名	テーマ	市町名
町人権啓発指導員	山本 笙二	A	新温泉町
鳥取県男女共同参画センター 企画員	河崎 紀子	A	
新温泉町人権啓発指導員		A、C、D、E、R(命)	
B 子ども			
社会福祉法人「神戸少年の町」児童養護施設長、子ども家庭センター長	野口 啓示	B	神戸市
作家	家田 荘子	A、B、H	
マナ助産院 院長	永原 郁子	B	明石市
神戸学院大学 教授	神原 文子	B	
ふらっと・あおやま	鈴森 範之	B	西宮市
性教育ファシリテーター	徳永 桂子	B	
三光塾 ファミリーソーシャルワーカー	鈴木 陽子	B	
書家	金澤 泰子	B、D	
書家	金澤 翔子	B、D	芦屋市
管理栄養士、武庫川女子大学栄養クリニック 名誉クリニック長	小西 すず	B	
神戸地方務局豊岡支局 支局長	河野 啓	B	豊岡市
	水嶋 元	B	
	三好 成明	B、K	
	宿南 久美子	B	たつの市
神戸常盤大学短期大学部幼児教育学科 准教授	小崎 恭弘	B	
子育てインストラクター	山本 由美子	B	
西播磨食肉衛生検査所 所長	芝崎	B、E	
たつの市人権教育推進委員	松芳 きくゑ	B、E	川西市
福音館書店	川崎 康男	B	
人権教育アシスタント		主にB	西脇市
神戸常盤大学短期大学部 准教授	小崎 恭弘	B	
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市
宝塚市教育委員会学校教育課 副課長	清水 浩明	A、B、E	
宝塚市人権ファシリテーター	梅田 美佐子	A、B、E	
宝塚市人権ファシリテーター	辻田 智子		
宝塚市人権ファシリテーター	檜垣 彰子		
大阪教育大学	森 実	A、B、C、D、E、G、K	高砂市
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A、B、C、D、E、G、K	
マザーアース・エデュケーション 代表(チーフ・ディレクター)	松木 正	B	川西市
兵庫県中央子どもセンター 家庭支援課長	頓田 三郎	B	
神戸市看護大学 教授	高田 昌代	B	川西市
川西市子どもの人権オンズパーソン	浜田 寿美男	B、D	
市子どもの人権オンズパーソン		B	小野市
かみむらクリニック 院長	上村 茂仁	A、B	
ウイメンズネットこうべ 代表理事	正井 礼子	A、B	加西市
NPO法人Casaメーコッコ 理事長	松山 清	B、R(里親)	
加西市人権推進課所属の各公民館指導員		A、B	上郡町
エンパワメント・センター 主宰、立命館大学 客員教授	森田 ゆり	A、B	
公民館指導員		A、B、C	

所属等	講師名	テーマ	市町名
	松井 和	B	篠山市
県立但馬やまびこの郷 課長	村上 裕樹	B	養父市
作家	落合 恵子	A、B、C、Q	
県スクールカウンセラー	阿部 昇	B	
シンガーソングライター	イクラ	B	丹波市
こども家庭センター 所長	永田 政文	B	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	A、B、C、E	朝来市
さんだCAP		B	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	B、R(命)	宍粟市
宍粟市立千種北小学校 校長	田中 市朗	B、D、Q、R	
波賀生涯学習事務所 社会教育指導員	中谷 秀樹	A、B、C、D	
宍粟市社会福祉協議会波賀支部 支部長	可藤 和成		
加西市人権啓発指導員	岩田 勝	A、B、E、D	加東市
奈良大学 講師	向野 幾世	B	
子ども情報研究センター	山下 裕子	B	猪名川町
生涯学習グループ	舩田 明生	B、R(啓発推進)	播磨町
社会福祉士	木村 佳恵	B、C	
神戸町教育委員会教育課 課長	谷口 勝則	R(全般)、B	神戸町
神戸町教育委員会 社会教育指導員	段床 繁雄		
神戸町教育委員会 社会教育指導員	段床 繁雄	B、E	福崎町
福崎町教育委員会 社会教育指導員	城井 敏行	B、K、R(地域)	
福井県鯖江市小学校 教諭	岩堀 美雪	B、R(共生)	太子町
佐用町教育委員会教育課 派遣社会教育主事	塚本 智昭	B、R(地域)	
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	B、R(地域)	
相生市教育委員会人権教育推進室 派遣社会教育主事	眞穂 信人	B、R(地域)	
愛知県浄土宗西居院 住職	廣中 邦充	B、R(地域)	上郡町
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	B、R(地域)	
上郡町社会教育課 主査	水谷 千嘉子		
自治会役員		B、R(地域)	
自治会学習推進員			
地区指導者		B、R(対人スキル)	
夢こらぼ 主宰	松尾 弥生		
NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長	山崎 清治	B、R(地域)	上郡町
岡山学芸館高校 参与	森 美智子	B、R(地域)	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	B、R(命、地域)	上郡町
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	B、C、R(地域)	
町社会教育課	安西 浩美	B、E、R(地域)	
泉心学園 副園長	高谷 博之	B	上郡町
町人権学習アドバイザー	村尾 由子	B	
町立上郡公民館 館長	宮崎 隆吉	B	上郡町
町立赤松公民館 館長	中西 邦明	B、D	
上郡町人権学習アドバイザー	平尾 文子	B、R(地域)	
梨ヶ原公民館 館長	久保 克己	B、R(地域)	

(8)平成23年度 講師情報 (内容が不明の場合は空欄になっています。)

所属等	講師名	テーマ	市町名
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	B、R(命)	香美町
香美町人権教育研究協議会村岡支部役員		B、R(命)	
香美町人権教育研究協議会小代支部役員		B、R(命)	
香住区同和教育啓発研究委員		B、C、D、E、K	
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	B、R(全般)	
C 高齢者			
社会福祉士	段 真奈美	C	神戸市
西区社会福祉協議会	末廣 順子	C	
但馬地区人権教育研究協議会 会長	川島 正博	C、E	豊岡市
豊岡市職員	前田 義孝	C、Q	
豊岡市職員	中川 正康		
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市
大阪教育大学	森 実	A、B、C、D、E、G、K	
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A、B、C、D、E、G、K	
小野市地域包括支援センター職員		C	小野市
兵庫県社会福祉士会、権利擁護センターばあとなあ兵庫 運営委員	吉田 麻希	C	三田市
人権啓発指導員	岩田 勝	C、R(命)	加西市
公民館指導員		A、B、C	
作家	落合 恵子	A、B、C、Q	養父市
社会福祉士	中村 すえ子	C	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	A、B、C、E	丹波市
地域包括支援センター 社会福祉士		C	
朝来人権教育推進協議会理事		C、E	朝来市
洲本健康福祉事務所	上坂 智洋子	C、D	淡路市
認知症の人と家族の会 兵庫県支部 代表	酒井 邦夫	C、D	
つどい場さくらちゃん 理事長	丸尾 多重子	C、D	
西宮市社会福祉協議会	清水 明彦	C、D	
市職員	中野 輝美	C、D、Q	
波賀生涯学習事務所 社会教育指導員	中谷 秀樹	A、B、C、D	宍粟市
宍粟市社会福祉協議会波賀支部 支部長	可藤 和成		
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局	中倉 茂樹	A、C、E	
環境教育プランナー	岡本 工介	C、E、G	加東市
稲美町職員	石田 和也	C	稲美町
社会福祉士	木村 佳恵	B、C	播磨町
播磨町地域包括支援センター 主任介護支援専門委員	中尾 悦子	A、C	
兵庫県人権教育研究協議会 研修講師	後藤 みなみ	C、G、R(地域)	上郡町
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	C、R(地域と絆)	
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	B、C、R(地域)	
野桑の里 所長	川上	C	
香住区同和教育啓発研究委員		B、C、D、E、K	香美町
町人権啓発指導員	田邊 忠司	C	新温泉町
新温泉町人権啓発指導員		C、D、E、Q、R(命)	
新温泉町人権啓発指導員		A、C、D、E、R(命)	
新温泉町人権啓発指導員			

所属等	講師名	テーマ	市町名	
D 障害のある人				
手話通訳者	岡野 美里	D	神戸市	
神戸市立点字図書館	藤田 紀子	D		
神戸市立点字図書館	山根 真紀子	D		
NPO法人ゆう工房		D		
発達障害支援センター長	小橋 陽子	D		
王子スポーツセンター マネージャー	野口 研治	D		
県立視覚特別支援学校 教諭	今井 裕二	D		
兵庫県盲導犬協会		D		
書家	金澤 泰子	B、D		西宮市
書家	金澤 翔子	B、D		
ふくろうの郷 施設長	大矢 暹	D	洲本市	
淡路障がい生活支援センター 施設長	松下 徹	D		
㈱メディア21	う～み	D	伊丹市	
イラストレーター	林 やよい	D		
たじま聴覚障害者センター 所長	小林 泉	D	豊岡市	
精神保健福祉士	谷 友紀子	D		
	辻井 いつ子	D		
音楽バンド	リラックス	D	西脇市	
ブロップ・ステーション 理事長	竹中 ナミ	D		
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市	
大阪教育大学	森 実	A、B、C、D、E、G、K		
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A、B、C、D、E、G、K		
みえ人権教育・啓発研究会 代表	松村 智広	D	三木市	
関西大学 教授	串崎 真志	D	川西市	
川西市子どもの人権オンズパーソン	浜田 寿美男	B、D		
三田市立富士小学校	酒井 俊子	D	三田市	
	稲葉 政徳	D		
神戸医療福祉専門学校三田校	山田 美由紀	D		
NPO法人CAPセンタージャパン	徳永 桂子	D		
大阪ふうせんバレーボール普及会 会長	石井 勝浩	D		
チーム豊中まぢかねワニ		D		
	堀井 倫子	D		
自立生活支援センターメインストリーム協会 副代表	玉木 幸則	D		
社会福祉法人施設長	正垣 充正	D		養父市
洲本健康福祉事務所	上坂 智洋子	C、D		淡路市
さくらんぼの里 施設長	藤岡 政夫	D		
認知症の人と家族の会 兵庫県支部 代表	酒井 邦夫	C、D		
いきいき家族会 会長	大谷 俊	D		
つどい場さくらちゃん 理事長	丸尾 多重子	C、D		
淡路ふくろうの郷 施設長	大矢 暹	D		
新淡路病院 副本部長	木下 豪	D		
ピアサポーター	安井 幹人	D		

所属等	講師名	テーマ	市町名
西宮市社会福祉協議会	清水 明彦	C、D	淡路市
淡路発達障害児親の会	平見 幸子	D	
市職員	中野 輝美	C、D、Q	宍粟市
宍粟市立千種北小学校 校長	田中 市朗	B、D、Q、R	
フルート奏者	末原 諭宜	D	
ハーブ奏者	野田 千晶	D	
波賀生涯学習事務所 社会教育指導員	中谷 秀樹	A、B、C、D	
宍粟市社会福祉協議会波賀支部 支部長	可藤 和成		
シッティングバレーボール全日本代表 キャプテン	西家 道代	D	加東市
加西市人権啓発指導員	岩田 勝	A、B、E、D	
シンガーソングライター	う～み	D	猪名川町
NPO法人文化・福祉・人権サポートアエソン	政本 和子	D	播磨町
兵庫県映画センター		D	
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	A、D、E	太子町
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	新家 洋一	A、D、E	
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	谷口 佳三	A、D、E	上郡町
上郡町社会教育課 派遣社会教育主事	安西 浩美	D、Q、R(全般)	
愛心園 園長	岡本 鈴代	D	
山野里公民館 館長	名古 正憲	A、D、E、R(地域)	
高田公民館 館長	大西 隆文	A、D、E、R(全般、環境)	
町立赤松公民館 館長	中西 邦明	B、D	香美町
香住区同和教育啓発研究委員		B、C、D、E、K	新温泉町
町人権啓発指導員	坂本 和夫	D	
地域活動支援センターいわつばめ 支援員	田中 壮一郎	D	
新温泉町人権啓発指導員		C、D、E、Q、R(命)	
新温泉町人権啓発指導員		A、C、D、E、R(命)	
E 同和問題			
近畿大学人権問題研究所 教員	熊本 理抄	E	明石市
テレビドラマプロデューサー	栗原 美和子	E	西宮市
前豊中市立第5中学校 校長	青木 康二	E	伊丹市
朝来市立朝来中学校 教頭	山崎 喜彦	E	豊岡市
猿まわし師	村崎 太郎	E	
但馬地区人権教育研究協議会 会長	川島 正博	C、E	
	米田 啓祐	E	
紙芝居劇団「むすび」	石橋 友美	M、E	加古川市
NPO法人ヒューマン・アドバンス・堺	井上 和希		
鳥取環境大学 教授講師	外川 正明	E	たつの市
西播磨食肉衛生検査所 所長	芝崎	B、E	
たつの市人権教育推進委員	松芳 きくゑ	B、E	
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市
宝塚市人権ファシリテーター	梅田 美佐子		
宝塚市人権ファシリテーター	辻田 智子	A、B、E	
宝塚市人権ファシリテーター	檜垣 彰子		

(8)平成23年度 講師情報 (内容が不明の場合は空欄になっています。)

所属等	講師名	テーマ	市町名
宝塚市教育委員会学校教育課 副課長	清水 浩明	A, B, E	宝塚市
徳島県同和地区青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局	大湾 昇	E	
大阪教育大学	森 実	A, B, C, D, E, G, K	
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A, B, C, D, E, G, K	
猿まわし師	村崎 太郎	E	
人権教育アドバイザー	尾城 文雄	E	三木市
国連登録NGO横浜国際人権センター 理事	大久保 陽一	E	
市民人権劇団		E	
近畿大学人権問題研究所 准教授	熊本 理抄	A, E	
極楽寺 住職	中尾 純一	E	三田市
部落解放同盟兵庫県連合会 執行委員	東田 寿啓	E	篠山市
中学校教頭	山崎 喜彦	E	養父市
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	A, B, C, E	丹波市
作家	井沢 元彦	E	
ソプラノ歌手	渡辺 千賀子	E	
大阪教育大学 教授	中尾 健次	E	
大阪人権博物館 事務局長	朝治 武	E	
大阪人権博物館 学芸員		E	
近畿大学人権問題研究所 教授	奥田 均	E	
朝来人権教育推進協議会理事		C, E	
大阪人権博物館 学芸員	村上 紀夫	E	
大阪人権博物館 学芸員	朝治 武	E	
大阪人権博物館 学芸員	吉村 智博	E	淡路市
鳥取環境大学人間形成教育センター 教授	外川 正明	E	
大阪大学大学院人間科学研究課 教授	平沢 安政	E, R(全般)	
徳島県「止揚の会」事務局、人権エンタメ集団「友輝」	大湾 昇	E	宍粟市
講談師	旭堂 南陵	E, R(DV)	
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局	中倉 茂樹	A, C, E	加東市
加西市人権啓発指導員	岩田 勝	A, B, E, D	
環境教育プランナー	岡本 工介	C, E, G	稲美町
元姫路市立琴丘高等学校 校長	吉田 善太郎	E	
稲美町教育委員会	井上 直樹	E, R(啓発推進)	播磨町
神河町教育委員会 社会教育指導員	段床 繁雄	B, E	神河町
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局	中倉 茂樹	E	
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	A, D, E	太子町
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	新家 洋一	A, D, E	
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	谷口 佳三	A, D, E	
町立赤松小学校 教諭	山本 俊	E, R(全般)	上郡町
元小学校長	川崎 明彦		
町社会教育課	安西 浩美	B, E, R(地域)	
山野里公民館 館長	名古 正憲	A, D, E, R(地域)	
高田公民館 館長	大西 隆文	A, D, E, R(全般、環境)	
但馬教育事務所 人権啓発推進員	林 秀喜	E	香美町

所属等	講師名	テーマ	市町名
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	E	香美町
兵庫県男女共同参画推進員	東井 浴子	E	
香美町立村岡中学校 校長	岡田 耕治	E	
香住区同和教育啓発研究委員		B, C, D, E, K	
徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局	中倉 茂樹	E	
町人権啓発指導員	松本 明	E	新温泉町
大阪市学校元氣アップ 支援員	森田 栄二	E	
新温泉町人権啓発指導員		C, D, E, Q, R(命)	
新温泉町人権啓発指導員		A, C, D, E, R(命)	
F アイヌの人々			
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A, B, C, D, E, F, G, I, H, K, Q	宝塚市
大阪人権博物館 学芸員	文 公輝	G, F	淡路市
町立鞍居公民館 館長	中尾 一夫	F	上郡町
G 外国人			
ジャワ音楽ユニット	HANA★JOSS	G	神戸市
NPO法人神戸定住外国人支援センター	フフデルゲル	G	
内モンゴルからの来日者	オヨン	G	
ワールドキッズコミュニティ	村上 桂太郎	G	
多民族共生人権教育センター 理事	J. A. T. DIにしゃんた	G	
	張 錫基	G	洲本市
	田 偉	G	
兵庫県人権教育研究協議会 事務局員	後藤 みなみ	G	豊岡市
作家	金 真須美	G	たつの市
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A, B, C, D, E, F, G, I, H, K, Q	宝塚市
大阪教育大学	森 実	A, B, C, D, E, G, K	
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A, B, C, D, E, G, K	
財団法人とよなか国際交流協会 事務局長	榎井 縁	G	
兵庫県人権教育研究協議会事務局 職員	後藤 みなみ	G	三木市
篠山市人権・同和研究協議会	松原 薫	G	三田市
篠山市人権・同和研究協議会	川西 恵	G	
三田小学校 非常勤講師	崔 精一	G	
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	G, R(多文化)	加西市
大阪人権博物館 学芸員	文 公輝	G, F	淡路市
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	G	宍粟市
環境教育プランナー	岡本 工介	C, E, G	加東市
子ども多文化共生サポーター	渡辺 レイ	G	稲美町
元毎日放送 アナウンサー	八木 早希	G	
兵庫県人権教育研究協議会 研修講師	後藤 みなみ	C, G, R(地域)	上郡町
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	G, R(全般)	香美町
安泰寺 住職	ネルケ 無方	G	新温泉町
H HIV感染者・ハンセン病患者等			
作家	家田 荘子	A, B, H	神戸市
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A, B, C, D, E, F, G, I, H, K, Q	宝塚市

所属等	講師名	テーマ	市町名
公民館指導員		H	加西市
I 刑を終えて出所した人			
「布川事件」元被告	桜井 昌司	I, R(冤罪)	伊丹市
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A, B, C, D, E, F, G, I, H, K, Q	宝塚市
作家・詩人	寮 美千子	I	
童話作家	寮 美千子	I	川西市
千房株式会社 社長	中井 正嗣	I	
J 犯罪被害者等			
NPO法人大阪被害者支援 アドボカシーセンター	井上 尚美	J	西宮市
	本郷 由美子	J	伊丹市
K インターネットによる人権侵害			
(財)人権教育啓発推進センター 理事	田中 正人	K	姫路市
兵庫県インターネット安全利用推進協議会 会長	三好 成明	K	明石市
人権教育室職員		R(全般)、K	伊丹市
	三好 成明	B, K	豊岡市
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A, B, C, D, E, F, G, I, H, K, Q	宝塚市
大阪教育大学	森 実	A, B, C, D, E, G, K	
人権ワークショップ研究会 代表	幸田 英二	A, B, C, D, E, G, K	小野市
兵庫県インターネット安全利用協議会 会長	三好 成明	K	
福岡町教育委員会 社会教育指導員	城井 敏行	B, K, R(地域)	福岡町
インターネット利用アドバイザー	山根 喜代浩	K	上郡町
香住区同和教育啓発研究委員		B, C, D, E, K	香美町
L 北朝鮮当局によって拉致された被害者等			
なし			
M ホームレス			
NPO法人釜ヶ崎支援機構 理事長	山田 寛	M	加古川市
紙芝居劇団「むすび」	石橋 友美	M, E	
NPO法人ヒューマン・アドバンス・堺	井上 和希		
近畿大学豊岡短期大学 准教授	武田 英樹	M	稲美町
N 性的指向			
なし			
O 性同一性障害者			
なし			
P 人身取引			
なし			
Q 東日本大震災に起因する人権問題			
作家	大沼 えり子	Q	神戸市
アジアプレス ジャーナリスト	玉本 英子	Q	西宮市
被災地NGO協働センター 代表	村井 雅清	Q	芦屋市
神戸レインボーハウス 館長	富岡 誠	Q	
阪南大学 准教授	下地 真樹	Q	
全国隣保館連絡協議会		Q	
兵庫県立豊岡総合高等学校 教諭	岩本 敏浩	Q	豊岡市

(8)平成23年度 講師情報 (内容が不明の場合は空欄になっています。)

所属等	講師名	テーマ	市町名
ユニット	風のたより	Q	豊岡市
豊岡市職員	前田 義孝	C、Q	
豊岡市職員	中川 正康		
Facilitator'sLABO(えふらぼ)	栗本 敦子	A、B、C、D、E、F、G、I、H、K、Q	宝塚市
NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 理事長	黒田 裕子	Q	
反貧困ネットワーク 事務局長、NPO法人自立生活サポートセンターもやい 事務局次長、内閣府参与	湯浅 誠	R(貧困)、Q	篠山市
篠山市人権教育指導員	向井 祥隆	Q、R(ビデオの紹介)	
作家	落合 恵子	A、B、C、Q	養父市
NPO法人理事	八幡 隆司	Q	
	まーちゃんバンド	Q	丹波市
IIYO楽園	煙山 享	Q	淡路市
市職員	中野 輝美	C、D、Q	
シンガーソングライター、奈良県教恩寺 住職	やなせ なな	Q、R(命、まちづくり)	宍粟市
宍粟市立千種北小学校 校長	田中 市朗	B、D、Q、R	
NPO法人空き缶でもうけてもええ会 事務局長	千種 和英	Q、R(地域)	上郡町
上郡町社会教育課 派遣社会教育主事	安西 浩美	D、Q、R(全般)	
美方広域消防本部 救急救命士	尾崎 彰一	Q	新温泉町
新温泉町人権啓発指導員		C、D、E、Q、R(命)	
R その他			
NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局 次長、内閣府参与	湯浅 誠	R(社会的包摂)	神戸市
神戸ホスピタリティマインド倶楽部 主宰	濱田 佳代	R(全般)	
神戸市立西灘小学校 教諭	臼井 真	R(震災)	
イタリア文化交流協会 会長	松本 城洲夫	R(全般)	
mottoひょうご 事務局長	栗木 剛	R(全般)	
人材育成コンサルタント	安田 明久	R(全般)	
ゴスペルシンガー	市岡 裕子	R(全般)	
シンガーソングライター	野田 淳子	R(金子みすず)	
デュオ	エスペランザ	R(難病)	
フリーアナウンサー	松田 朋恵	R(全般)	
落語家	桂 あやめ	R(全般)	姫路市
ことのは語り	木村 まさ子	R(食)	
落語家	桂 あやめ	R(同和等)	
姫路市教育委員会人権教育課 課長	原田 貞雄	R(同和等)	
映画評論家	吉村 英夫	R(同和等)	尼崎市
コメンテーター	山本 健治	R(全般)	
国立民族博物館 前館長	松園 万亀雄	R(多文化)	明石市
諏訪中央病院 名誉院長	鎌田 實	R(一般)	
ひと結び 代表	佐野 岳章	R	西宮市
NPO法人生涯学習サポート兵庫	山崎 清治	R	
NPO法人女性と子どものエンパワメント関西	應地 由起英	R	
じんけん楽習塾	大谷 真砂子	R	高砂市
CAPILのみや		R	
NPO法人リリアン 副理事長	森松 明子	R	

所属等	講師名	テーマ	市町名
奈良ふらっと市民会議 代表	中野 博章	R	西宮市
西宮市人権・同和教育協議会 会長	山田 哲也	R	
関西大学人権問題研究室 委嘱研究員	宮前 千雅子	R	
教育サポーター	仲島 正教	R	
野宿者ネットワーク 代表	生田 武志	R	芦屋市
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	R	
歌手・作曲家	ちひろ	R(金子みすず)	伊丹市
劇システムプレーン	正木 明	R(男女共同等)	
人権教育室職員		R(全般)、K	
生野銀山スタッフ		R(全般)	
リハティおおさかスタッフ		R(全般)	
福島老朽原発を考える会	阪上 武	R(原発)	
「はんげんぱつ新聞」編集委員	末田 一秀	R(原発)	
「布川事件」元被告	桜井 昌司	I、R(冤罪)	
作家	玉岡 かおる	R(全般)	
豊岡市人権教育推進協議会竹野支部 支部長	大紫磨 傑	R(元教員の半生)	
	PYLON	R(音楽)	豊岡市
	小泉 信了	R(命)	
	春歌亭 丹馬	R(地域)	
	尼乃家 河鹿	R(地域)	
	迷探偵 小ん南	R(地域)	加古川市
	稲継 亜希子	R(音楽)	
	エスペランサ	R(全般)	たつの市
詩人	青木 新門	R(全般)	
教育サポーター	仲島 正教	R(全般)	赤穂市
読売テレビ 元解説委員長	辛坊 治郎	R(情報)	
歴史家	黒田 美江子	R	西脇市
加古川市社会教育委員長	鹿多 証道	R(思いやり等)	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子	R(全般)	
ライフハーモニー教育研修所	位田 隆久	R(思いやり・絆)	
宍粟市西願寺 住職	佐々木 大観	R(全般)	宝塚市
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	R(全般)	
帝塚山大学大学院 教授	中川 幾郎	R(まちづくり)	
大阪人権博物館	文 公輝	R(全般)	
大阪人権博物館	森田 英嗣	R(虐待)	三木市
反貧困ネットワーク 事務局長、NPO法人自立生活サポートセンターもやい 事務局次長、内閣府参与	湯浅 誠	R(貧困)、Q	
行政職員		R(全般)	高砂市
教職員		R(全般)	
市民		R(全般)	高砂市
元兵庫県立工業高等学校 教諭	南 悟	R	
シンガーソングライター	梅原 司平	R	
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	R	
三木市立別所小学校 校長	春川 政信	R	

所属等	講師名	テーマ	市町名
(株)ダイバーシティオフィスKITAO 代表	北尾 真理子	R	高砂市
	春川 れい子	R	
兵庫教育大学	吉川 義則	R	
	森廣 栄一	R	
太鼓屋六衛門	杉本 大士	R	
はりまCAPリバ	三野 敬子	R	川西市
	枝川 京子	R	
兵庫教育大学 准教授	定澤 勝治	R	小野市
赤穂市民病院 医師	東田 太郎	R	
兵庫県人権教育研究協議会 前会長	陰山 雅弘	R(地域)	
コミセンきすみの 所長	福田 和博	R(身近な人権)	
NPO法人生涯学習サポート兵庫 指導局長	榎本 英樹	R(地域)	加西市
NPO法人Casaメーコッコ 理事長	松山 清	B、R(里親)	
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	G、R(多文化)	篠山市
人権啓発指導員	岩田 勝	C、R(命)	
篠山市人権教育指導員	向井 祥隆	Q、R(ビデオの紹介)	
歌	西田 夫佐	R(地域)	
コーディネーター からくさ塾 主宰	小嶋 明	R(地域)	
人権のまちづくり推進員		R(地域)	
	三遊亭 楽団治	R(夫婦)	
	和田 憲明	R(父子、地域)	
	岩崎 裕美子	R(協力)	
運営委員		R(身近な人権)	
三木市立別所小学校 校長	春川 政信	R(生活)	丹波市
宝塚原爆被害者の会 会長	岡邊 好子	R(平和)	
テノール歌手	加藤 ヒロユキ	R	南あわじ市
南あわじ市人権教育指導員		R(人権文化)	
人権教育課		R(人権文化)	
特別職非常勤職員		R(人権文化)	
大阪人権博物館 学芸員	仲間 恵子	R	淡路市
淡路断酒会	徳本 茂久	R(アルコール中毒)	
淡路ブラッツ統括リーダー	石田 貴裕	R(引きこもり)	宍粟市
大阪大学大学院人間科学研究課 教授	平沢 安政	E、R(全般)	
シンガーソングライター、奈良県教恩寺 住職	やなせ なな	Q、R(命、まちづくり)	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	B、R(命)	
三木市立別所小学校 校長	春川 政信	R(身近な人権)	加東市
宍粟市立千種北小学校 校長	田中 市朗	B、D、Q、R	
講談師	旭堂 南陵	E、R(DV)	猪名川町
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	R(地域づくり)	
宗玄寺 住職	酒井 勝彦	R(歴史認識)	
加東市人権・同和研究協議会		R(地域づくり)	
大島小学校PTA		R(地域)	
Facilitator's LABO(えふらぼ)	栗本 敦子	R(人材育成)	

(8)平成23年度 講師情報 (内容が不明の場合は空欄になっています。)

所属等	講師名	テーマ	市町名	
ライフハーモニー研究所 所長	位田 隆久	R(全般)	多可町	
NPO法人はちどり人権塾 代表	大原 笑子	R(全般)		
NPO法人大阪ダルク	上原 幹史	R(薬物)	稲美町	
	桶本 康文	R(思いやり)		
	吉岡 美奈子	R(思いやり)		
日本アニマルセラピー普及協議会		R(思いやり)		
	馬田 力	R(思いやり)		
老人クラブ		R(思いやり)		
	西元 完代	R(いじめ)		
元姫路市教育課 課長	小西 啓一	R(世の中、詰まる ところ人力車)	播磨町	
播磨町人権啓発推進委員		R(啓発推進)		
教育委員会人権担当職員		R(啓発推進)		
生涯学習グループ	舩田 明生	B、R(啓発推進)		
稲美町教育委員会	井上 直樹	E、R(啓発推進)		
兵庫県映画センター		R(親子、家族)		
姫路市立総合教育センター 教育支援課	小西 啓一	R(啓発推進)		
姫路市人権啓発センター 啓発部長	有正 省三	R(啓発推進)		
元関西テレビアナウンサー	桑原 従平	R(人間関係)		
西光寺 副住職	清原 隆宣	R(意識の高揚)		
妙正寺 住職	鹿多 証道	R(意識の高揚)		
神河町教育委員会教育課 課長	谷口 勝則	R(全般)、B		神河町
神河町教育委員会 社会教育指導員	段床 繁雄			
加西市人権教育協議会 会長	岩田 勝	R(全般)	福崎町	
福崎町教育委員会 社会教育指導員	城井 敏行	B、K、R(地域)		
福井県鯖江市小学校 教諭	岩堀 美雪	B、R(共生)		
上郡町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	安西 浩美	R(命)	太子町	
佐用町教育委員会教育課 派遣社会教育主事	塚本 智昭	B、R(地域)		
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	B、R(地域)		
相生市教育委員会人権教育推進室 派遣社会教育主事	眞穂 信人	R(命)		
たつの市教育委員会人権教育推進課 指導主事	新家 洋一	R(命)		
太子町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	寺前 健一	R(命)		
相生市教育委員会人権教育推進室 派遣社会教育主事	眞穂 信人	B、R(地域)		
ライフハーモニー教育研究所 所長	位田 隆久	R(地域)		
愛知県浄土宗西居院 住職	廣中 邦充	B、R(地域)		
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	B、R(地域)		上郡町
上郡町社会教育課 主査	水谷 千嘉子			
自治会役員		B、R(地域)		
自治会学習推進員				
地区指導者		Q、R(地域)		
NPO法人空き缶でもうけてもええ会 事務局長	千種 和英			
夢ころぼ 主宰	松尾 弥生	B、 R(対人スキル)		
上郡町社会教育課 派遣社会教育主事	安西 浩美	D、Q、R(全般)		
NPO法人生涯学習サポート兵庫 理事長	山崎 清治	B、R(地域)		

所属等	講師名	テーマ	市町名
岡山学芸館高校 参与	森 美智子	B、R(地域)	上郡町
兵庫県人権教育研究協議会 研修講師	後藤 みなみ	C、G、R(地域)	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	B、R(命、地域)	
菊川荒木内科心療内科 院長	菊川 毅	R(コミュニケーション)	
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	C、R(地域と絆)	
上郡町社会教育課 係長	深澤 徹也	B、C、R(地域)	
町立赤松小学校 教諭	山本 俊	E、R(全般)	
元小学校長	川崎 明彦		
町社会教育課	安西 浩美	B、E、R(地域)	
山野里公民館 館長	名古 正憲	A、D、E、 R(地域)	
高田公民館 館長	大西 隆文	A、D、E、 R(全般、環境)	
上郡町人権学習アドバイザー	平尾 文子	B、R(地域)	
梨ヶ原公民館 館長	久保 克己	B、R(地域)	
兵庫県人権啓発協会 研修講師	永松 國光	R	佐用町
心理スペースぼれぼれ 主宰	稲松 由佳	R	
兵庫県生きがい創造協会	井上 正敏	R	
生涯学習サポート兵庫	榎本 英樹	R	香美町
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	B、R(命)	
香美町人権教育研究協議会村岡支部役員		B、R(命)	
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	R(全般、偏見、 風習)	
兵庫県人権教育研究協議会	後藤 みなみ	G、R(全般)	
NPO法人生涯学習サポート兵庫	山崎 清治	R(言葉の持つ 意味)	
兵庫県人権問題研究アドバイザー	島田 恒夫	R(全般)	
香美町人権教育研究協議会小代支部役員		B、R(命)	
香美町教育委員会香住分室 派遣社会教育主事	伊藤 徹	B、R(全般)	
町人権啓発指導員	桑原 修身	R(命)	
立教大学 教授、精神科医	香山 リカ	R(自殺、地域)	新温泉町
新温泉町人権啓発指導員		C、D、E、Q、 R(命)	
新温泉町人権啓発指導員		A、C、D、E、 R(命)	
テーマ不明			
人権啓発推進企画員	中川 喜代子	A、B、C、E、G、 H、K、Q	尼崎市
健康福祉局福祉事務所生活支援相談担当 課長補佐	木崎 貴則		
健康福祉局健康増進課 課長	船越 タツヨ		
NPO法人エフ・エー 理事、コーディネーター	長福 洋子		
民間シェルター「ほっとの会」			
健康福祉局高齢介護課 係長	松井 良行		
第3期人権啓発推進員	三木 恵子		
協働推進局人権課 係長	宮崎 雅俊		
大阪市立大学大学院経済学研究科 教授	朴 一		
健康福祉局感染症対策課 係長	高井 千鶴子		
りんくう総合医療センター 健康管理センター長	南谷 かおり	吉村 俊生	芦屋市
協働推進局人権担当 参与			
兵庫県映画センター			

所属等	講師名	テーマ	市町名
兵庫県人権啓発協会 研修講師	本田 英子		相生市
宝塚市人権教育指導員	足立 千代		宝塚市
	増金 望美		三田市
	行岡 英敏		
	鈴木 由美子		
大阪教育文化センター 相談員	村上 公平		
篠山市在住	酒井 雅和		
西宮市在住	川村 雪枝		
	中東 みつえ		
	東前 弥生		
NPO法人WELnetさんだ 代表理事	小杉 崇浩		
	中村 靖人		
	西岡 良子		篠山市
	岡田 ひとみ		
生涯学習応援隊so-so.39			
丹波新聞記者	森田 靖久		
ヒューマンライツの会ささやま	酒井 勝彦		
自主学習グループ 高平人権サークル			
今田小学生			
今田中学生			
いのちのうた 代表	山中 信彦		
帝塚山大学法政策学部 教授	中川 幾郎		
篠山市防災係		A、B、C、D、E、 Q	
消防署			
	ちめいど		
西紀中学生			
いのちのうたメンバー			
丹波市同僚事務局 局長	中山 謙逸		
	乾劇団		
磯節保存会 会長	福田 佑子		
写真家	福田 仁		
南三陸町語り部ガイド 会長	鴻巣 修治		
	岩田 勝	A、B、C、D、K、 R(暮らしのなかの 人権)	多可町
講師	旭堂 南海		
	向井 祥隆		
	足立 安弘		
	真田 洋子		
NPO法人はちどり人権塾 代表	大原 笑子		
落語家	三遊亭 楽団治		
	近藤 文好		
ふれあい学習アドバイザー			
みえ人権教育・啓発研究会 代表	松村 智広		

3 今後に向けて

アンケート調査の結果から、人権研修の課題や工夫に関する内容を再確認し、今後必要とされる取組や視点などについて、おさえておきたいと思います。

参加者の固定化、減少化への対応

研修における課題の一つは、参加者が高齢者に偏る傾向があり若年層が少ないことです。また、全体的に参加人数が減少しているという報告も多く見られ、各市町共通の課題であると思われます。

参加者の増加を図るために各市町が行っている具体的な工夫は、主に次の3点です。

第1点は、「参加しやすい環境づくり」です。研修日時を若年層の人たちが参加しやすい平日の夜や休日に設定したり、子育てへの支援として無料の一時保育を実施したりしています。

2点目は、「参加したくなるメニューの提示」です。フィールドワークやクラフトを取り入れたり、著名な講師を招いたりしています。

これらの2点が効果的な工夫となるためには、より詳細なアンケートの実施及び活用などにより、参加者のニーズを把握することが極めて重要です。

3点目は、「多様な団体との連携」です。各市町の広報誌やチラシ、ケーブルテレビによる案内など多くの媒体を活用することに加えて、特にテーマ等と関わりのある団体などと連携し直接伝えていくことが効果的です。

この課題には、すぐに結果となって表れる特別な方法があるわけではありませんが、上記3点の中で可能なものから、それぞれの地域に合った方法を探り改善していくことが、課題解決の第一歩です。

研修内容のマンネリ化への防止策

これも、各市町共通の課題であると言えるでしょう。上記「参加したくなるメニューの提示」と関連していますが、各市町の工夫で最も多い意見は、「座学中心から参加体験型へ」といった、研修方法を多様に変化させることです。調査結果でも講義及びビデオ上映が全体の7割を占めています。雰囲気づくりのためのゲームの導入や、考えたり話し合ったりといった動きのあるワークショップの実施、人権劇や現地視察の企画など、これまで行ってきた研修方法の再点検、検討、修正が必要な場合もあるでしょう。

それでは、各市町で具体的にどうすれば参加体験型の研修が実施できるのでしょうか。調査結果から言えることは、次の2点です。

第1点は、ワークショップなど参加体験型の研修方法に熟達した講師を招き実施することです。本報告書の、各市町の実施状況欄や講師情報欄には、外部講師に加え、独自でファシリテーターを養成している市町の情報などが掲載されおり、情報交換の資料としてご活用いただけるのではないかと思います。

2点目は、研修リーダーの育成です。参加体験型の研修に限らず、多種多様な研修内容を取り入れ、参加者の共感を得ていくためには、より地域の実情に精通した研修リーダーを育成してい

くことが望まれます。この取組は、時間がかかりすぐに実現できることではありませんが、人権意識をいっそう浸透させていく意味で、有効な方法の一つであると言えます。

研修テーマや講師の選定

テーマや講師の選定における工夫について共通している視点は、「地域の身近な課題に沿う」という点です。

住民が参加しやすく、関心の高いテーマを選ぶためには、ニーズを把握できるアンケートの実施及び活用が、何よりも重要です。また、運営面における工夫で、住民が主体となって企画・立案等を行う例が報告されていますが、実態に応じたテーマ設定が可能になることに加えて、前述のリーダー育成や参加者の増加にもつながる取組であると言えるでしょう。

講師の選定では、知名度も条件の一つではありますが、身近なテーマや課題と関わりの深い講師による体験談が改善につながった、という報告もあります。予算の面からも、そのような視点と前述の「多様な団体との連携」による広報とを組み合わせることが、現実的かつ効果的な方法であると言えるかもしれません。本報告書では、平成23年度に各市町が招いた講師の一覧を人権課題別に整理しており、ご活用いただきたいと思います。

人権研修に関する課題は、他にも、人権そのものに対する堅苦しいイメージの払拭や個別の人権課題に関する学習方法、効果が確認できる評価方法など、多数報告されています。本調査でまとめられた各課題や工夫などに関する内容を、さらに活かしていくためにも、課題解決に向けた具体的な実践例の提案や紹介等が必要であり、各市町における人権研修のさらなる充実につなげていくことが大切です。

【協力者】研修専門委員の皆さん

所 属 ・ 役 職 名	名 前
神戸市保健福祉局総務部人権推進課 担当係長	酒井 満枝
尼崎市市民協働局人権課 係長	宮崎 雅俊
三田市まちづくり部人権推進課 人権教育指導員	円谷 利行
加古川市市民部人権施策推進課 指導主事	井上 博嗣
小野市市民安全部ヒューマンライフグループ人権啓発推進グループ 主幹	進藤 修一
たつの市教育委員会教育事業部人権教育推進課 課長	谷口 佳三
新温泉町教育委員会社会教育課 派遣社会教育主事	樹岡 正宏
南あわじ市教育委員会教育部人権教育課 課長補佐	野尻 智康

【作 成】公益財団法人兵庫県人権啓発協会 研修部